

フィールド実習 報告書

2021年度(令和3年度)

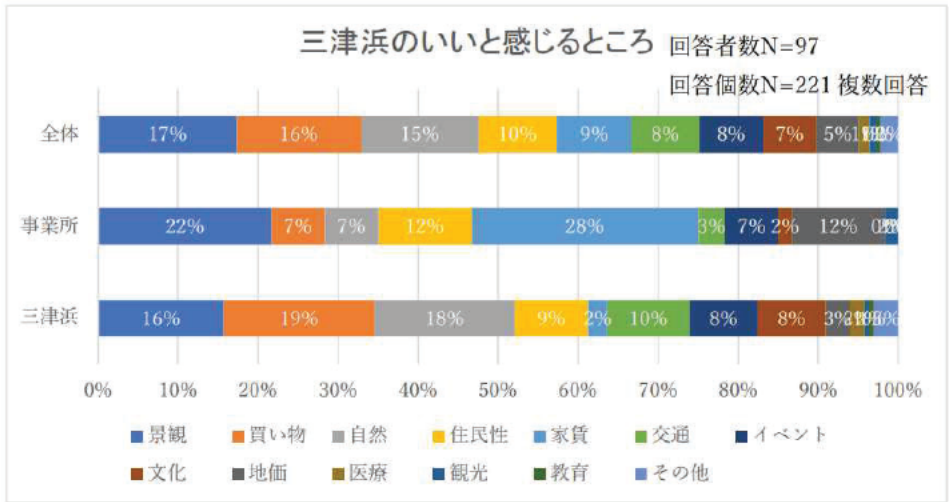


課題解決

資金を調達 **¥** 空き家の数を減らす

長期的に観光客としてかかわる人間を増やす

空き家問題を解決する!



はじめに ー社会共創学部におけるフィールドワークについて

2016年4月に愛媛大学に社会共創学部が設置され、学部理念に基づき地域の持続的な発展を目指し、様々なステークホルダーの方々と協働し、具体的な地域課題の発見とその解決に向けて取り組む力を備えた人材の育成に邁進して参りました。その一環として、実践力育成科目群の中に学部全学生を対象にしたフィールドワーク科目やインターンシップ科目を複数開講し、1年次から順次、現場での経験を積み重ねることができるようにカリキュラムを構築しています。これらの学びと経験の積み重ねとその往還を図ることで、卒業時には、課題解決思考力とサーバントリーダーシップを身につけ、地域社会、企業、コミュニティーと積極的に関わる意欲を持つ人材を輩出することを目指しています。

2年次前学期（第1・2クォーター）の必修科目として「フィールド実習」が開講されています。この科目は、ステークホルダーとの協働を進めながら、対象とする4地区について情報収集を行い、課題や特色を発見し、それらを解決あるいは活用する方策を提示することを目的としています。2018、2019年度は、その成果を取り纏めて報告書を発行して参りました。

しかし、2019年末に新型コロナウイルス感染拡大により、2020年度は本科目においても現地での実習をはじめ、対面での活動が大きく制限されることとなりました。新型コロナウイルス感染への初めての対応であったため、4フィールドでの活動を行いましたが、従来のように学生が対面での活動やグループ編成することが困難な状況に置かれ、フィールドでの十分な成果をあげることができず、報告書をまとめるには至りませんでした。

2021年度は新型コロナウイルス感染が継続する状況の下で、これまでの感染対策のノウハウを生かしながら、ステークホルダーの方々・学生・担当教員の努力により、オンラインツール等の導入によって、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションを図りつつ、最大限の実習を進めて参りました。6月からは限定的ではありますが対面での実施が可能となり、各フィールドにおいて、一定の成果を得ることができました。

2021年度「フィールド実習」の本報告書は、このような厳しい環境下で3者の苦心により行われた活動を取り纏めたものです。実施フィールドと参加学生数は、四国中央市44名、松山市近郊48名、松山市中島50名、西予市47名の計189名でした。

紙製品の出荷額が全国1位である四国中央市では、大学での資料調査、日帰りでの現地訪問、調査発表を実施しました。感染防止の観点から市役所や企業等には訪問せず、土地利用、交通、港湾、そして愛媛県紙産業技術センター、霧の森の現地見学・調査を行いました。学生は、産業班、まちづくり班、環境班、観光班、スポーツ振興班に分かれ、それぞれの調査結果を基に提案を行いました。

松山市近郊は、社会調査士の資格取得の関係上、産業マネジメント学科の学生で構成されました。第1クォーターで8つのグループを編成し、テーマ設定、情報収集を行いました。これを元に、第2クォーターではアンケートの作成・実施、定量データの収集と分析、企業

や住民へのインタビューを行いました。調査テーマは、お土産菓子、居酒屋の経営、飲食店のテイクアウト、三津地区の魅力発信、空き家対策、愛媛 FC の観戦者増加、違法駐輪などです。

松山市中島は、感染拡大に配慮し、現地訪問を取り止め、Zoom による遠隔でのミーティングを行いました。学生が選択したテーマは、中島の魅力について、SNS を活用した発信、SDGs を意識した活動、スマートアイランド構想等です。これらについて、自ら調査計画を立案・実行し、市役所担当者との議論や意見交換を行い、中間発表と最終成果発表を行いました。その中には、県外事例を踏まえた本市での適用の可能性の検討、農産物の活用、学生の視点からのイベントの提案もあり、実際に現地での検討や実践が望まれるものとなっています。

西予市では、宇和町宇和地区での実施を予定し、6 月以降は対面での活動が可能になったものの、高齢者の多い農村に大勢の学生が訪問することより、地域の住民や関係者に不安をもたらすことが懸念されました。そこで、フィールドワークの学生への教育効果を重視し、調査地域を変更し、学外者との接触を最小限に抑えたフィールドワークに切り替えました。学生を 10 グループに編成し、道後温泉の景観や魅力、神社仏閣の防災、しまなみ街道、大島観光、愛媛の土産物や郷土料理、松山城の堀の水、大街道を行き交う人々の動向、道の駅風和里について体験と調査を行いました。

前述のように新型コロナウイルス感染拡大以降、キャンパス内での授業と学外での実習の両方において、教育方法の変更が余儀なくされました。学生にとっては、学友や教員とコミュニケーションを取る環境・機会が格段に減少し、本来の学びを得る機会が少なくなったことは否定できません。またその一方で、オンラインでのコミュニケーションツールを有効に活用することにより、バーチャルによる実習などの新たな教育手法も駆使されるようになりました。本科目は、本学部の教育上の重要な柱になっていることから、これらの経験をベースにしながらより高い教育効果を目指していく所存です。本学部としましても本科目を含めたこれらの科目を通じて、地域の方々と協働し、社会共創力を有し、地域に貢献できる人材育成を一層推進して参ります。

しかしながら、本学部の教育プログラムだけでは、地域に関心を持って積極的に課題解決にあたる人材を育てることは困難であり、地域のステークホルダーの皆様のご支援と教育力が必須であることは、学部教員全員が共通理解しているところです。従いまして、今後益々地域のステークホルダーの皆様のお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、2021 年度の本科目にご協力を賜りました皆様には、深く感謝申し上げますとともに、引き続き本学部の教育にご支援をいただきますよう、何とぞよろしくようお願い申し上げます。

愛媛大学社会共創学部フィールドワーク・インターンシップ支援室
室長 浅井 英典（地域資源マネジメント学科 教授）

目 次

1. 四国中央市フィールド	
実施の概要	1
2. 松山市近郊フィールド	
2021年度フィールド実習(松山市近郊)の活動紹介	4
三津浜の実態調査とそれに基づいて松山市の空き家対策を考える	5
3. 松山市(中島)フィールド	
実施の概要	62
中島の海の活用	64
インフルエンサー起用による中島の魅力発信	66
フィールド実習 IN 中島 廃棄柑橘の有効活用と魅力発信	69
耕作放棄地の利用	73
中島の空き家を活用した地域活性化案	75
フィールド実習最終発表 中島のニーズ	78
中島の空き家、使えます。空き家管理サポートによる利用促進と地域活性化	80
グリスロの観光活用	83
フィールドワーク in 中島「中島の特産品を使ったブランド化」	85
フィールド実習 サイクリングコース及び空き家について	87
4. 愛媛大学近郊フィールド	
実施の概要	93
フィールド実習 ～道後温泉周辺～	95
道後地区の寺社仏閣における地域文化財の防災取り組みについて	99
県内外の人からみた道後温泉の魅力	102
フィールド実習 ～観光・レジャー～	105
「大島」の観光実態と動線	108
食べたい! 持っていきたい! 愛媛県のお土産(お菓子編)	109
フィールド実習発表(郷土料理)	112
「松山のオアシスとは?」	115
大街道の人々の動向	119
道の駅風早の郷風和里 北条スポーツセンター球技場の防災	122

実施の概要

(担当教員：深堀 秀史・福垣内 暁)

1. 授業の目的

四国中央市をフィールドとし、1年次の学びを活かして地域の活動や資源等を調査して現状を学ぶとともに、チームとしてプロジェクトを進める中で、情報を整理する力、計画を立案する力、調査結果をまとめて発表する力を伸ばします。

2. 調査地域の概要

四国中央市は平成16年に、旧・伊予三島市、川之江市、土居町、新宮村が合併して誕生しました。愛媛県の中で、今治、西条、新居浜と並んで工業が盛んであり、合併以来、紙製品の工業製造品出荷額は全国一位を誇り、お札と切手以外は手に入ると言われている「日本一の紙のまち」です。松山道、高松道など、四国四県的高速道路が交差する交通の要衝でもあり、国際港湾の整備も進んでいる等、国外にも開けた物流、情報発信基地になりうる可能性を秘めています。一方、他の地方都市と同様に、少子化による人口減少や、産業と一体となったまちづくり等の課題もあります。

四国中央市では、地場産業である紙産業振興の施策に加えて、早くから子育ての重要性に着目し市役所にこども課を設置するとともに、市内の製紙企業と連携して「子育て応援事業」を実施するなど、特徴的な事業を推進しています。



3. 授業の概要

四国中央市の特徴的な産業や事業を対象とし、松山における資料調査と現地調査（日帰り1日）、調査発表を組み合わせて授業を進めました。令和3年度は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市役所や企業への訪問は行わず、市内の土地利用や交通網、港湾設備を中心に現地見学を行いました。また、一般来訪者を受け入れていた愛媛県紙産業技術センターと霧の森を訪問し、伝統文化である水引の普及事業や特産品の新宮茶を活用した観光業について学びました。

4. 調査概要

四国中央市の歴史や地理的特徴、土地利用、主要産業である紙産業の現状と課題等、市に関する基本情報を調べた上で、「産業」「まちづくり」「環境」「観光」「スポーツ振興」の観点から調査を行いました。

4-1. 産業班

四国中央市の主要産業である紙産業について、業界全体の動向から日本で紙産業が盛んな地域、各地の主要企業や製造品種、行政による産業支援等について調査し、四国中央市で紙産業が発展した理由や今後の展望について考察しました。静岡県など、国内で紙産業が盛んな地域と、産業が発展した経緯や地理的な違い等を比較することで、四国中央市で紙産業クラスターが形成された理由を推察しました。また、近年の減プラ・脱プラの流れを受けて、新たに「紙」ができることを考え、四国中央市の企業で開発が望まれる紙製品についても提案がありました。

4-2. まちづくり班

「四国中央市の魅力」「住民にとっての暮らしやすさ」「空き家対策」の観点から調査を行いました。「四国中央市の魅力」については、四国の中心付近に位置し、高速道路によるアクセスが容易である、紙産業が盛んである、といった利点があるにも関わらず、認知度が低いいため、若い世代を中心に情報発信をPRする方法が提案されました。

「住民にとっての暮らしやすさ」では、交通インフラや教育・子育て、防災に着目し、住民の方の意識を調査しました。都市部と比較して公共交通機関の整備にやや課題があるものの、子供・子育て支援事業計画より充実した育児サポートが行われていること、介護サービス事業所と連携した高齢者の見守り支援体制があること等が分かりました。

県内でも問題となっている「空き家対策」については、市が行っている空き家対策事業を基に、市のどの地区で空き家が増加しているのか、商業施設等との兼ね合いから理由を考察し、リフォームによる空き家の活用や住民が交流する場の整備が提案されました。

4-3. 環境班

産業に起因する環境問題について調査を行いました。事前調査により、工場の操業や大型トラックが多く行き交うことによる騒音、振動、臭気問題が発生していることが分かりました。これら環境問題に対し、行政や企業の対応、住民の意識を追加で調査するとともに、現地調査では住宅地と工場の位置関係や道路事情を確認し、産業の活性化と住環境の維持の両面から現状の課題を把握し、環境改善に向けた方法を検討しました。

4-4. 観光班

新宮地区にある霧の森やあじさいの里を訪問し、特産品である新宮茶を活かした菓子（霧の森大福）やレストランの様子、交通アクセス等を調査しました。四国中央市における観光業を活性化させるため、新宮地区の他、翠波高原や具定展望台、水引体験等の市内観光スポットを連携させたグリーン・ツーリズムが提案されました。

4-5. スポーツ振興班

紙産業のイメージが非常に強い四国中央市ですが、四国中央市が実施しているスポーツイベントを調査し、歴史を感じるゆっくりウォーク、スポーツアドベンチャー等の体験型イベントから、しこちゅースポーツフォトコンテストのような特徴的なスポーツイベントがかなりの頻度で開催されており、スポーツ振興にも力を入れていることが明らかとなりました。このようなイベントをPRすることでスポーツ人口を増やす、また、健康作りを促進できると考えますが、インターネットの調査ではイベントに関する情報を多く得ることができなかつたため、例えば、フォトコンテストの入賞作品を市報や市のHPに掲載する等、対象とする年代に応じたPR方法を考え、市民の方がスポーツイベントにより関心を持つような取り組みが必要と感じました。



具定展望台から市街を望む



霧の森での新宮茶体験



愛媛県紙産業技術センターでの水引体験



あじさいの里を散策

5. 謝辞

学生の現地調査にご協力頂いた愛媛県紙産業技術センター、霧の森、四国中央市スポーツ協会の皆様に深く感謝申し上げます。

2021年度フィールド実習（松山市近郊）の活動紹介

担当：産業マネジメント学科 徐祝旗、谷本貴之、橘恵昭

1.授業内容の紹介

本クラスでは、松山市近郊の企業や地域が直面している諸課題を探り、その解決策を提案することを目的として、各グループにおいて調査研究を行った。なおその際、産業マネジメント学科では社会調査士資格取得のための科目として「フィールド実習」を開講することから、調査研究において定量的な手法（アンケートの実施やその分析等）を用いることとした。

2.授業のスケジュール

第1クォーター

各グループ6名、計8つのグループを編成し、テーマを設定して調査案を検討した。各グループにおいてまず個人で調査案を作成し、それらを踏まえてメンバーで協議してグループとして1つの調査案を決定した。そしてそれらに関する事前の情報収集を進めた。

第2クォーター

引き続き調査対象に対する情報収集を行うとともに、具体的にアンケートを作成・実施して定量データを収集したり、企業や地域住民等に対してインタビュー調査を実施して定性データを収集した。これらを踏まえてメンバーで十分な討議と分析を行い、課題解決に向けた提案を含む最終的な報告書を完成させた。

3.テーマ一覧

各グループで取り組んだテーマは、以下のとおりである。

- お土産菓子とサブスクリプションサービス
- コロナ禍における居酒屋の経営方法
- コロナ禍の大学生と飲食店を対象としたテイクアウトについての調査
- 三津地区の魅力を全国に
- 三津浜の実態調査とそれを基にして松山市の空き家対策を考える（※）
- コロナ禍での飲食店の格闘
- 愛媛FCの観戦者増加のために
- 松山市の違法駐輪について

※を付したテーマについて、次ページ以降で報告書の内容を紹介する。データ・情報の取り扱い上、一部黒塗りをしている。

フィールド実習報告書

「三津浜の実態調査とそれを基にして 松山市の空き家対策を考える」

2021年8月

グループ5班

愛媛大学 社会共創学部 産業マネジメント学科



目次

第 1 章 調査の背景と目的・調査方法 (P. 3～)

1-1 調査の背景 (P. 3～)

1-2 調査の目的 (P. 5～)

1-3 調査方法 (P. 6～)

第 2 章 調査結果 (P. 7～)

2-1 三津浜地域における空き家対策活動の概要 (P. 7～)

2-2 「①三津浜の空き家を利用して事業を行っている事業主」のアンケート調査 (P. 8～)

2-3 「②三津浜に住んでいる人々へのアンケート」 (P. 19～)

2-4 「③その他地域に住んでいる人々へのアンケート」 (P. 32)

第 3 章 考察 (P. 43～)

3-1 「三津浜への実態への考察」 (P. 43～)

3-2 松山市の空き家対策課題と提言 (P. 47)

第 4 章 結論 (P. 49～)

参考文献 (P. 50～)

付属資料 アンケート調査票 (P. 51～)

第 1 章 調査の背景と目的・調査方法

1-1 調査の背景

空き家問題は全国的な課題であり、その増加率は年々右肩上がりです。総務省が 2019 年 4 月に発表した住宅・土地統計調査（5 年ごとに調査）によれば、18 年 10 月時点での空き家の総数は 846 万戸となり、5 年前の前回調査に比べると 3.2% の増加で、住宅の総数に占める比率は 13.6% に達している。空き家率の高さでは、和歌山、徳島、鹿児島、高知、愛媛といった過疎化が進む中山間地を抱える西日本の県が上位を占めており、地域景観の悪化や悪臭の発生、老朽化による倒壊の危険性、犯罪や非行の温床になるといった、空き家をもたらす問題の対策と発生防止が差し迫った課題となっている。

空き家率の高さが全国 5 位の愛媛県。その県庁所在地である松山市でも空き家の増加傾向が続いており、1998 年（平成 10 年）から 2013 年（平成 25 年）までの 15 年間で、24,060 戸から、44,660 戸と約 2 万戸増加し、空き家率は 11.4% から 16.5% と 5.1 ポイント上昇している（図 1）。空き家率では、1998 年（平成 10 年）にはほぼ同水準であったが 2013 年（平成 25 年）には、愛媛県の空き家率は 17.5%、同市は 16.5% と全国平均を上回っている。過去 15 年間の上昇率も全国平均より高く、今後もさらに空き家率が高くなることが推測される（図 2）。松山市ではこの状況を踏まえ、空き家状況を早急的改善が必要な課題とし、「松山市特定空き家等審議会条例」を制定し、特定空き家等の判定を行うための基準の策定による対応や住民課に相談があった空き家については、所有者を調査し、空き家の所有者に適切な管理を指導している。また、誰もが安全・安心に暮らせる住まい・まちづくりを推進し、地域の安全確保と生活の環境の保全並びに空き家の有効活用推進を目的として「松山市空き家等対策計画」を定めている。

図 1 松山市の空き家数と空き家率の推移 出所：「松山市空き家等対策計画」より

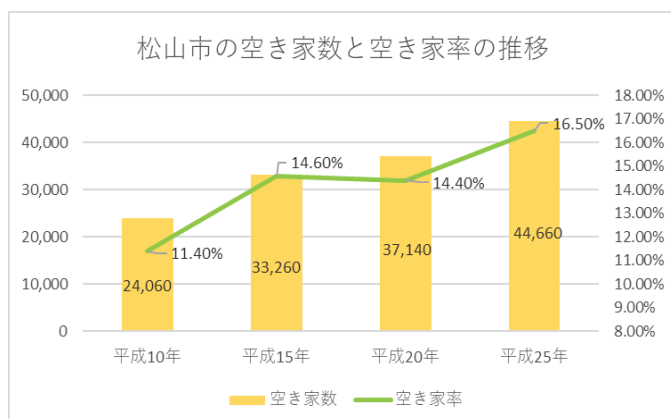
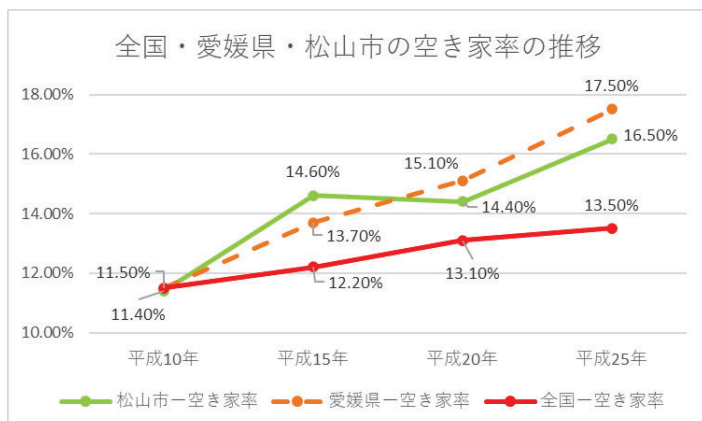


図 2 全国・愛媛県・松山市の空き家率の推移 出所：「松山市空家等対策計画」より



そして、空き家対策をまち単位で行っている地域がある。それが「三津浜」である。この三津浜地区は、明治から昭和の中頃まで、本州や離島を結ぶ海の玄関口や松山市の物流拠点の要衝となっていたが、近年、港の集客機能の移転や空路・鉄軌道、付近の港の整備といった交通機関の充実などによって港町としての位置づけが相対的に大きく変化し、次第に人通りが減少し、さらに大型店舗が周辺に立地されたことにより、買い物客は減少し、シャッター街が目立つようになった。三津浜の人口及び世帯数は、1979年に約1万人、約3100世帯であったが、年々減少傾向にあり、2015年には人口は半分の5千人までに減少し、世帯数は約2700世帯まで減少しており、人口減少のペースは、世帯数減少のペースよりも大きな減少ぶりを見せている（図3）。また、高齢化率の推移を見てみると、2000年に24.2%であった高齢化率は、2020年に36.0%まで上昇し、同年の市全体における数値を10%以上上回っている（図4）。これらの背景もあり、松山市が2015年に行った空き家の実態調査によれば、三津浜地域は、地区別における空き家化率にて、2番目に空き家率が高い（5.7%）地域である「北西部」に含まれている。人口の減少や高齢化による空き家問題を抱えている三津浜地域であるが、2010年には地域住民による主体的な活動を行う団体である「三津浜地区まちづくり協議会」が発足し、行政と連携を行いながら地域復興的な活動を展開。それと同時期に、若手経営者が商店街の空き家店舗を借りて事業を行い始める動きが自然発生的に展開される。2013年、協議会と市が共同で活性化事業として「三津浜地区にぎわい創出事業」を立ち上げ、担い手を募集し、そこに横浜の「コトラボ合同会社」が参画し、「ミツハマル」という名の企業名で三津浜独自の空き家バンクを開設する。そして、このような動きがあった後の2013年度からの8年間で、57件が地区への出店、25件が移住につながるといふ実績を挙げているのである。

図 3 三津浜地域 人口・世帯数推移 松山市オープンデータより作成

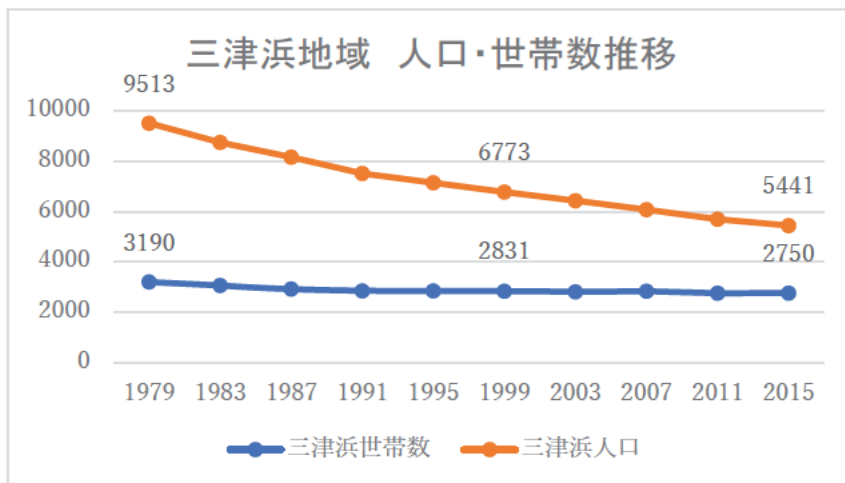
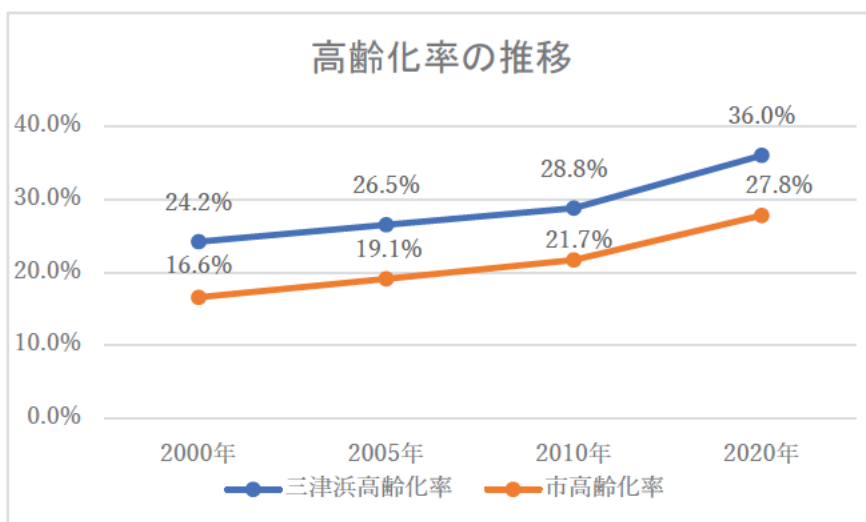


図 3 高齢化率の推移 松山市オープンデータサイトより作成



1-2 調査の目的

空き家と空き家率の増加傾向が続き、今後も増加が予測される松山市の空き家問題。空き家の放置は、地域景観の悪化や悪臭の発生、老朽化による倒壊の危険性、犯罪や非行の温床になるといった、地域に悪影響を招く元となり、早急の解決が求められる。しかし、有効活用を行い再利用できれば、地域の資源となることも可能であることも事実である。そこで我々の班では、松山市の空き家問題解決のために、市と同じく空き家問題を抱えた三津浜地区が、「なぜ空き家を利用する事業者や移住者を呼び込むことによって実績を挙げることができたのか」を、三津浜の実態を調査・分析することで、そこから得られる空き家対策に関する要素を松山市全域でも活かせないかと考えた。そして、その調査・分析のために、三津浜地域のこれまでの活動の内、「空き家対策」に焦点をあてた活動、加えて三津浜で空き家

を利用している「事業者」や「三津浜に住んでいる人々」、三津浜地域以外の「その他地域に住んでいる人々」へのアンケートによる三津浜地域の事業者や内面の特徴、及び空き家に対するイメージや意識、空き家対策における他地域事例との比較、という要素を設定し、調査・分析を行うこととした。また、その調査要素の調査・分析を用いて松山市の空き家対策における課題と松山市に必要な空き家対策を提言することとした。

1-3 調査方法

・調査対象

【アンケート調査】

アンケートの調査対象は、以下の3種類に設定し、それぞれに番号を振る。

- ①三津浜の空き家を利用して事業を行っている事業主
- ②三津浜に住んでいる人々
- ③その他地域に住んでいる人々（JR 松山駅や JR 松山市駅の通行人、愛媛大学生など）

以下から上記のアンケートはそれぞれ番号で呼ぶこととする。

【ヒアリング調査】

三津浜で空き家を利用して事業を行っている事業主へのヒアリング調査
松山市住宅課へのヒアリング調査

・調査手法

①のアンケートは、「ミツハマップ」に記載されている店舗のうち、空き家を利用して事業を行っているものをピックアップし、対面調査や Google フォームズを用いてアンケート調査を実施。②・③のアンケートは、対面調査及び Google フォームズでのアンケート調査を実施。③のアンケートは、対面調査、愛媛大学生には Google フォームズでのアンケート調査を実施した。

・調査項目

- ①アンケート・・・年齢性別、開業年、三津浜は開業に適しているか、三津浜の改善点など
- ②アンケート・・・年齢性別、三津浜の良いところ、改善点、空き家のイメージなど
- ③アンケート・・・年齢性別、三津浜の空き家対策を知っているか、空き家のイメージなど

・実施期間・・・ 2021年 7月7日～8月3日

・調査実施日・・・2021年 7月7日・14日（②③の対面アンケート）

①アンケートにおける Google フォームズや対面調査（ヒアリングも含む）は、店舗側の事情もあったため、調査実施日を限定せずに随時行った。

・フィールド調査の場所・・・ ②対面アンケート（ 駅、 商店街、 店）

③対面アンケート（ 駅、 駅、 店）

・対象（配布）数、回収数、回収率、有効回答数、有効回答率

	対象数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
①アンケート	32	22	68.75%	22	100%
②アンケート		74		74	100%
③アンケート		133		132	99%

第 2 章 調査結果

2-1 三津浜地域における空き家対策活動の概要

三津浜に空き家が増加することになった経緯については第 1 章で述べたが、以下では三津浜地区で行われている空き家対策に関する活動について具体的に述べていく。

「安心安全に努め、にぎわいのある創出と生きがいのある暮らしの実現のための、住民主体のまちづくり」という理念の下、2010 年に「三津浜地区まちづくり協議会」が発足し、それと同時期に、若手経営者が商店街の空き家店舗を借りて事業を行い始める動きが自然発生的に展開される。2013 年、協議会と市が「三津浜地区にぎわい創出事業」を立ち上げ、担い手を募集し、そこに横浜の「コトラボ合同会社」が参画し、「ミツハマル」という名の企業名で三津浜独自の空き家バンクである「町家バンク」を開設する。

「ミツハマル」は、地区の空き家・古民家情報を専用サイトにまとめ、貸したい物件所有者と物件を借りたい賃借希望者の橋渡しをする「町家バンク」を運営している。また、地区内の空き店舗を改装し、安価な賃料で賃借可能な「チャレンジショップ」を2件、1棟の建物に複数店舗が出店可能な「シェアショップ」を2棟整備し、新規出店や移住の促進による新たな賑わい創りを行っている。また、「ミツハマップ」や「三津お散歩マップ」といった三津浜の空き家を利用した店舗やおすすめスポットを紹介するマップを刊行している。イベント事業も行っており、壊れた空き家をワークショップの参加者が自ら修繕し、修繕の技術やリノベーションの意義を学ぶことができる「DIYワークショップ」や普段へ入れない古建築へ実際に足を運び、その良さや価値を学ぶ「古建築ツアー」の開催運営にあたっている。

「町家バンクは」、いわゆる空き家バンクとは異なり、三津浜地区に新たなにぎわいを創出することを目的として、それに適した空き家の情報を収集し、所有者等とのマッチングを図っているほか、新たに地区に来る人々に地元関係者の紹介や地区の情報提供など、地域振興の観点から地元との関わりを重視しながら実施している。

「チャレンジショップ」は、賃料を初年度4,000円/月額と低く設定する代わりに、利用者が出店可能な期間を3年間と上限を設け、独立開業を促す仕組みにしているほか、チャレンジショップ利用者が三津浜地区に出店を希望する際に、「町家バンク」を活用して希望物件が見つけれられるよう、事業を連携させて、地区への新規出店促進の効果が発揮されるよう制度づくりを工夫している。

「シェアショップ」は、実行委員会による収益事業としてサブリース（転貸や又貸）を行っており、2件のシェアショップの新規出店者からの家賃を、活性化事業の財源として充当するなど、自主財源の確保による事業の自立を目指している。行政との関わりにおいて、松山市では安定的かつ継続的なまちづくりを推進する、「松山市地域におけるまちづくり条例」を2009年月に制定し、市民が主体的、自発的に地域のまちづくりに関わることを目指しており、2014年には、三津浜と地区連携し、三津浜地区のにぎわいの創出や交流人口の拡大を図るための活動の指針となる計画である「三津浜地区活性化計画」を制定し、空き家対策については町家バンクの推進と運営支援が計画の1部として含まれている。これまでの成果では、空き家・空き店舗を活用した取組みによって、2013年年度からの約8年間で、三津ハマルの町家バンクによって75件のマッチングに成功し、うち57件が地区への出店、25件が移住につながった。（令和3年4月1日時点）現在では、じゃこてん屋、パン屋、自然野菜のランチの店や古民家カフェ、かき氷屋、革修理屋、雑貨屋、鍼灸院、ゲストハウス、ネイルサロン、図書館といった、空き家を活かした多種多様な店舗が展開されている。

2-2「①三津浜の空き家を利用して事業を行っている事業主」へのアンケート調査結果

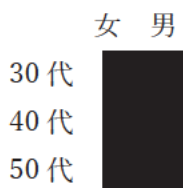
調査概要

ミツハマルのホームページ上にある「ミツハママップ」に掲載されている店舗の内、空き家を利用した店舗を抽出、それを対象として開業に関するアンケート調査を行い、32件中22件が回収された。

回答者属性

(1) 対象店舗の事業主の性別及び(2) 年齢

有効回答者 22 名



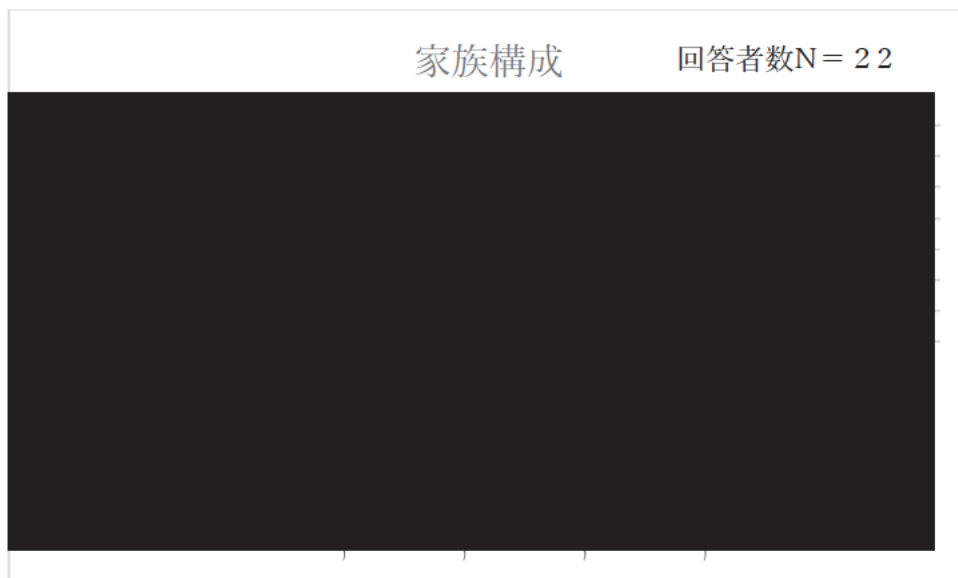
(3) 現在三津浜に住んでいるか

「はい」が %、「いいえ」が %である。

(4) 現在の住居の家族構成（子どもは2021年度に18歳予定までを子どもとする）

図4では、「大人2人」が 件で最も多く、次いで「大人1人」が 件で、子どもがいる事業者は計 件で、全体の %を占めている。

図4 家族構成



(5) 三津浜で開業する前に住んでいた直近の地域

「三津浜地区以外の松山市内」が と最も高く、次いで「三津浜地区」が、「」が %、「」が %、「」が %、中国地方」が %、「」が %であり、愛媛県外に住んでいた人々の割合は松山市内や三津

浜地区だけではなく、愛媛県外の地域に住んでいた人々が三津浜地区で開業していることがわかる。

(6) 事業主の直近の前職

図5では、「**事務・管理系**」が最も高い**100**%で、次いで「**企画系**」が**45**%、「**営業系**」が**36**%、「**技術・研究系**」が**18**%、「**販売・サービス系**」が**9**%、「**専門系**」が**9**%、「**金融系**」が**9**%となっており、事業主の前職に複数の業種があることがわかる。

図5 事業主の直近の前職



(7) 開業年

図6では、2019年に**10**店舗が開業したのが最も多く、次いで2020年の**7**店舗、2016年と2017年にそれぞれ**6**店舗が順に多く開業している。2012年、2013年、2018年にそれぞれの年で**5**店舗ずつ、2009年には**4**店舗が開業しており、去年や一昨年での開業が他の年に比べ**3**店舗ずつ少ないことがわかる。

図 6 開業年



(8) 店舗の形態

図 7 では、「賃貸」が ■■■ %、「購入」が ■■■ %となっている。

図 7 店舗の形態



(9) 店舗の外装・内装工事はどのようにして行ったか

図 8 では、「自分達で行った」が ■■■ %と最も割合が高く、次いで「専門的な業者に委託した」が ■■■ %、「専門的な業者への委託と自分たちの両方で行った」が ■■■ %、「外装・内装工事は行っていない」が ■■■ %となっており、 ■■■ %が自分たちで元の空き家を改装していることがわかる。

図 8 店舗の外装・内装工事割合



(10) 三津浜は開業するのに適した場所であると思うか

図 9 では、「まあ思う」が 最も割合が高く、次いで「とても思う」が %、「あまり思わない」が %となっており、少なくとも適していると考えている事業者が全体の %を占めていることがわかる。

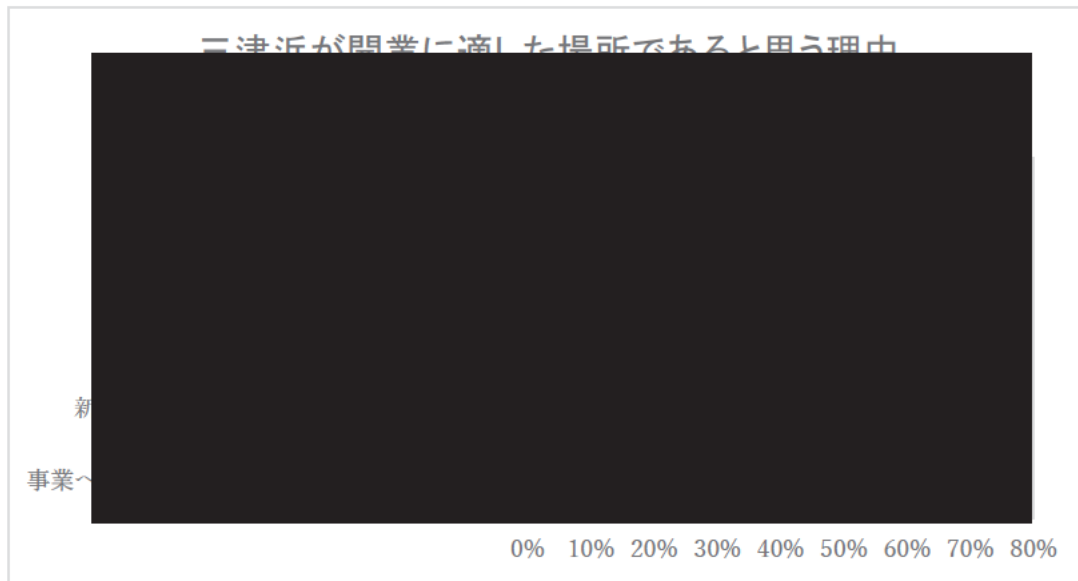
図 9 三津浜は開業するのに適している場所か



(11) 三津浜は開業するのに適した場所であると思うかの回答を選んだ理由(複数回答)

図 10 では、「家賃が安い」が で回答者の %がこれを選んでおり、次いで「住民が事業に寛容であるため」が で %、「地価が安い」が で %、「新事業へチャレンジしやすい」が で %、「新事業へのサポートが充実しているため」が で %となっており、「 」、「 」の割合が比較的高くなっている。

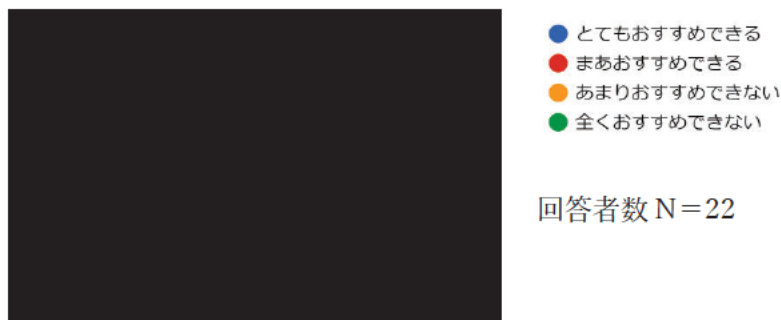
図 10 三津浜が開業に適している理由



(12) 開業先を探している人に三津浜をおすすめできるか

図 11 では、「まあおすすめできる」が [] で [] %と最も多く、次いで「とてもおすすめできる」が [] で [] %、「あまりおすすめできない」 [] % 「まったくおすすめできない」が [] %である。

図 11 開業先を探している人に三津浜をすすめるか



開業先を探している人に三津浜をおすすめできる理由の内訳（自由回答）

図 12 では、開業先を探している人に三津浜をおすすめできる理由として、「業種によってはおすすめできるから」の回答数が [] で最も多く、次いで「好きなことを行いながら店を経営できるから」の回答数が [] となっている。

図 12 三津浜をすすめる理由の内訳



図

(13) 三津浜での開業で苦勞したこと・大変だったこと (自由回答)

図 13 では、内訳において、三津浜の開業で苦勞した点では、「 」と答えた人が で最も多く、回答者の半数が挙げている。

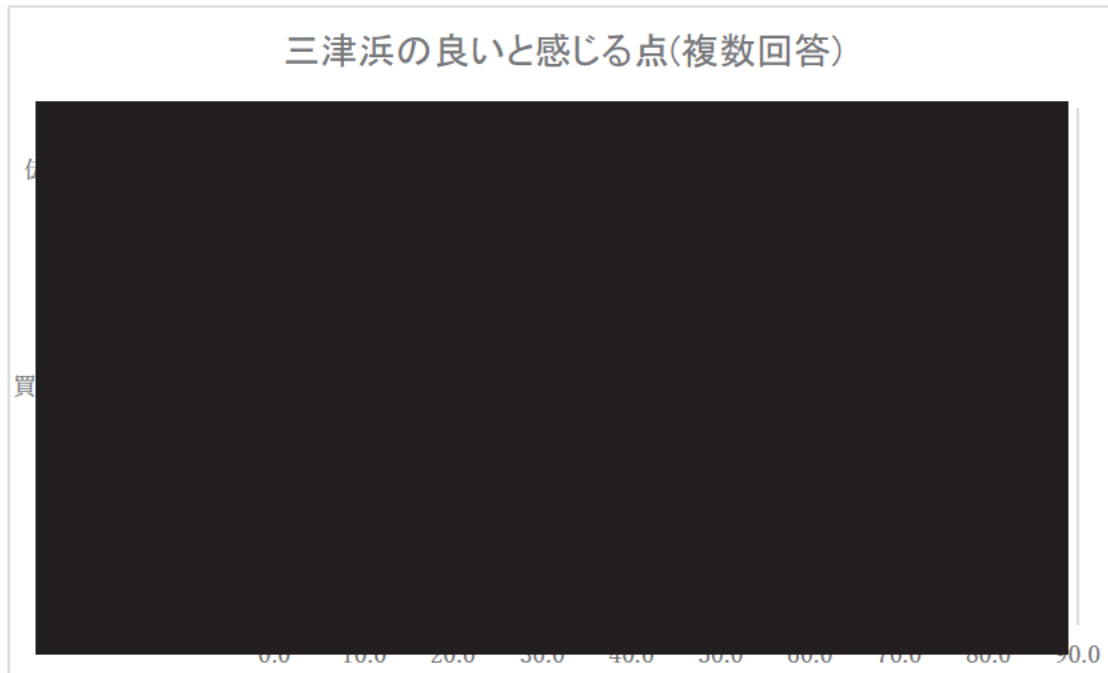
図 13 開業で苦勞したこと・大変だったことの内訳



(15) 三津浜の良いと感じる点 (最大回答数3つまで)

図14では、「**きれいな海**」が**32%**で回答者の**32%**がこれを選んでおり、次いで「**きれいな空**」が**28%**で**28%**、「**きれいな空気**」が**25%**で**25%**である。

図14 三津浜の良いと感じる点



(16) 三津浜の「改善すべきだ」と思う点 (最大回答数3つまで)

図15では、「**ゴミの処理**」が**32%**で回答者の**32%**がこれを選んでおり、次いで「**ゴミの分別**」が**28%**で**28%**、「**ゴミの回収**」が**25%**で**25%**である。

図 15 三津浜の改善点



(17) 今の物件をどのようにして知ったか (複数回答可)

図 16 では [redacted] からが [redacted] で回答者の [redacted] %がこれを選
んでおり、次いで [redacted] が [redacted] で [redacted] %であった。

図 16 今の物件をどのようにして知ったか



図 18 空き家に対するイメージ



(20) もし移住するなら以下のどのような点を重視するか。(最大回答数3)

図 19 では、「」が で、同じく「」が で回答者の %がこれらを選んでおり、次いで「」が で %、「」が で %、「」が で %である。

図 19 もし移住するならどのような点を重視するか



2-3 「②三津浜に住んでいる人々」のアンケート調査結果

調査概要

三津駅、三津浜商店街、そごうマート中須賀店にて、三津浜に住んでいる人に向けて対面でのアンケート調査を行い、Google フォームズでのアンケートも行った。(全 74 件)

回答者属性

(1)性別及び(2)年齢

	女	男
10代	5	5
20代		1
30代	6	3
40代	8	3
50代	4	2
60代	7	4
70代	15	6
80代	2	2

調査結果

(3) 出身地域

アンケート回答者の出身地域については、「三津浜」が 32.1%であり、「松山市内」が 32.1%であり、「愛媛県内」が 24.5%であり、「愛媛県外」が 11.3%である。

(4) 三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っていますか

図 20 では、三津浜の空き家対策について「知っている・聞いたことがある」と回答した人は 82%であり、「知らない」と回答した人は 18%である。

図 20 三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っているか

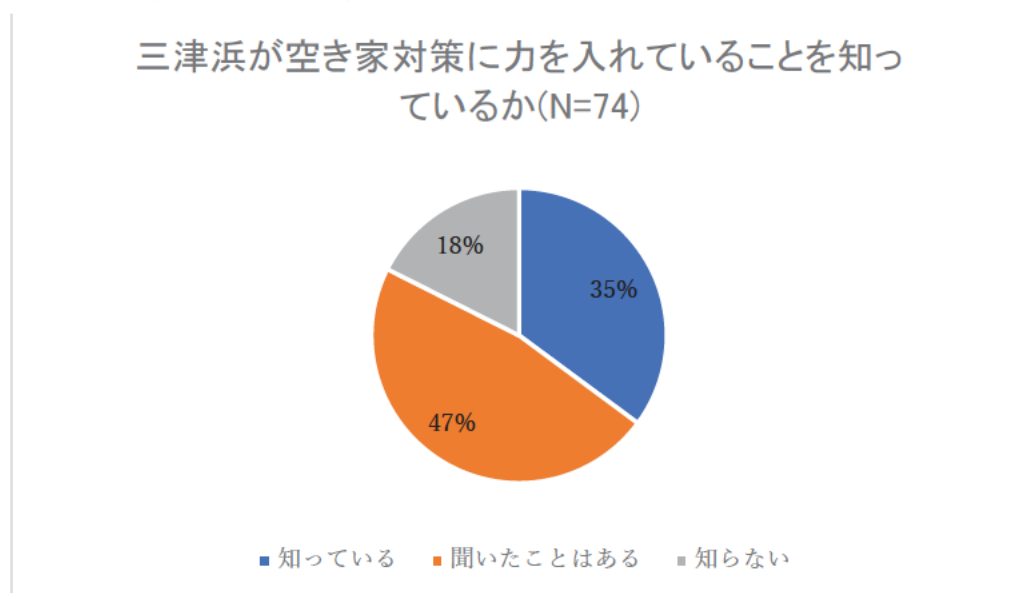


図 21 では、三津浜の空き家対策について知っているかどうかについて、50代は「知っている・聞いたことがある」と回答した人の割合が 83%と、他の年代よりも圧倒的に多い傾向にある。また、50代以外の他の年代も「知っている・聞いたことがある」と回答した人の割合が約 50%前後と全体的に分け隔てなく高い傾向にある。

※20代に関しては回答者 1 人の回答しか得られなかったため、考えないものとする。

図 21 三津浜の空き家対策認知度 年齢別

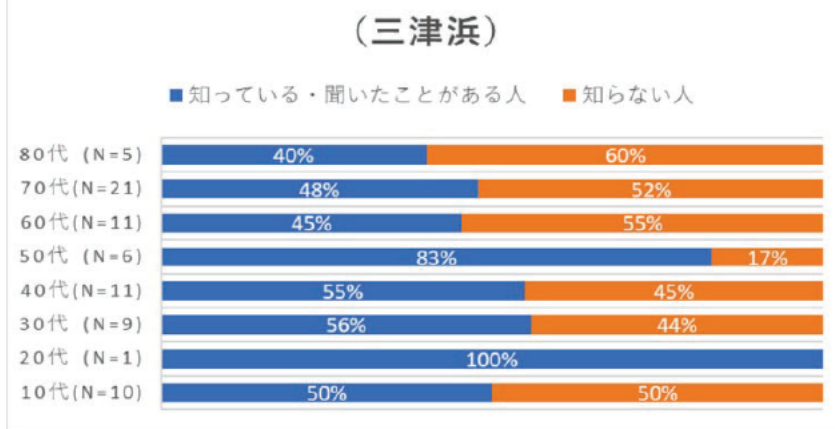
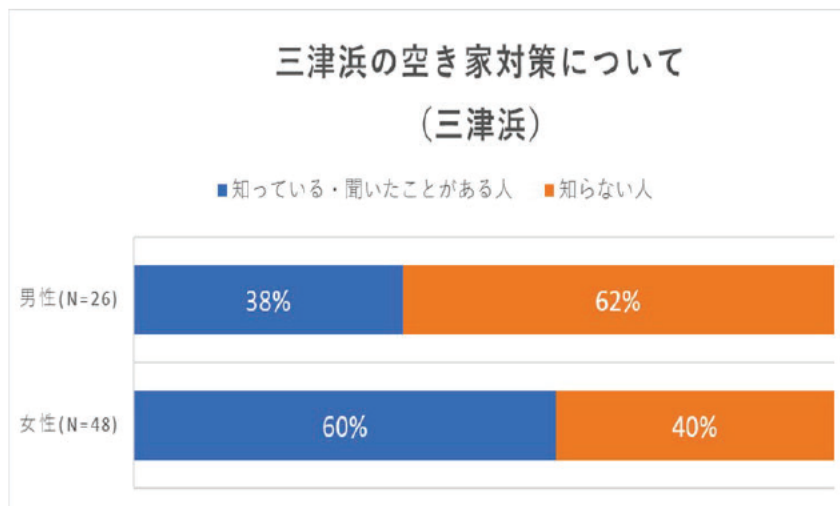


図 22 では、三津浜の空き家対策について知っているかどうかについては、「知っている・聞いたことがある」と回答した男性の割合が 38%、女性の割合が 60%であり、男性に比べ

図 22 三津浜の空き家対策認知度 性別ごと

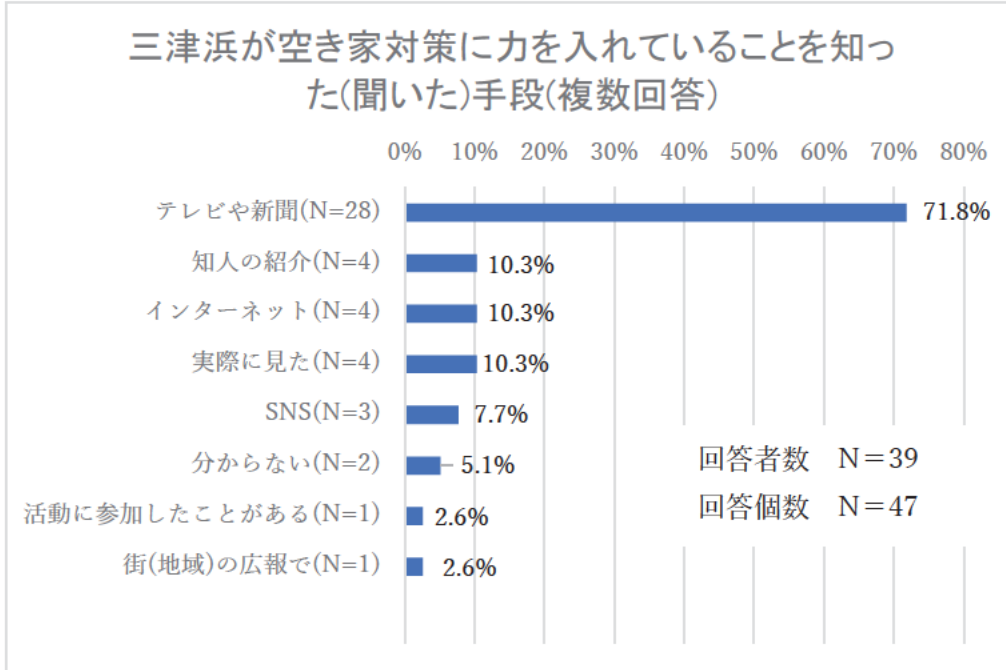


て女性の方が「知っている・聞いたことがある」と回答した人の割合が高い。

(5)どこで知りましたか/聞きましたか【いくつでも回答可】

図 23 では、三津浜が空き家対策に力を入れていることを知った(聞いた)手段については、「テレビや新聞」が 71.8%と最も多く、次いで「知人の紹介」「インターネット」「実際に見た」が 10.3%、「SNS」が 7.7%であった。また、その他の選択肢で「活動に参加したことがある」「街(地域)の広報で」が回答されていた。

図 23 三津浜空き家対策認知度

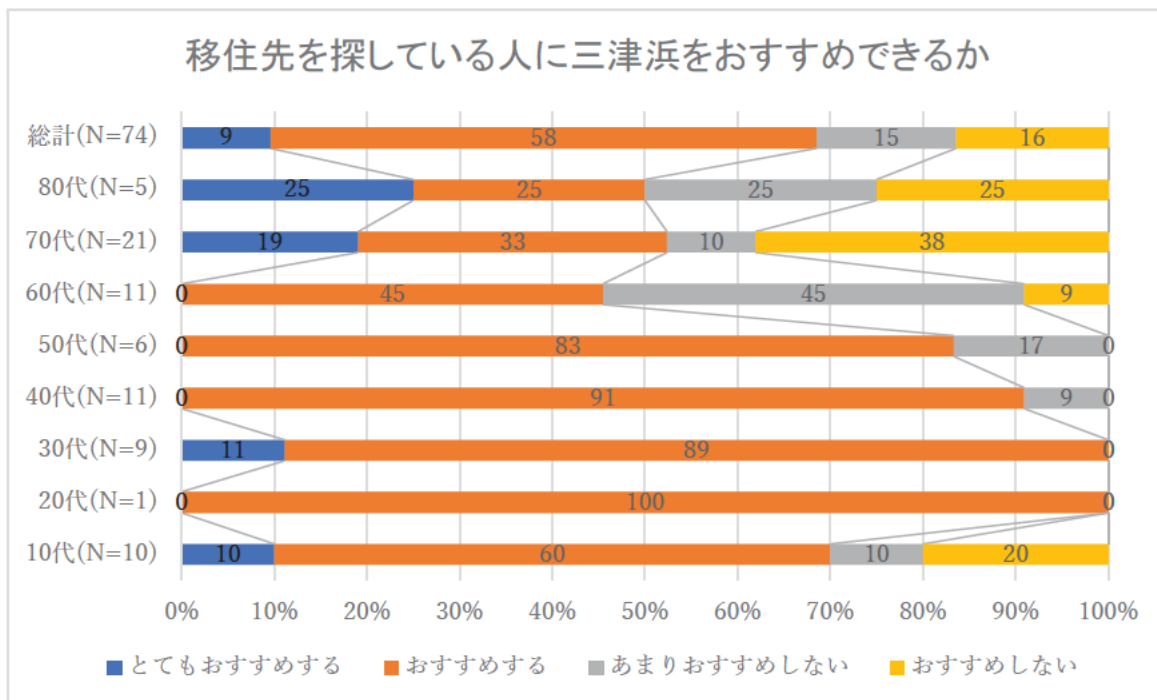


(6) 移住先を探している人に三津浜をおすすめしたいですか

図 24 では、総計を見ると、「とてもおすすめする」「おすすめする」と回答した人は 51 人で 67% という結果になった。年代別で見ると、30 代は「おすすめしない」「あまりおすすめしない」と回答した人はおらず、40 代・50 代についても「おすすめしない」と回答した人はいなかった。60 代は「あまりおすすめしない」「おすすめしない」と回答した人が 54 人で 54% と半数を超える結果となった。

※20 代については回答が 1 件しか得られていないため考えないこととする

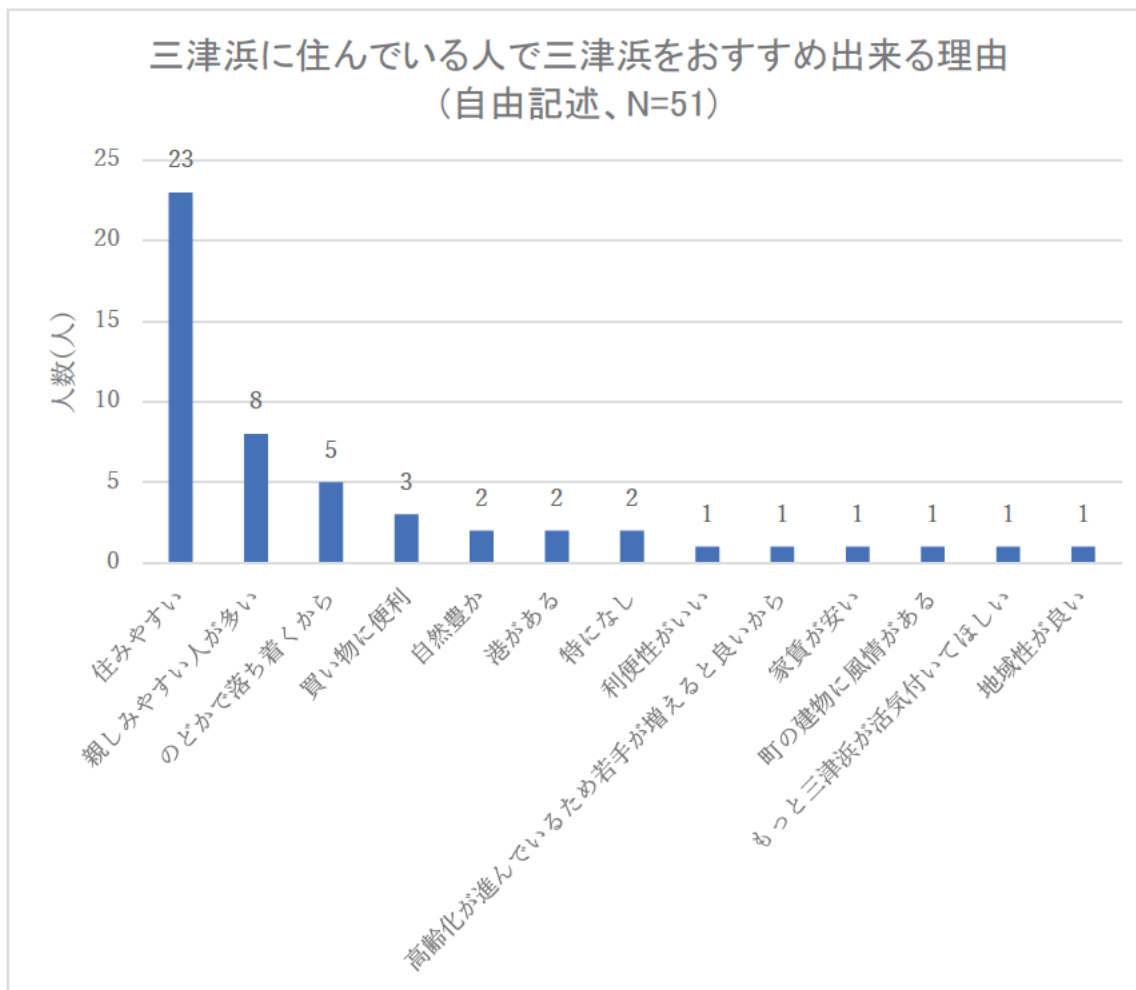
図 24 移住先を探している人に三津浜をおすすめできるか



(7)三津浜をおすすめする理由は何ですか【自由回答】

図 25 では、三津浜をおすすめする理由としては、「住みやすい」が最も多く(23人,45%)、次いで「親しみやすい人が多い」(8人,16%)「のどかで落ち着くから」(5人,10%)であった。

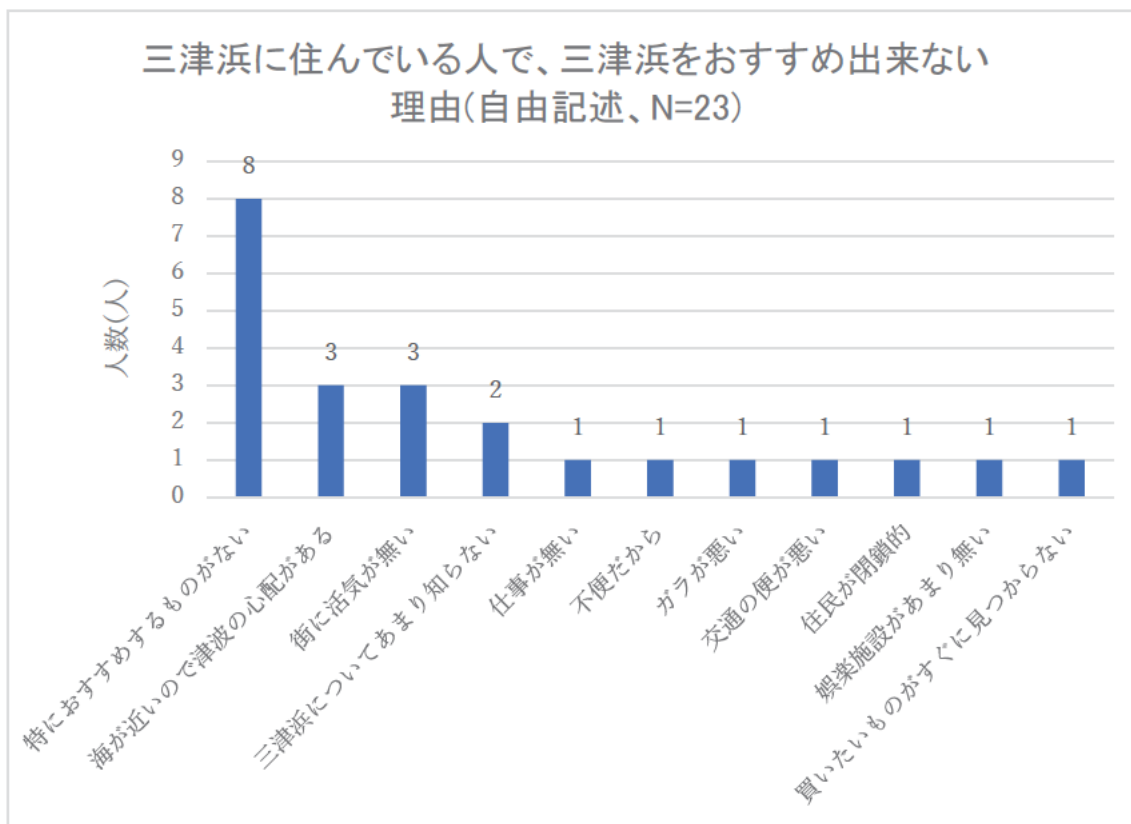
図 25 三津浜に住んでいる人で三津浜をおすすめできる理由



(8)三津浜をおすすめしない理由は何ですか【自由回答】

図 26 では、三津浜をおすすめしない理由としては、「特におすすめするものがない」が最も多く(8人,35%)で、次いで「海が近いので津波の心配がある」(3人,13%)、「街に活気が無い」(3人,13%)であった。

図 26 三津浜に住んでいる人で三津浜をおすすめできない理由



(9)三津浜の良いと感じることは何ですか【特に当てはまるもの最大3つ】

図 27 では、三津浜の良い点のグラフを見ると、「買い物の利便さ」が最も多く 31 人(42%)であった。次いで「自然の豊かさ」(29 人,39%)、「伝統的な景観」(26 人,35%)となった。

図 27 三津浜の良い点

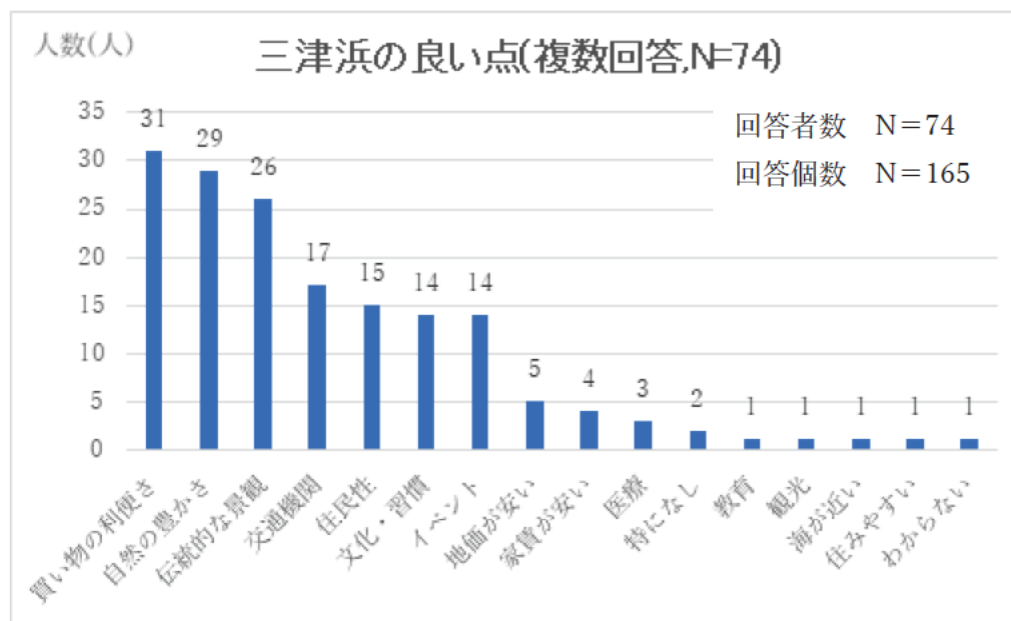
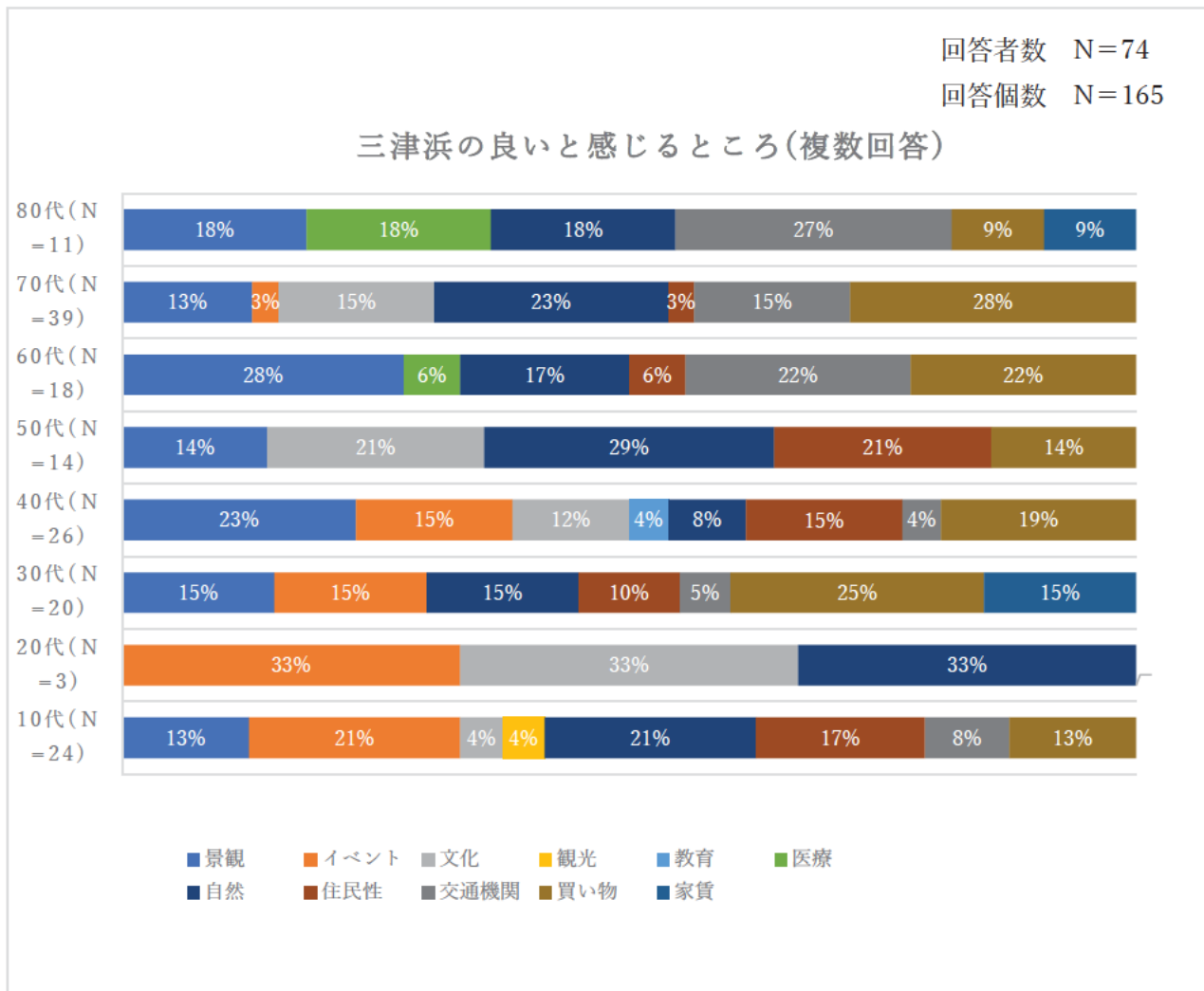


図 28 は、三津浜の良い点を年代別に分析したものである。全体的に見て、全ての年齢で共通して挙げられている分野は「自然」のみであることが分かる。また、「観光」を挙げている年代は 10 代のみで、その割合も 4%とかなり低くなっている。そして 10 代は、良い点として「イベント」「自然」を挙げている人の割合が高いことが分かる。30 代と 40 代は「買い物の利便さ」と「景観」を挙げている人の割合が高い傾向にある。また、10 代～50 代ではほとんど挙げられなかった「交通機関」の割合が 60 代～80 代になるとかなり高くなっており、特に 80 代では 27%と最も高い割合となっている。さらに、三津浜の良い点として「医療の充実」を挙げている人は、60 代と 80 代でのみ見られると分かる。

※20 代に関しては回答者 1 人の回答しか得られなかったため、考えないものとする。

図 28 三津浜の良いと感じるところ



(10)三津浜の改善すべきところは何だと思えますか【特に当てはまるもの最大3つ】

図 29 では、三津浜の改善すべき点のグラフを見ると、「特になし」が最も多く 24 人であった。次いで「交通機関」(21 人)、イベント(10 人)、観光(10 人)となった。

図 29 三津浜の改善すべき点

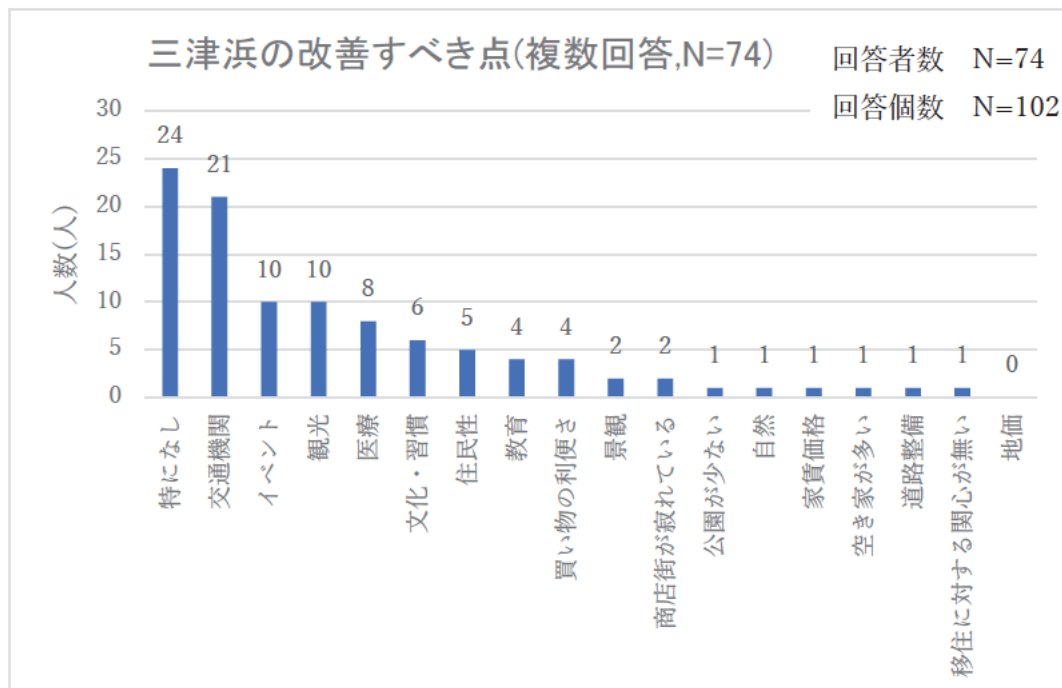
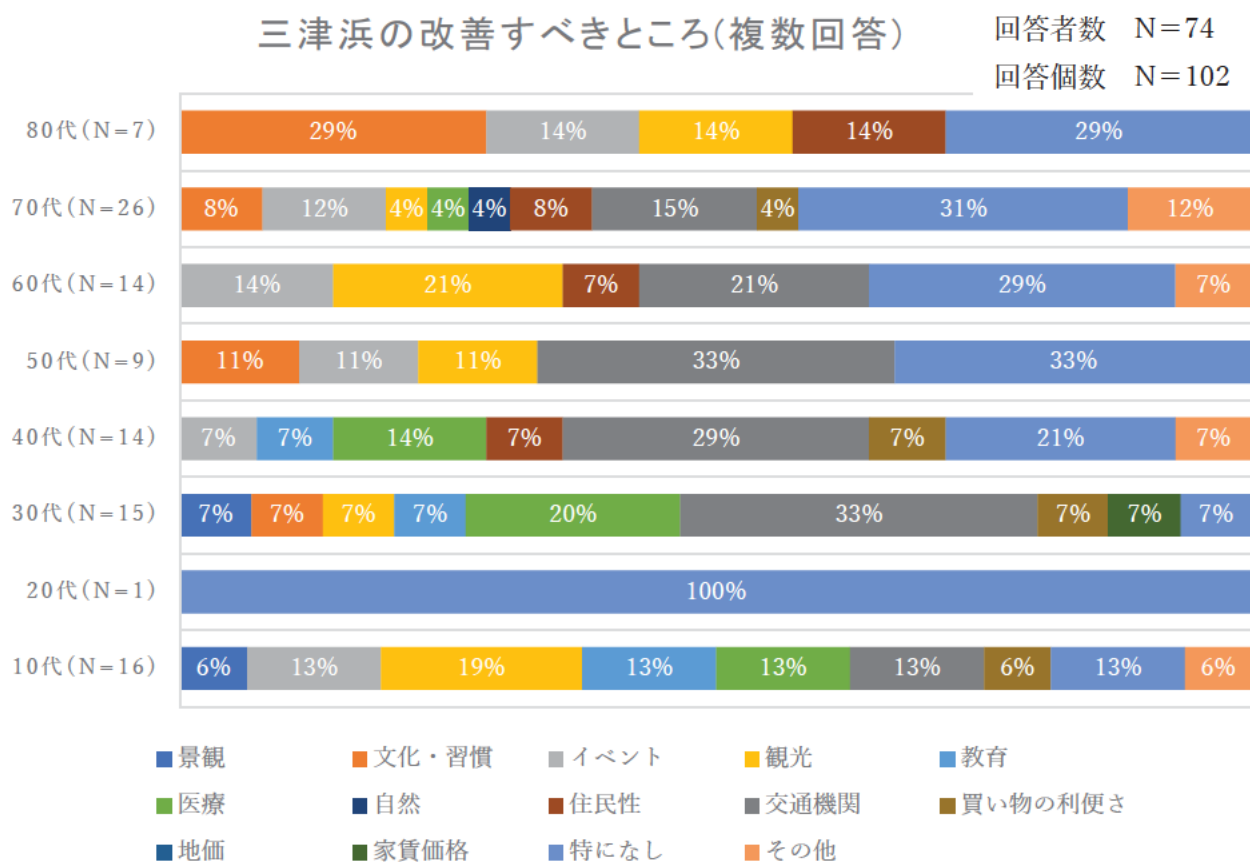


図 30 は、三津浜の改善すべき点を年代別に分析したものである。どの世代においても、「特になし」と答えた人がいると分かる。特に 50～80 代においてその割合が高くなっている。具体的に統計を見ていくと、10 代では、改善点として「観光」を挙げている人の割合が 19%と最も高いことが分かる。また、30 代と 40 代をみると、改善点として「医療の充実」「交通機関」を挙げている人の割合が高いと分かる。さらに、80 代では、三津浜の改善点として「文化・習慣」「住民性」を挙げている人の割合が、他の年代と比較した時高いと読み取れる。

※20 代に関しては回答者 1 人の回答しか得られなかったため、考えないものとする。

図 30 三津浜の改善すべきところ



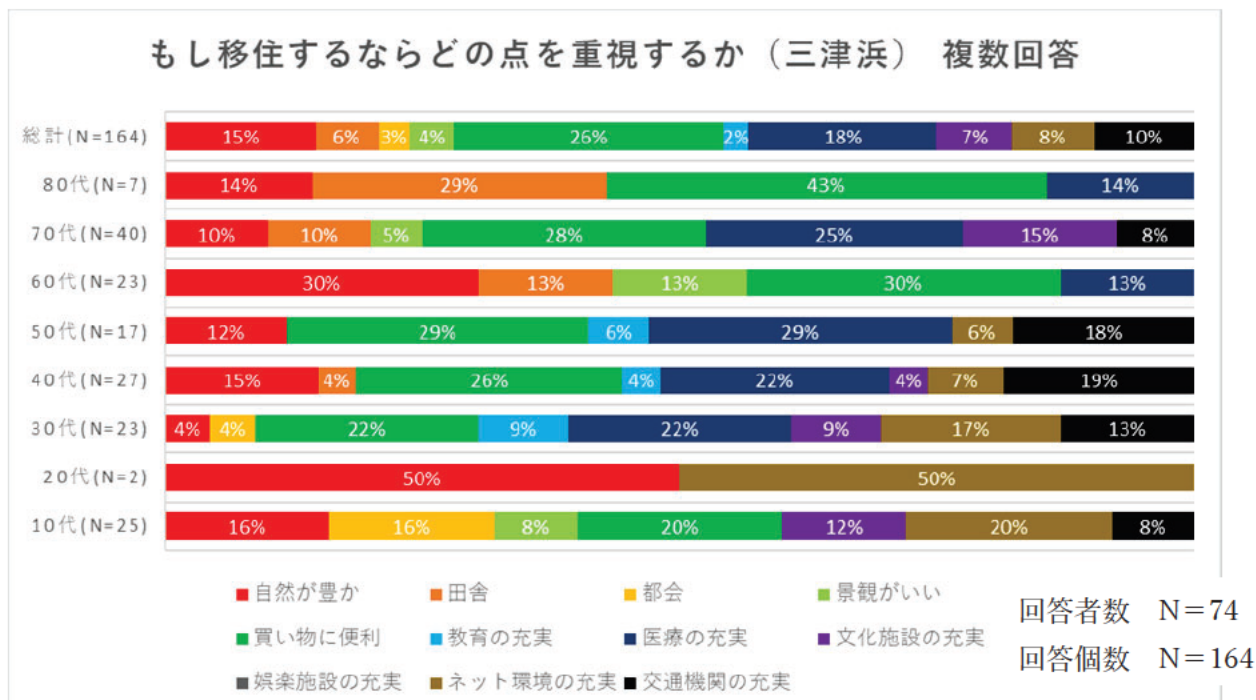
(11)もし移住するならどのような場所が良いですか【特に当てはまるもの最大3つ】

図 31 では、総計を見ると、「自然が豊か」が15%であり、「田舎」が6%であり、「都会」が3%であり、「景観がいい」が4%であり、「買い物に便利」が26%であり、「教育の充実」が2%であり、「医療の充実」が18%であり、「文化施設の充実」が7%であり、「ネット環境の充実」が8%であり、「交通機関の充実」が10%である。

年代別にみると、どの年代も「買い物に便利」を重視する割合が全体の約20%以上を占めているなど比較的に高く、続いて、「自然が豊か」や「交通機関の充実」を重視する割合も全体の約10%前後を占めているなど比較的に高い。また、年代が上がるにつれて、「医療の充実」を重視する割合が増加傾向にある。10~30代では「田舎」を重視する人はいないが、60~80代では「田舎」を重視する人がおり、その割合も全体の約10%前後を占めるなど比較的に高い。逆に、60~80代では「ネット環境の充実」を重視する人はいないが、10~50代では「ネット環境の充実」を重視する人がおり、その割合も多い傾向にある。

※20代に関しては回答者1人の回答しか得られなかったため、考えないものとする。

図 31 もし移住するならどの点を重視するか

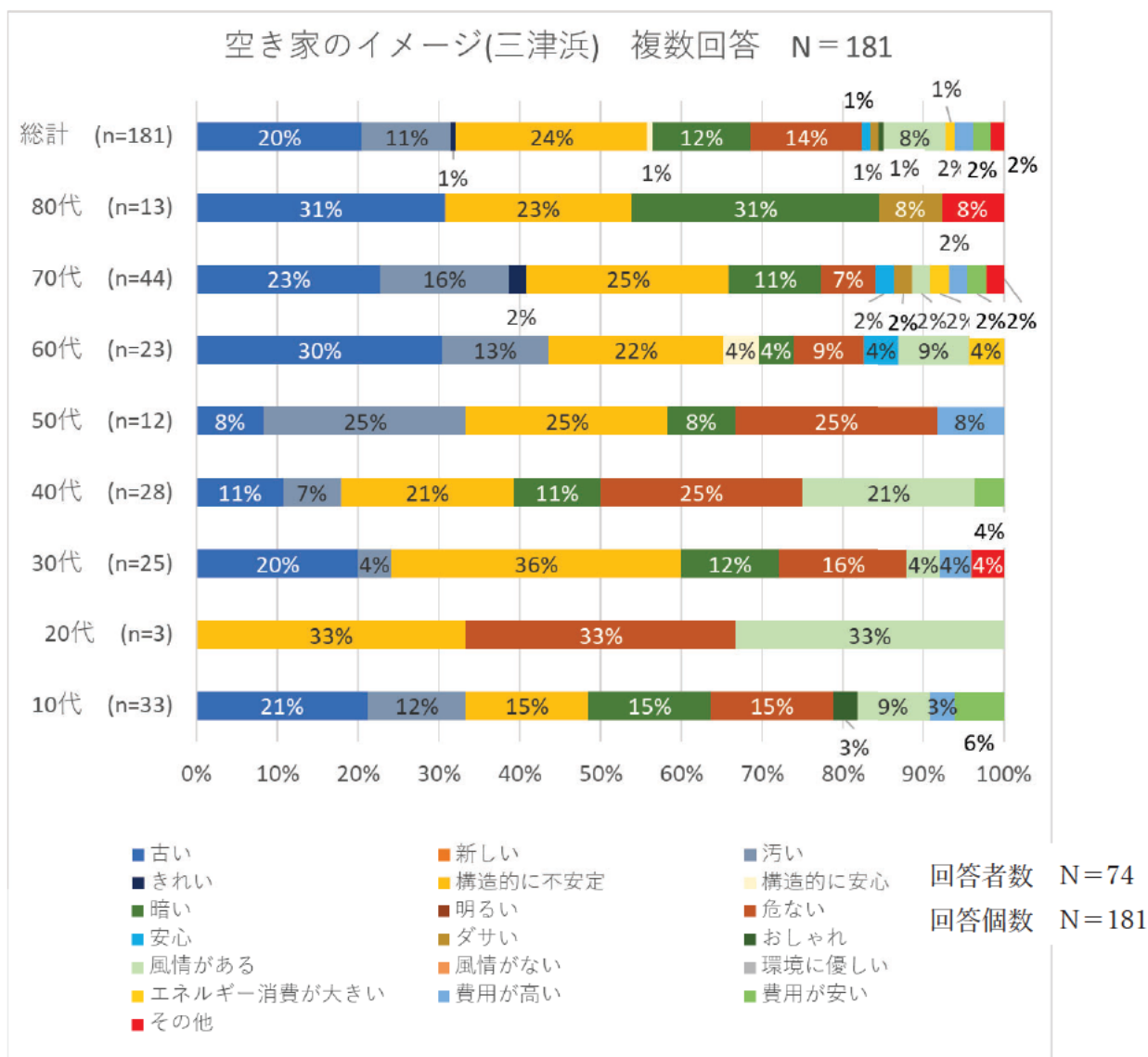


(12) 空き家に対してどのようなイメージを持っていますか【特に当てはまるもの最大3つ】

図 32 を見ると、「古い」「汚い」「構造的に不安定」「暗い」「危険」といったマイナスのイメージを持つ人はすべての年代で約 80% と高い割合を占めている。特に「古い」「構造的に不安定」「危険」の回答はどの年代でもそれぞれ約 10%~30% の割合を占めている。残りの約 10%~15% はプラスのイメージで、「風情がある」「費用が安い」という回答は他のプラスのイメージの回答より高い割合を占めている。40 代を見たとき、「風情がある」という回答が全体の 21% を占めており、この結果は他の年代より高い数値となっている。

※20 代に関しては回答者 1 人の回答しか得られなかったため、考えないものとする。

図 32 空き家のイメージ (三津浜)



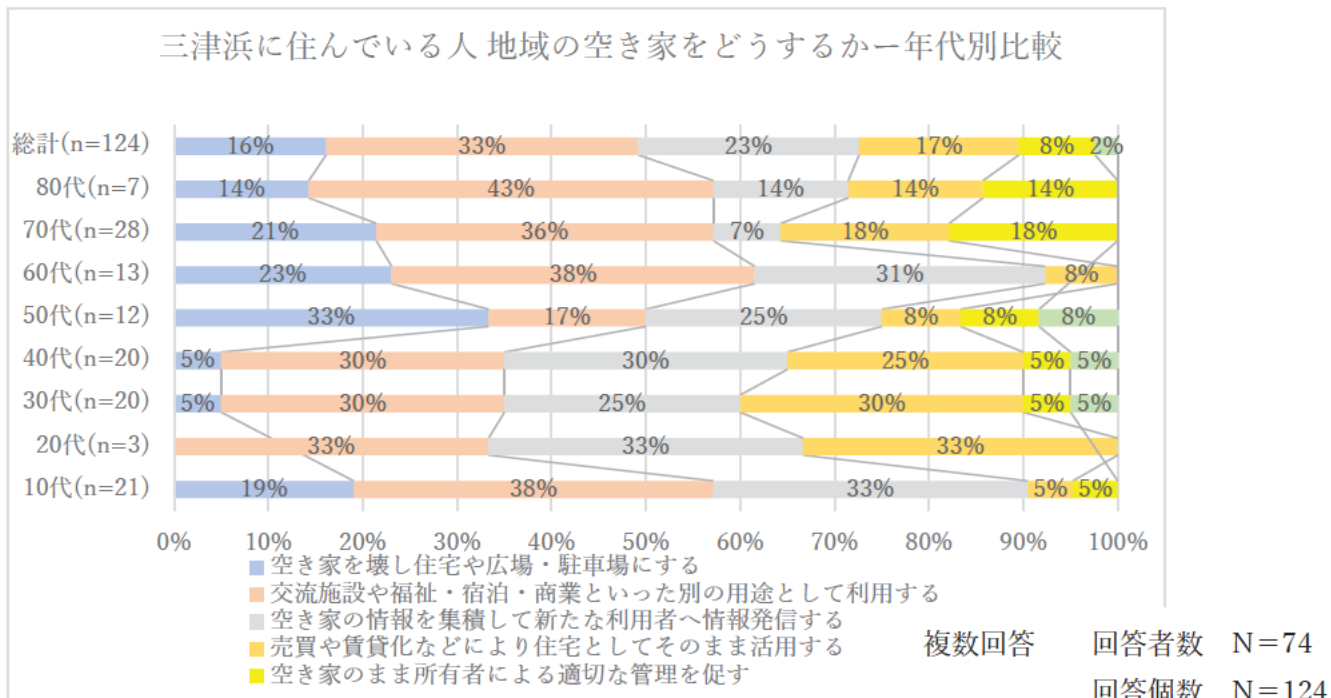
(13) 地域(三津浜に限らない)の空き家を今後どうしていきべきだと思いますか【特に当てはまるもの最大3つ】

図 33 では、総計を見ると、「交流施設や福祉・宿泊・商業といった別の用途として利用する」が 33%、次いで「空き家の情報を集積して新たな利用者へ情報発信する」が 23%、「売買や賃貸化などにより住宅としてそのまま活用する」が 17%、「空き家を壊し住宅や広場・駐車場にする」が 16%となっておりこの2つは近い割合を示している。

年代別に見てみると、「交流施設や福祉・宿泊・商業といった別の用途として利用する」と「空き家の情報を集積して新たな利用者へ情報発信する」が 30・40 代の「空き家を壊し住宅や広場・駐車場にする」の割合が共に 5%に対し、50・60・70 代は3者ともに 20%を上回っている。また、30・40 代は「売買や賃貸化などにより住宅としてそのままか活用

する」の割合が30%と25%で、他の年代よりも比較的高い割合を示している。
 ※20代に関しては回答者1人の回答しか得られなかったため、考えないものとする。

図 33 三津浜に住んでいる人 地域の空き家どうするか 年代別比較



2-4 「③その他地域に住んでいる人々」のアンケート調査結果

調査概要

松山駅、松山市駅、フジ本町店で対面アンケートを、愛媛大学生へ Google フォームズでのアンケートを行い、133 件中 132 件が有効回答数となった。

回答者属性

(1)性別及び(2)年齢

	女	男
10代	5	5
20代		1
30代	6	3
40代	8	3
50代	4	2
60代	7	4
70代	15	6
80代	2	2

調査結果

(3) 出身地域（最も最近で当てはまるもの）

アンケート回答者の出身地域については、「松山市内」が 52.6%であり、「愛媛県内」が 21.8%であり、「愛媛県外」が 21.8%であり、「三津浜」が 3.8%である。

(4) 現在の居住地

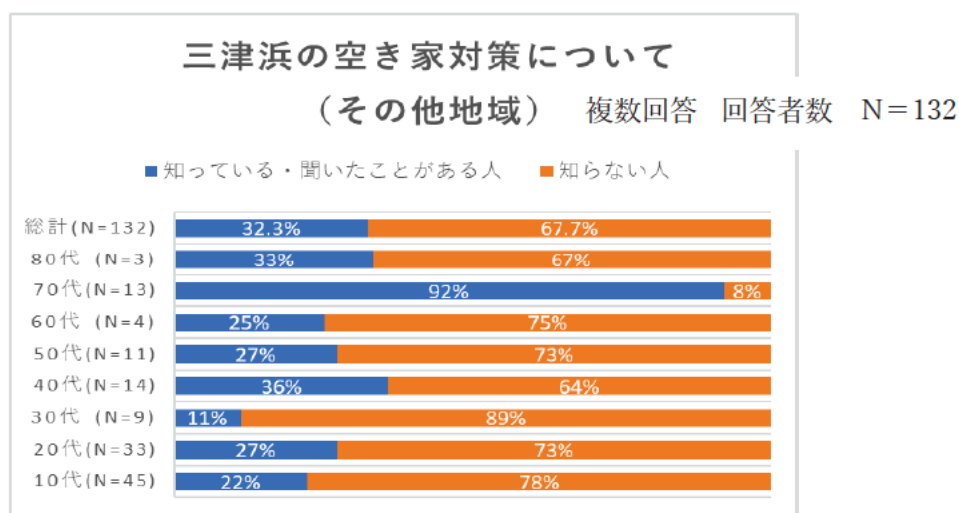
アンケート回答者の現在の居住地については、「松山市内」が 81.2%であり、「愛媛県内」が 5.3%であり、「愛媛県外」が 10.5%であり、「三津浜」が 3%である。

(5) 三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っていますか

図 34 では、総計を見ると、三津浜の空き家対策について「知っている・聞いたことがある」と回答した人は 32.3%であり、「知らない」と回答した人は 67.7%である。

年代別にみると、70代のみ「知っている・聞いたことがある」と回答した人の割合が 92%と高かったが、70代以外の他の年代では「知っている・聞いたことがある」と回答した人の割合はどれも約 30%前後であり、低い傾向にある。

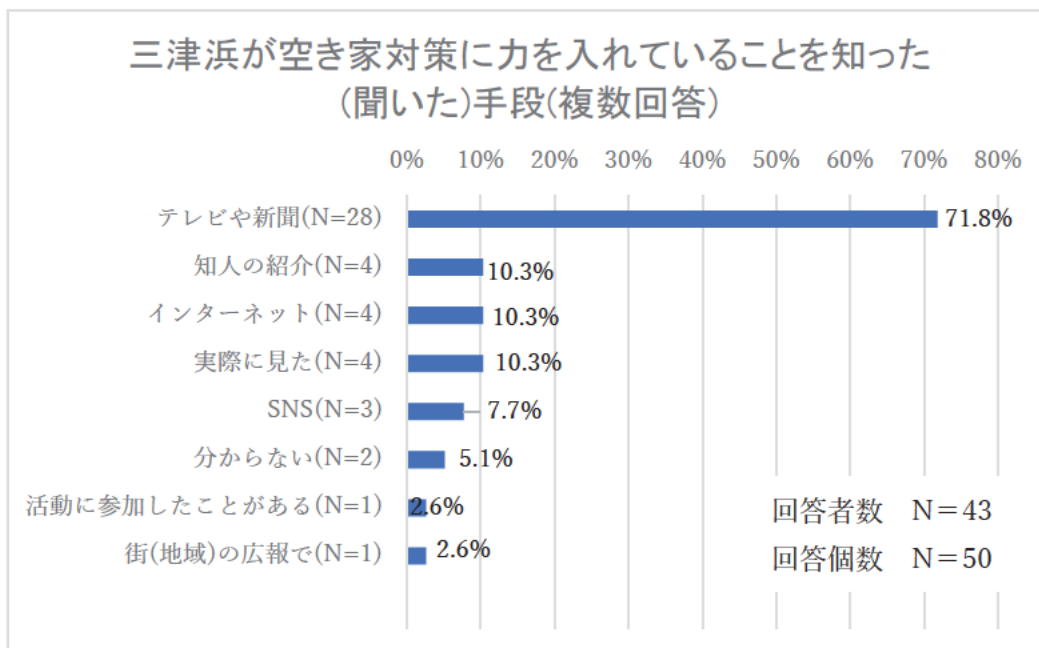
図 34 三津浜の空き家対策について認知度（その他地域）



(6) どこで知りましたか／聞ききましたか【いくつでも回答可】

図 35 では、三津浜が空き家対策に力を入れていることを知った（聞いた）手段については、「知人の紹介」が 14%であり、「活動に参加したことがある」が 4.7%であり、「テレビや新聞」が 58.1%であり、「インターネット」が 14%であり、「SNS」が 16.3%である。また、その他の選択肢で「中学校で訪問した」や「課題研究で三津浜について調べた」が回答されていた。

図 35 三津浜の空き家対策に力を入れていることを知った・聞いた手段

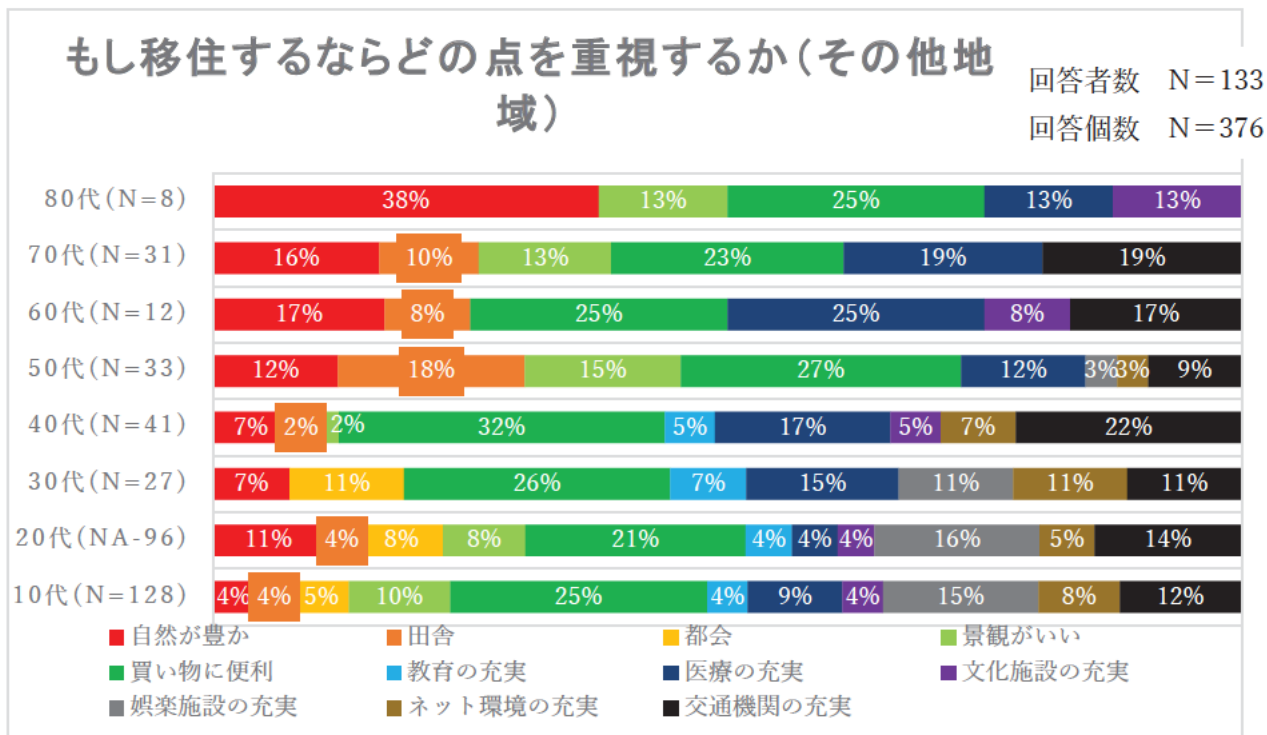


(7) もし移住するならどのような場所が良いですか【特に当てはまるもの3つ】

図 36 では、総計を見ると、「自然が豊か」が 8.8%であり、「田舎」が 5%であり、「都会」が 5%であり、「景観がいい」が 8.4%であり、「買い物に便利」が 24.6%であり、「教育の充実」が 3.6%であり、「医療の充実」が 10.5%であり、「文化施設の充実」が 3.3%であり、「娯楽施設の充実」が 11%であり、「ネット環境の充実」が 6.2%であり、「交通機関の充実」が 13.6%である。

年代別で見ると、どの年代も「買い物に便利」を重視する割合が全体の約 20%以上を占めているなど比較的に高い。また、年代が上がるにつれて、「自然が豊か」と「医療の充実」を重視する割合が増加傾向にある。10~30代は「都会」を重視する人がいるにもかかわらず、40代以降は「都会」を重視する人はおらず、むしろ「田舎」を重視する人の割合が増加傾向にある。加えて、10~40代の人たちのみ「娯楽施設の充実」を重視しており、その割合も全体の 15%前後を占めるなど比較的高めである。

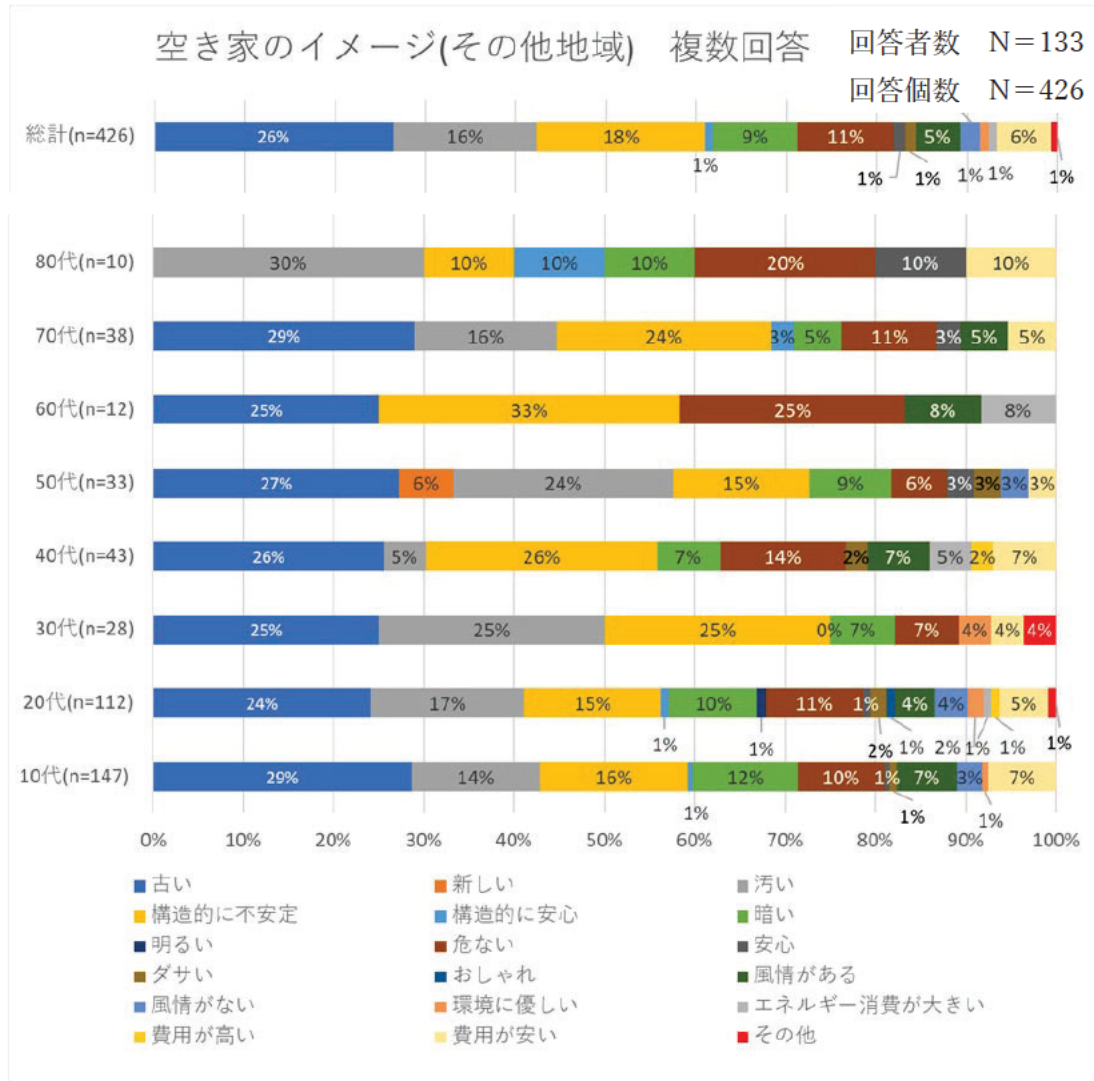
図 36 もし移住するならどの点を重視するか（その他地域）



(8) 空き家に対してどのようなイメージを持っていますか【特に当てはまるもの3つ】

図 37 では、統計を見ると、「古い」「汚い」「構造的に不安定」「暗い」「危険」といったマイナスのイメージを持つ人はすべての年代で約 80%と高い割合を占めている。残りの約 15%はプラスのイメージである。その中で 10 代、20 代の若い世代は他の年代に比べて約 5～9%プラスのイメージを持っている人が多い。「風情がある」「費用が安い」といったプラスのイメージを持つ人がどの年代にも少しずついる。空き家が「環境に優しい」、「エネルギー消費が大きい」という対称的な質問に答える人、両方いるというのは考え方に差があるというの分かる。

図 37 空き家のイメージ (その他地域)

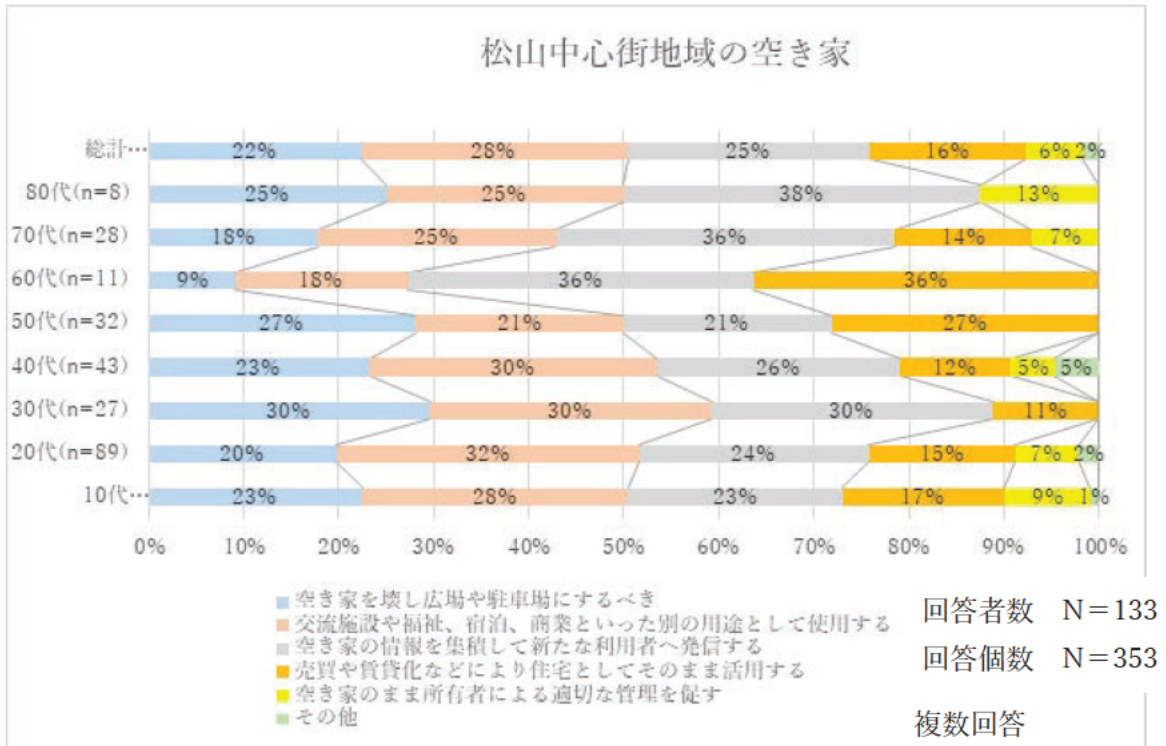


(9) 地域の空き家を今後どうしていくべきだと思いますか【特に当てはまるもの最大3つ】

図 38 では、総計を見ると、「交流施設や福祉・宿泊・商業といった別の用途として利用する」が 28%、次いで「空き家の情報を集積して新たな利用者へ情報発信する」が 25%、「空き家を壊し住宅や広場・駐車場にする」が 22%、「売買や賃貸化などにより住宅としてそのままか活用する」が 16%となっている。

年代別に見てみると、10代から40代の若い世代において「空き家を壊し住宅や広場・駐車場にする」がどの世代でも 20%以上の割合を示している。

図 38 地域の空き家を今後どうするか（その他地域）



2-5 アンケートをまたがった質問同士の比較結果

アンケートの調査対象は、以下の3種類に設定し、それぞれに番号を振る。

- ①三津浜の空き家を利用して事業を行っている事業主
- ②三津浜に住んでいる人々
- ③その他地域に住んでいる人々

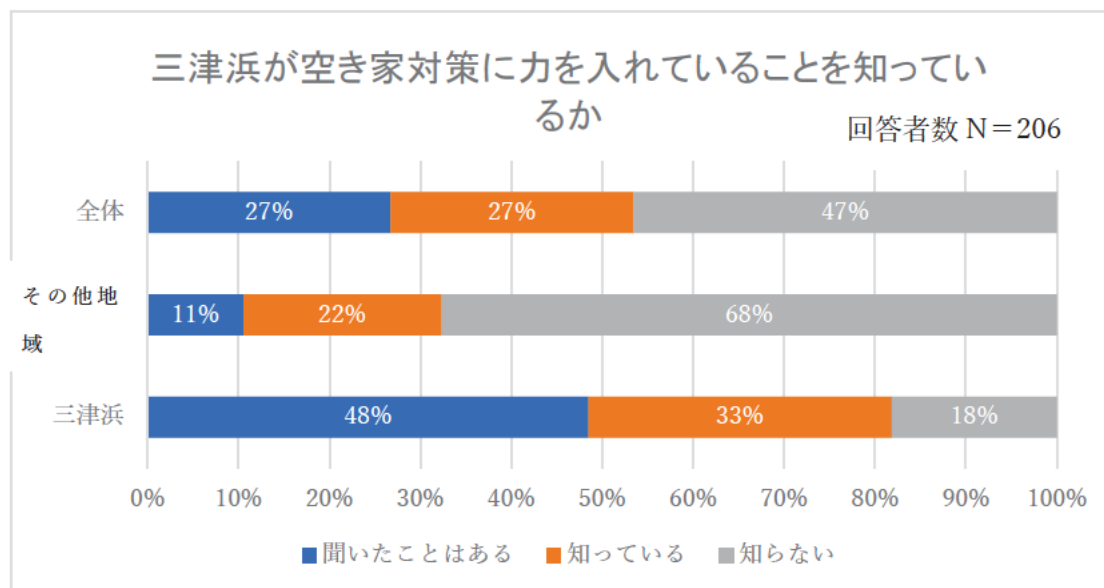
質問において、○付きの番号が並んでいるのは、上記の種類アンケートにその質問がまたがっていることを表すためである。

①②③「三津浜が空き家対策に力を入れているのは知っているか」

図 39 では、全体を見ると、三津浜の空き家対策について「知っている・聞いたことはある」と回答した人は合計約 54% で、「知らない」と回答した人より少し多かった。

その他地域は、三津浜に比べ、「知らない」の割合が約 7 割を占め、かなりの差があることがわかる。

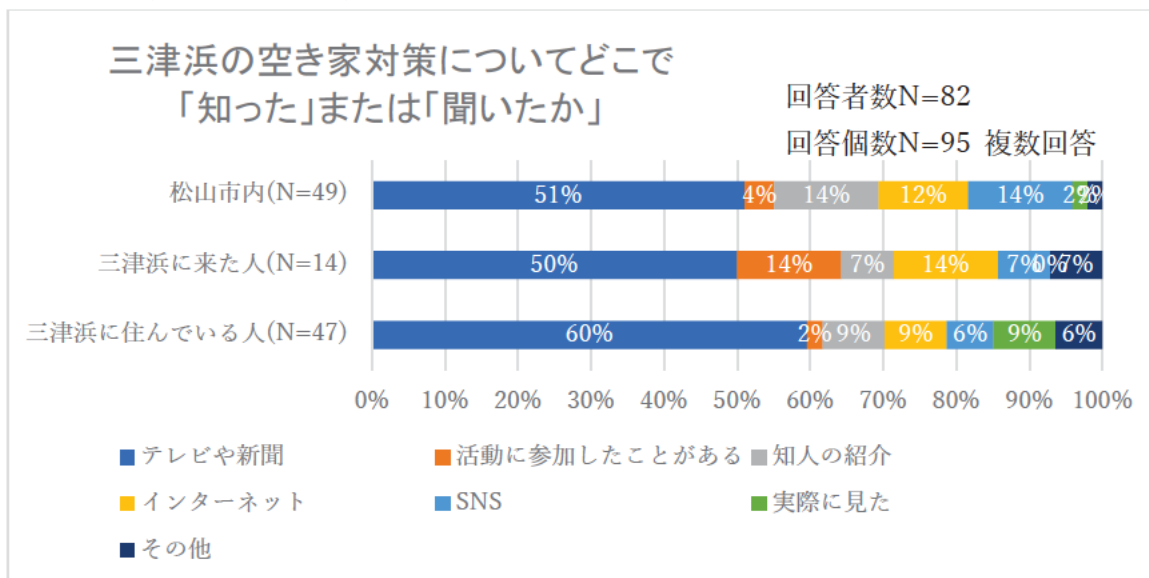
図 39 三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っているか



②③三津浜の空き家対策についてどこで知ったか【複数回答可】

図 40 では、どのアンケートにおいても、「テレビや新聞」が 50～60%以上で、情報源となっている人が多くなっている。その他は SNS やインターネットによって知った人が 10%前後で、多くなっている。また、三津浜アンケートでは「実際に空き家を見た」という回答をしている人が 9%でその他内の回答であったが多くなっている。

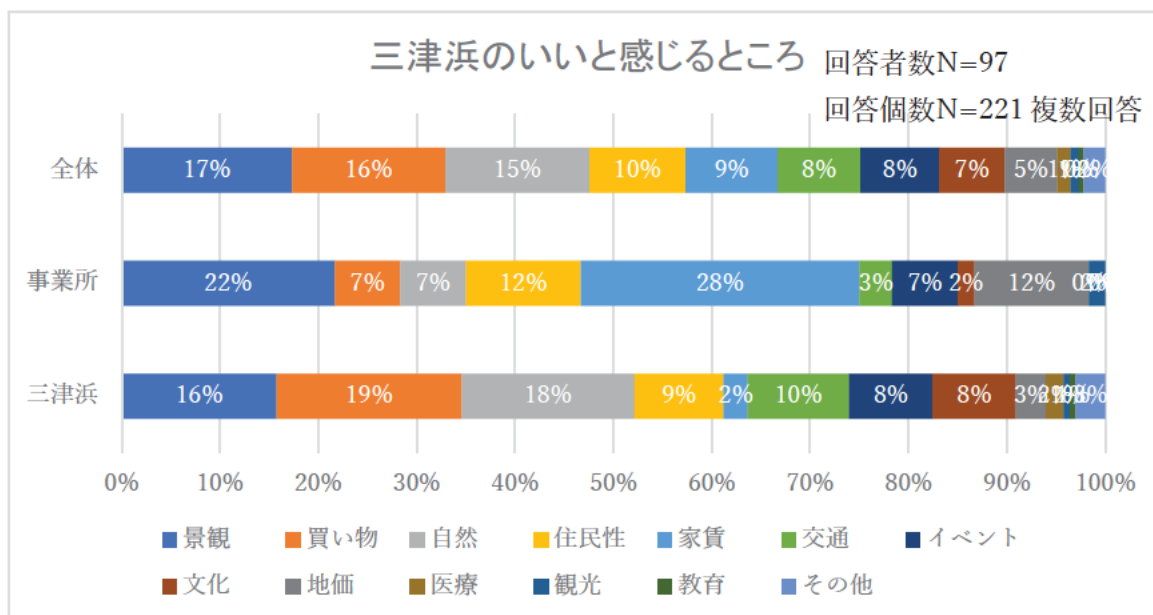
図 40 三津浜の空き家対策についてどこで知ったか



①②三津浜の良いと感じるところは何か【特にあてはまるもの最大3つ】

図 41 では、全体では「景観がいい」が17%でもっとも多くなっており、多い順に「買い物の利便性」が16%、「自然が豊か」が15%、「住民性」が10%、「家賃が安い」が9%と続く結果になっている。また、事業所アンケートでは、三津浜のアンケートでは回答数が少ない「家賃の安さ」「地価の安さ」の回答が多くなっている。

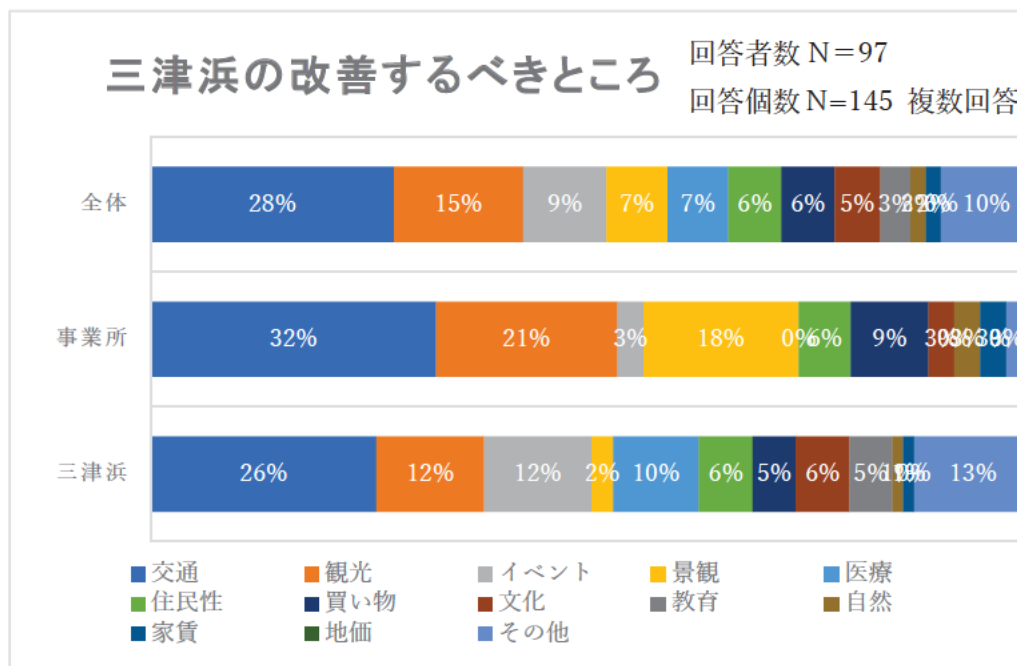
図 41 三津浜の良いところ



①②三津浜の改善すべきところは何だと思うか【特にあてはまるもの最大3つ】

図 42 では、全体としては「交通の利便性」が 28%と最も多く、その他多い順に「観光」が 15%、「イベント」が 9%、「景観」「医療」が 7%に続く形になっている。事業所アンケートでは三津浜アンケートで 12%の「観光」が 21%、2%の「景観」が 18%で回答数が多くなっており、三津浜のアンケートでは、事業所で 3%の「イベント」が 12%と多くなっている。

図 42 三津浜の改善すべきところ

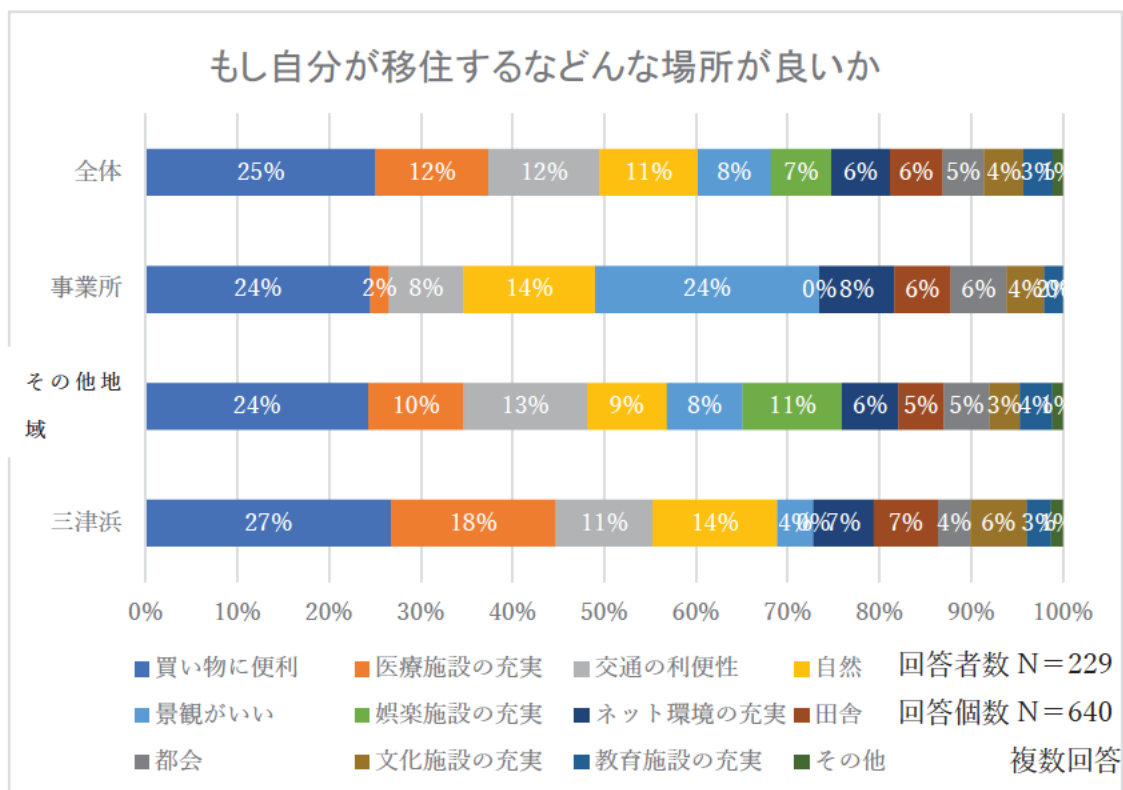


①②③「もし移住するならどのような場所が良いか」【特にあてはまるもの最大3つ】

図 43 では、全体で見ると、回答数が多い順に、「買い物に便利」25%で最も多く、「医療の充実」12%、「交通の利便性」12%、「自然」11%、となっていることがわかる。特に「買い物に便利」については、すべてのアンケートにおいて 24%以上ともっとも回答数が多い。

更に、三津浜とその他地域を比較して、三津浜は「医療の充実」が 18%と多くなっており、その他地域では「娯楽施設の充実」が 11%となっている。事業所とその他地域、三津浜の住民を比較すると、事業所アンケートでは「景観がいい」が 24%と多くなっている。

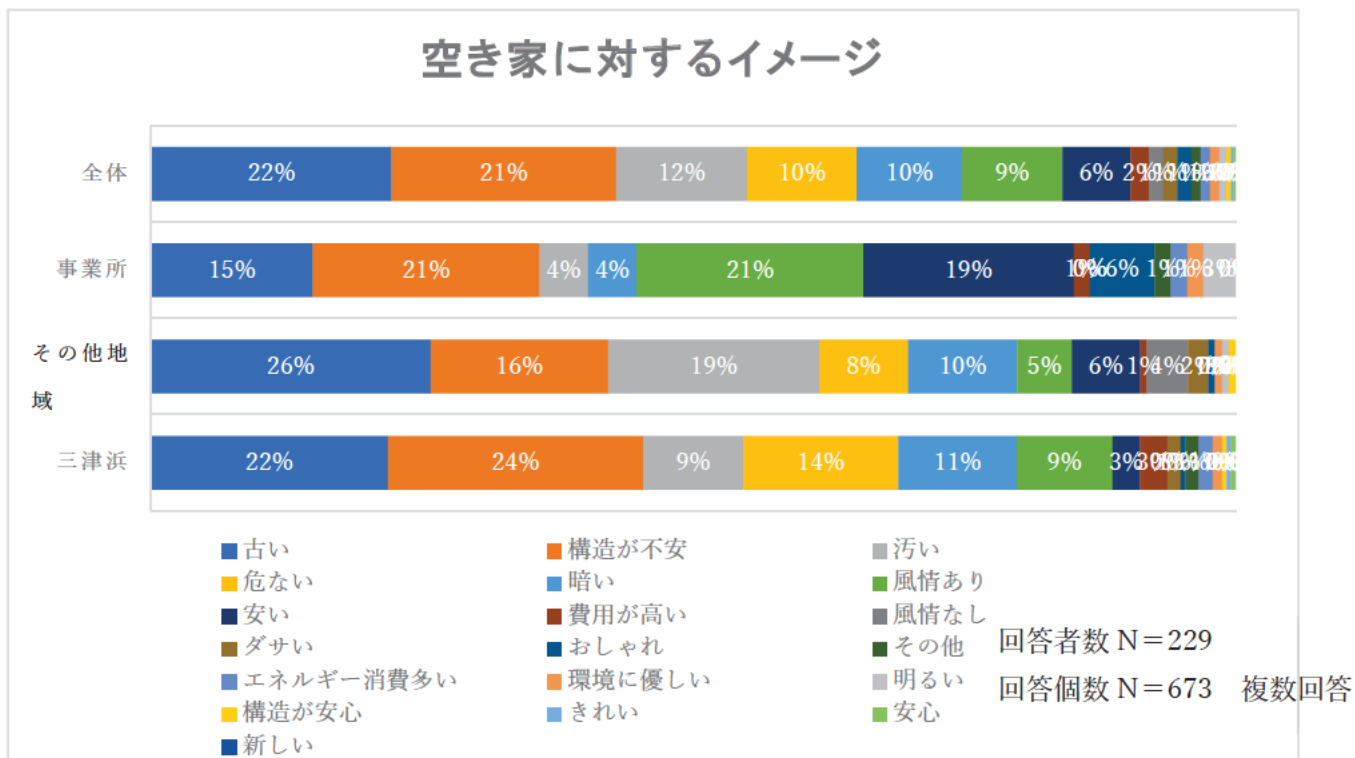
図 43 もし移住するならどのような場所が良いか



「①②③空き家に対してどのようなイメージを持っているか」【特にあてはまるもの最大 3 つ】

図 44 では、全体を見ると、回答数が多い順に「古い」が 22%、「構造が不安」が 21%、「汚い」が 12%、「危ない」が 10%、「暗い」が 10%と続いている。だが、事業所アンケートでは、「風情がある」が 21%、「家賃が安い」が 19%と他のアンケートに比べて多い結果になっている。また、三津浜アンケートではその他地域に比べて「構造的に不安」が 24%、「危ない」が 14%で、具体的なイメージの回答が多くなっている。

図 44 空き家に対するイメージ



①②③「地域の空き家を今後どうしていくべきだと思うか」【特にあてはまるもの最大3つ】
 全体の結果としては「交流施設や、福祉・宿泊・商業などにする」が29%で最も多く、「空き家の情報を発信していく」が25%、「空き家を壊し住宅や広場、駐車場にする」が21%、「売買や賃貸化などにより住宅としてそのまま活用する」が17%、「空き家のまま所有者による適切な管理を促す」は6%と低くなっている。全体的に「その他地域」と「三津浜」ではアンケート結果にさほど差はないことがわかる。

第 3 章 考察

以下では、アンケートの質問及びグラフを指定する際、○の中にアンケートの種類番号を示し、その右に質問文を記載する

例：①（１１）「三津浜は開業に適した場所であると思うか」

3-1 三津浜の実態への考察

三津浜の実態への考察

以下では、調査結果により考察した三津浜の実態についてである。

まず事業者について考察を述べる。

①（１１）「三津浜は開業に適した場所であると思うか」と①（１５）「三津浜の良いと感じる点」の双方の質問において、
実際に松山市の令和 3 年度における公示価格の地価平均と三津浜地区の地価平均を調べたところ（土地代データより）松山市が 12 万 8018 円／㎡で、三津浜が 7 万 4500 円／㎡であり、三津浜地区は松山市平均よりも約 5 万円地価価格が安いことがわかる。

また、①（９）「店舗の外装・内装工事はどのようにして行ったか」の質問において、

①（１７）「今の物件をどのようにして知ったか」の質問においては、

①（１２）「開業先を探している人に三津浜をおすすめできるか」の質問において、

なっており、また、①（３）「三津浜に現在住んでいるか」の質問において、

再び①（１１）「三津浜は開業するのに適した場所であると思うか」の質問において、

要因の 1 つ

であると考えられる。①(14)三津浜での開業で苦労したこと・大変だったことの内訳において、「人通りが少ない」を選択した事業者が[]に達していたが、今回連絡を取った事業者[]件の内、[]があると考えられる。[]件の事業者の方にヒアリング調査を行い、三津浜の人々との関わりについて調査したところ、[]ことが伺える。

ここまでをまとめると、三津浜の事業者は、[]

[]ことがわかる。

次に三津浜の空き家対策を、他県の事例と比較し、考察する。
他県の事例は、2件であり以下のとおりである。

【奈良県橿原市今井町 事例】

奈良県橿原市今井町は、現代においても、江戸時代からの町家が数多く残され、歴史的な町並みを形成しており、1993年には一部の街並みが、「重要伝統的建造物群保存地区」に選定される。しかし、2004年の調査によると、老朽化し空き家となっている建築物や放置された空き地が100件以上存在し、町の活性化をさまたげ、景観が失う原因となっていた。また、江戸時代前期には、4400人の人口があったが、現在は、1300人あまりとなり、活性化されないことはもとより、コミュニティを維持することができず崩壊するのではないかとということが、懸念視されている。このような現状認識の中、2005年9月22日に、今井町町並み保存住民審議会の呼びかけがきっかけとなり、「空き家や空き地の利活性化」とい

ったテーマを主な取り組みとする特定非営利活動法人「今井まちなみ再生ネットワーク」が立ち上げられる。

活動内容として「今井まちあるき」があり、今井町に存在する空き家・空き地の所有者より、町家についての情報を回収し、バンクに登録してもらい、町家（空き家）を買いたいと希望する人にも、バンクに登録を促して「今井まちあるき（空き家を紹介しながら町歩きをする）」に参加してもらい、希望者が空き家の状態や現状を視察する機会を創出し、なかなか流通に適する物件ではない空き家の契約、家賃や物件の修理修繕に関することなどに、所有者と希望者の間に調整役として、NPOが入り、「橋渡し（マッチング）」交渉していくというものである。そこでは、行政や金融機関などとも協働し、彼らの強みを活かして、土地価格や助成金の目安を視察の場で希望者に伝えることにより、希望者が購入・借上げの決断をしやすい環境を作っている。こうした活動によって、10年間で62軒の契約（分譲、賃貸）に至る実績を挙げている。加えて、イベントとして「今井まるごと昔体験」を運営開催し、現代生活では体験することがむずかしい「伝統的な暮らし方や伝統文化体験」を、伝建地区内に点在する重要文化財、伝統的町家を教室として、子どもたちが、実際に、自ら楽しみ、見て、体験するプログラムを実施し、イベントを通じて、伝統文化の底流にある精神性を養い、歴史的、また伝統的な文化を継承していくことの大切さを学べるものという趣旨の下行われている。

【長野県門前町 空き家事例】

長野県にある善光寺周辺の「門前町」と呼ばれるエリアでは、かつて寺院を中心にして商店や問屋といった店が軒を連ね、伝統的な日本建築の家が街並みを形成し、発展し栄えていたが、鉄道の建設などにより人々が街の外へと流出しはじめ、昭和30年代には約1.7万人だった人口が、2010年には約6600人にまで減少する。そのような中、2009年に地元の編集チームや商店街青年部が「みんなで楽しみながら暮らすことが、街に活気をもたらすのではないか」という思いから「長野・門前暮らしのすすめ」というプロジェクトを開始し、同時期に空き家をリノベーションする会社である「株式会社MY ROOM」が設立され、両者が共同で空き家事業を行うことになる。

「空き家見学会」は、地域の魅力的な空き家をピックアップしその情報を集積して見学会を行うもので、空き家に興味を持った人がいた場合、まず建物を診断し、店舗であれば事業計画と一緒に練って予算を組んだ上で大家へ説明。工事も引き受け、引渡し後の管理も担当し、家賃交渉制→大家と借主が合意的な金額になるように仲介することで、マッチングを成立させやすい仕組みを作っている。また、所有者と希望者との一連の流れに関わり、全般を管理することで、仲介マージンといった収入面だけではなく、貸し主や借り主との信頼関係も構築しやすいメリットを得られる。また、まちの空き家のリノベーションを主導し、これまで空き家を店舗や事務所に改修したのが80軒で、門前町に空き家が多かった頃に事務所が

設立され、事務所が設立されると働く人が立ち寄る飲食店や雑貨店などができ、彼らの住居もでき、店舗が増えると観光客が増えて次に今度は宿ができて・・・と、まちが次第に肉付けされていくように変化していった。また、子どもたちへ演劇の指導や演劇会を開催するワークショップや地元住民が町の近くにある山林でキャンプや登山などを行い、交流を深める「門前山カフェ」などを運営し、空き家業務にとどまらず、暮らしや教育、住民交流といった地域のさまざまな手配を、利用料をもらって請け負い、まちを面白く、便利に管理・運営していくビジネスを展開している。

先ほど挙げた、三津浜と同じく、空き家対策を講じている、奈良県橿原市今井町と長野県門前町空き家事例を比較したところ次の3点の共通点が見えてきた。

①主体的な取り組みを行う民間団体の出現

人口減少に伴う課題を改善し、まちの活性化や暮らしやすいまちづくりを目標とする民間団体が出現したことにより、まちベースでの活動がスタートするきっかけが誕生している。

②空き家をまちの「財」として認識

空き家の放置は、地域景観の悪化や悪臭の発生、老朽化による倒壊の危険性、犯罪や非行の温床になるといった、地域に悪影響を招く恐れがあり対応が求められるが、空き家を壊して新しい建物や設備を建設するのではなく、空き家をまちの「財」として認識し、地域活性化の要素となる可能性を見出し、自分達の手で付加価値を創出するべく活動している。

③空き家の所有者と利用希望者をつなぐ仲介役の存在

各地域には空き家の所有者と利用希望者をマッチングさせる民間団体が存在しており、彼らが関係を所有者と利用希望者の関係をつなぐパイプ役になることで、双方の貸し売りや借り買いのやり取りを新たに創出している。

各地域では、それぞれの地理的状況は異なっているが、①主体的な取り組みを行う民間団体の出現、②空き家をまちの「財」として認識、③空き家の所有者と利用希望者をつなぐ仲介役の存在という3つの共通点があり、この3点が機能することで、地域の空き家が地域を復興する源となり、新規利用者獲得という実績を挙げ、「まち」単位から空き家対策を始める上で重要な要素となったのではないかと考えられる。

次に三津浜に住んでいる人々について考察する。

②(4)「三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っていますか」の質問より、三津浜の空き家対策について「知っている・聞いたことがある」と答えた人の割合が、8割を超えていると分かり、年齢別に見てもおおよそどの世代でも同じく半数の割合を占めている。空き家対策についての情報が地域全体に広がっていると分かる。②(5)「空き家対策をどのようにして知りましたか/聞きましたか」の質問において、「実際に見たことがある」と答えた人が他地域のアンケートより多く存在しており、三津浜で行われている空き家対策を三津浜の多くの人が認識している理由であると考えられる。②(12)「空き家に対するイメージ」

の質問に対する回答より、三津浜の人々は、他地域の人々とは異なるが、「構造的に不安」「危ない」というような、空き家を具体的なイメージで捉えている人の割合が高く、空き家が身近にあるためと考えられるが、マイナスイメージが先行しているため、三津浜の空き家対策は、地域内での認知度はあるものの、人々の空き家イメージをポジティブなものにできていないと考えられ、空き家対策の課題といえる。

3-2 松山市の空き家対策課題と提言

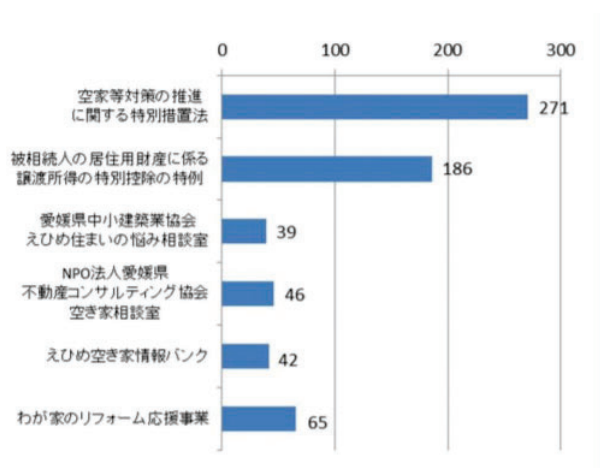
アンケート調査の結果より、松山市における空き家対策の課題が見えてきた。

「空き家の2次利用を推進する対策の発信力」

「空き家へのイメージ」である。

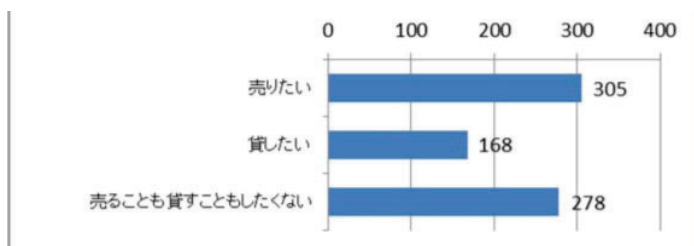
「空き家の2次利用を推進する対策発信力」については、空き家を壊さずに次の利用者へ売却・賃貸を行ったり、別の用途として利用する「2次利用」での空き家対策を行っている三津浜の空き家対策の認知度が、三津浜において対象者の8割だったのに対し、その他の地域では約7割もの対象者が「知らない」と回答しており、三津浜の人々とそれ以外の地域では大きな差があり、「三津浜の空き家対策」が松山市全体へと認知されていないことが分かる。加えて、松山市が1429人の空き家保有者に対して行った空き家調査において、「空き家関連の法律や認知」についての質問では、愛媛県が主体となって運営し、県内の空き家の情報を集積している「えひめ空き家情報バンク」がそのうち42件であり、松山市の空き家所有者へも空き家の2次利用を推進する対策が認知されておらず、情報発信が上手くいっていないことがわかる。(図45)

図45 空き家関連の法律・制度の認知 出所：松山市空家対策等計画



また、同様の調査において、所有者として空き家の貸し売りをどう考えているかの質問にて、「売りたい」が305件「貸したい」が168件となっており、所有者の多くは所有している空き家の2次利用を望んでいる。(図46)

図 46 建物の利活用について



出所：松山市空家対策等計画

また、我々が行ったアンケートで、③「地域の空き家を今後どうするべきか」の質問において、その他地域の対象者の計7割が「交流施設や、福祉・宿泊・商業などにする」「空き家の情報を発信していく」と回答しており、所有者利活用と総じて考えると、2次活用を推進する対策は松山市の人々に受け入れやすいと考えられ、2次活用を推進していく対策の認知度が低いことは、地域の空き家が市場に出回らず、有効活用される機会が減少し、結果的に空き家の放置へとつながってしまう恐れがあるので、空き家の2次利用を推進する対策を情報発信し、市内全体へと認知させていく必要があるだろう。

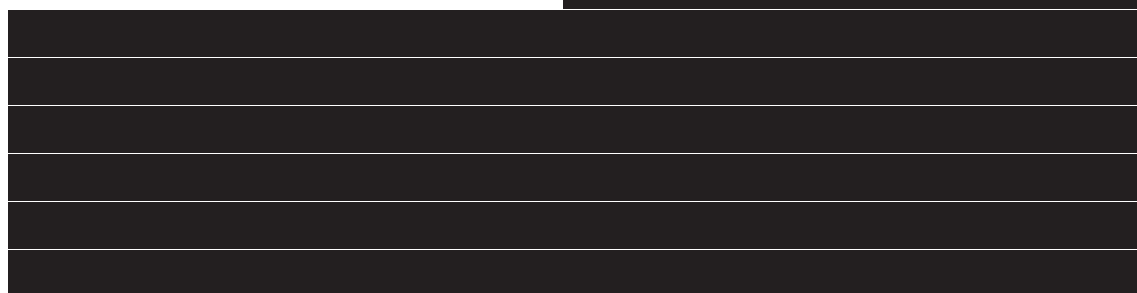
「空き家のイメージ」については、①②③「空き家に対してどのようなイメージを持っているか」において、空き家に対しては、三津浜に住んでいる人々とその他地域に住んでいる人々双方の間で、「古い」や「構造的に不安」、「汚い」、「危ない」といったネガティブなイメージが先行しており、「費用が安い」、「風情がある」、「おしゃれ」といったポジティブなイメージの割合は極端に低くなっており、ネガティブイメージが先行していることにより、空き家への興味や関心が持ちづらくなり、空き家が市場に出回っていたとしても、新たな空き家利用希望者を創出しづらい要因の一部となる可能性が考えられる。そのため、三津浜で行われているDIYワークショップや空き家見学会、実際に空き家を利用して事業をしている方々との交流会などの空き家のイメージを向上させるイベントを積極的に開催し、人々へ空き家の「良さ」を直接アピールすることが必要だと考える。

松山市の「松山市空家等対策計画」における空き家の利活用の推進に向けての具体的な施策について松山市は、令和2年度に不動産等関係団体と協定を締結するなど、民間の専門性を生かし、官民協働で取り組んでいるほか、空き家の所有者から相続や売買、解体等の相談に応じるワンストップ窓口の設置や、空き家の流通促進による有効活用を図るため、全国版空き家バンクに参加し、空き家を利用したい人と所有者をマッチングさせるなど、新たな空き家対策に取り組んでいる。これらの施策は、市内を広域的に所有者と利用希望者をつなぎ、仲介を行いやすいという強みがあるが、三津浜の町家バンクといった「地域」に根差した仲介団体は、地元関係者の紹介や地区の情報提供、その地域ならではの空き家の紹介など、地域振興の観点から地元との関わりを重視しているため、所有者と利用希望者をつなぎ、空き家という地域の「財」を活かすことで地域を活性化させていくことに期待ができ、この点は、市内を広域的に所有者と利用希望者をつなぎ、仲介する施策からは得られない「ミクロ」

な利点であると考え。加えて、三津浜の空き家対策や仲介団体の原点には、「主体的な取り組みを行う民間団体の出現」が存在し、彼らの出現により、人口減少に伴う課題を改善し、まちの活性化や暮らしやすいまちづくりを目標とするまちベースでの活動がスタートするきっかけが誕生している。よって、地域に根差した空き家対策による利点を生み出すためには、まちベースでの活動がスタートするきっかけとなる民間団体を発生させる仕組みづくりが必要であると考え。

第 4 章 結論

三津浜の実態として、三津浜の事業者は、



と考えられる。また、今井町、門前町との事例比較により、業績を挙げた地域には、①主体的な取り組みを行う民間団体の出現、②空き家をまちの「財」として認識、③空き家の所有者と利用希望者をつなぐ仲介役の存在という共通点が導き出され、この3点が機能することで、地域の空き家が地域を復興する源となり、「まち」単位から空き家対策を始める上で重要な要素となったのではないかと考えられ、この3点に並んで、三津浜地域自体が事業者の受容媒体となったことが、三津浜に空き家を利用する事業者や移住者を呼び込むことによって実績を挙げることができたのではないかと考える。

しかし、三津浜に住んでいる人々は、おおよその人々が、三津浜が空き家対策に力を入れているのを知っていたが、空き家に対するイメージでは、「構造的に不安」や「危険」というマイナスイメージが先行しているため、三津浜の空き家対策は、地域内での認知度はあるものの、人々の空き家イメージをポジティブなものにできていないと考えられ、現在の三津浜の空き家対策の課題ひとつといえる。

松山市の空き家対策に関する課題と提言では、「空き家の2次利用を推進する対策の発信力」「空き家へのイメージ」という2点が挙げられ、松山市の空き家所有者へも空き家の2次利用を推進する対策が認知されておらず、情報発信が上手くいっていないことや空き家に対して「古い」や「構造的に不安」、「汚い」、「危ない」といったネガティブなイメージが先行していることが明らかとなり、空き家の2次利用を推進する対策を情報発信し、市内全体へと認知させていく対策や空き家のイメージを向上させるイベントを積極的に開催し、人々へ空き家の「良さ」を直接アピールする対策が必要であると考え。松山市としても、市内を広域的に所有者と利用希望者をつなぎ、仲介を行いやすい施策を行っているが、三津

浜の町家バンクといった「地域」に根差した仲介団体は、地域振興の観点から地元との関わりを重視しているため、所有者と利用希望者をつなぎ、空き家という地域の「財」を活かすことで地域を活性化させていくことに期待ができ、この点は、市内を広域的に所有者と利用希望者をつなぎ、仲介する施策からは得られない「マイクロ」な利点であると考え。加えて、三津浜の空き家対策や仲介団体の原点には、「主体的な取り組みを行う民間団体の出現」が存在し、きっかけとなる民間団体を発生させる仕組みづくりを行うことにより、人口減少に伴う課題を改善し、まちの活性化や暮らしやすいまちづくりを目標とするまちベースでの活動がスタートすることにつながり、松山市全域へと三津浜のようなムーブメントを起こせるのではないかと考える。そして、未曾有の人口縮退局面において、自治体では義務的経費が自主財源を上回っており、まちに対して新たな投資をすることが難しい状況の中、空き家による活性化を行うことにより、まちがまちへと投資し、地域が豊かになることにつながるのではないだろうか。

参考文献

- ・松山市空家対策等計画（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

https://www.city.matsuyama.ehime.jp/hodo/201803/akiyakeikakuhoudou.files/akiyakeikaku_main.pdf

- ・三津浜地区まちづくり協議会 事業計画書（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.files/mituhamakeikaku.pdf>

- ・三津浜地区活性化計画（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/mitsukasseika/keikaku.files/keikaku.pdf>

- ・暮らしとまちの再生 曲田清維（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jhej/68/10/68_554/_pdf/-char/ja

- ・土地代データ（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

<https://tochidai.info/ehime/matsuyama/>

- ・リリノ 門前町特集（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

<https://re-re-re-renovation.jp/projects/917>

- ・ナガラボ 門前町特集（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

https://nagano-citypromotion.com/nagalab/special10_01/

- ・特定非営利活動法人今井まちなみ再生ネットワーク（最終閲覧日 2021 年 8 月 8 日）

<http://imaisaiseinet.web.fc2.com/index.html>

付属資料 アンケート調査票

『三津浜地区での開業に関するアンケート』

私達は愛媛大学社会共創学部産業マネジメント学科に所属しているものです。

現在、私達は、「空き家を活かして街への呼び込みや新規開業者を獲得した三津浜の活動を多角的に分析し、松山市の空き家問題解決に向けて活かせるような案を立案すること」を目的とした調査を行っています。このアンケートは、新規開業者の方々が三津浜を選んだ理由を明らかにし、その方々の視点からの三津浜に対する認識を調査・分析するために実施するものです。調査結果データは、個人のプライバシー保護に十分に配慮し、研究目的以外には一切使用いたしません。

大変お手数をおかけしますが、ご協力お願いいたします。

選択式の問題は、当てはまるものにマルをつけてください。

(1)あなたの性別をお答えください。

男性 ・ 女性 ・ その他

(2)あなたの年齢（何歳代）をお答えください。

10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代 ・
それ以上

(3)あなたの現在、同居している家族構成をお答えください。

例：大人〇〇人、子供〇〇人

(ここでは子供は今年18歳予定以下までとし、それ以上は大人とします。大人には自分も含まれます。)

大人_____人、子供_____人

もし、現在は同居していないものの、お子様がいらっしゃる方も下記にお答えください。

子供_____人

(4)あなたは現在、三津浜地区に住んでいますか？

はい ・ いいえ

(5)あなたの出身地域をお答えください。

※移住された方は、直近に在住していた地域をお答えください。

三津浜地区 ・ 三津浜地区以外の松山市内 ・ 松山市以外の愛媛県内 ・
愛媛県以外の四国地方 ・ 北海道 ・ 東北地方 ・ 関東地方 ・ 中部地方 ・ 近畿地
方 ・ 中国地方 ・ 九州地方 ・ 国外

(6)あなたの前職をお答えください。

※転職された方は、直近の職業をお答えください。

事務・管理系 ・ 企画系 ・ 営業系 ・ 技術・研究系 ・ 販売・サービス系 ・ 専門系 ・
金融系 ・ クリエイティブ系 ・ IT系 ・ 医療・福祉系 ・ 専業主婦(夫) ・ 無職 ・
学生 ・ その他

(6)あなたが三津浜で開業された年を西暦でお答えください。

_____年

(7)あなたが開業された店舗の形態をお答えください。

賃貸 ・ 購入

(8)あなたが三津浜で開業したきっかけをお答えください。(複数回答可)

出身地域であるため ・ 知人の紹介 ・ 街の景観が気に入ったため ・ 空き家バンクの存
在を知ったため ・ 家賃が安い ・ 地価が安い ・ 物件の景観・内装が気に入
ったため ・ 物件がリノベーションで初期費用が安い ・ その他

(9)店舗の外装・内装工事はどのように行いましたか？

自分達で行った ・ 専門的な業者に委託した ・ 専門的な業者への委託と自分達の両方
で行った ・ 外装・内装工事は行っていない ・ その他

(10)あなたは、三津浜は開業するのに適した場所だと思いますか？

とても思う ・ まあ思う ・ あまり思わない ・ 全く思わない

(11)

(10)で「とても思う・まあ思う」と答えられた方はその理由をお答えください。(複数回答可)

事業へのサポートが充実しているため ・ 新事業へチャレンジしやすいため ・
住民が事業に寛容であるため ・ 地価が安い ・ 家賃が安い ・ その他

(10)で「あまり思わない・全く思わない」と答えられた方はその理由をお答えください。(複数回

答可)

事業へのサポートが充実していないため ・ 新事業へチャレンジしにくいいため ・
住民が事業に寛容的でないため ・ 地価が高いため ・ 家賃が高いため ・ その他

(12)

開業先を探している人に三津浜をおすすめできますか？

とてもおすすめできる ・ まあおすすめできる ・ あまりおすすめできない ・ 全くおすすめ
できない

上記を選んだ理由をお答えください。(自由回答)

(13)三津浜での開業で苦労したこと・大変だったことをお答えください。(自由回答)

(14)三津浜の良いと感じる点をお答えください。(最大3つまで)

伝統的な景観 ・ 文化・慣習 ・ イベント ・ 観光 ・ 教育 ・ 医療 ・ 自然の豊かさ ・
住民性 ・ 交通機関 ・ 買い物の利便さ ・ 地価が安い ・ 家賃が安い ・ その他

(15)三津浜の改善すべきだと思う点をお答えください。(最大3つまで)

景観 ・ 文化・慣習 ・ イベント ・ 観光 ・ 教育 ・ 医療 ・ 自然 ・ 住民性 ・ 交通機
関 ・ 買い物の利便さ ・ 地価 ・ 家賃価格 ・ その他

(16)今の物件をどのようにして知りましたか？(複数回答可)

三津浜の人や関係者からの紹介 ・ 三津浜の人や関係者でない人からの紹介 ・ SNS ・
行政関係 ・ ミツハマルのようなインターネットサイト ・ その他

(17)空き家に対してどのようなイメージを持っていますか？特に当てはまるものを3つお答え
ください。

古い ・ 新しい ・ 汚い ・ 綺麗 ・ 構造的に不安 ・ 構造的に安心 ・ 暗い ・ 明る
い ・ 危ない ・ 安心 ・ ダサい ・ おしゃれ ・ 風情がある ・ 風情がない ・ 環境に優
しい ・ エネルギー消費が大きい ・ 費用が高い ・ 費用が安い ・ その他

(18)もし移住するなら以下のどのような点を重視しますか？特に当てはまるものを最大3つ
までお答えください。

自然が豊か ・ 田舎 ・ 都会 ・ 教育の充実 ・ 医療の充実 ・ 文化施設の充実 ・ 景

観が良い・買い物に便利・ネット環境の充実・交通機関の充実・その他
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

②三津浜に住んでいる人々へのアンケート

【空き家意識についてのアンケート】

自分たちは愛媛大学社会共創学部 2 回生です。このアンケートはフィールド実習という授業の一環で行われているものです。回答されたアンケートのデータは授業関連以外での利用はありません。お忙しいところ恐れ入りますがご協力していただけましたら幸いです。

1. 性別

男・女

2. 年齢

10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代・90代以上

3. 出身地域はどこですか（現在の前の地域）

三津浜・松山市内・愛媛県内・愛媛県外

4. 三津浜の良いと感じることは何ですか【特に当てはまるもの最大3つ】

伝統的な景観・文化・慣習・イベント・観光・教育・医療・自然の豊かさ
住民性・交通機関・買い物の利便さ・地価が安い・家賃が安い
その他()

5. 三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っていますか

知っている・聞いたことはある・知らない

6. 知っているまたは聞いたことがある場合は、どこで知りましたか【複数回答あり】

知人の紹介・活動に参加したことがある・テレビや新聞・インターネット
SNS・その他()

7. 移住先を探している人に三津浜をおすすめしたいですか

とてもおすすめする・おすすめする・あまりおすすめしない・おすすめしない

8. 7の理由は何ですか【自由回答】

()

9. 三津浜の改善すべきところは何だと思いますか【特に当てはまるもの最大3つ】

景観・文化・慣習・イベント・観光・教育・医療・自然・住民性
交通機関・買い物の利便さ・地価・家賃価格・その他()

10. もし移住するならどのような場所が良いですか【特に当てはまるもの最大3つ】

自然が豊か・田舎・都会・教育の充実・医療の充実・文化施設の充実
景観が良い・買い物に便利・ネット環境の充実・交通機関の充実
その他()

11. 空き家に対してどのようなイメージをもっていますか【特に当てはまるもの最大3つ】

古い・新しい・汚い・きれい・構造的に不安・構造的に安心・暗い
明るい・危ない・安心・ダサい・おしゃれ・風情がある・風情がない
環境に優しい・エネルギー消費が大きい・費用が高い・費用が安い
その他()

12. 地域(三津浜に限らない)の空き家を今後どうしていくべきだと思いますか

【特に当てはまるもの最大3つ】

- ・空き家を壊し広場や駐車場にするべき
- ・交流施設や福祉、宿泊、商業といった別の用途として利用する
- ・空き家の情報を集積して新たな利用者へ情報発信する
- ・売買や賃貸化などにより住宅としてそのまま活用する
- ・空き家のまま所有者による適切な管理を促す
- ・その他()

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございます。

③その他地域に住んでいる人々へのアンケート

『空き家に対するアンケート』

私たちは愛媛大学社会共創学部の2回生です。現在、フィールド実習という授業で、空き家について調査をするにあたりアンケートを実施しています。お忙しい所恐れ入りますが、下記のアンケートにご協力いただけると幸いです。なお、ご回答いただきましたデータについては個人情報保護法に基づき授業関連以外での利用はありません。

(1)あなたの性別をお答えください。

男性 ・ 女性 ・ その他

(2)あなたの年齢(何歳代)をお答えください。

10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代 ・ それ以上

(3)あなたの最も近い出身地域をお答えください。

松山市内 ・ 愛媛県内 ・ 愛媛県外 ・ 三津浜

(4)現在の居住地をお答えください。

松山市内 ・ 愛媛県内 ・ 愛媛県外 ・ 三津浜

(5)三津浜が空き家対策に力を入れていることを知っていますか？

知っている ・ 聞いたことがある ・ 知らない

(6)(5)の質問で「知っている」もしくは「聞いたことがある」と答えた方のみお答えください。

どこでお知りになったり、お聞きになりましたか？(複数回答可)

知人の紹介 ・ 活動に参加したことがある ・ テレビや新聞 ・ インターネット ・ SNS ・ その他()

(7)もし自分が移住するなら以下のどのような点を重視しますか？特に当てはまるものを3つお答えください。

自然が豊か ・ 田舎 ・ 都会 ・ 景観がいい ・ 買い物に便利 ・ 教育の充実 ・ 医療の充実 ・ 文化施設の充実 ・ 娯楽施設の充実 ・ ネット環境の充実 ・ 交通機関の充実 ・ その他()

(8)空き家に対してどのようなイメージを持っていますか？特に当てはまるものを3つお答えください。

古い・新しい・汚い・きれい・構造的に不安・構造的に安心・暗い・明るい・

危ない・安心・ダサイ・おしゃれ・風情がある・風情がない・環境に優しい・

エネルギー消費が大きい・費用が高い・費用が安い・その他()

(9)地域の空き家を今後どうしていくべきだと思いますか？特に当てはまるものを3つお答えください。

- ・空き家を壊し、住宅や広場・駐車場にする
- ・交流施設や福祉、宿泊、商業施設といった別の用途として利用する
- ・空き家の情報を集積して新たな利用者へ情報発信する
- ・売買や賃貸化などにより住宅としてそのまま活用する
- ・空き家のまま所有者による適切な管理を促す
- ・その他()

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

実施の概要

フィールド実習(松山市中島)実施計画

～松山市と中島の活性化案を議論しよう！SDGs・スマートアイランド構想での

中島の魅力発見と発信のアイデア検討～

(担当教員： 環境デザイン学科 入江賀子・李賢映)

1. はじめに

本授業は、学部必修授業であるフィールド実習の中で、環境デザイン学科の教員(入江賀子・李賢映)が担当している授業である。コロナ感染対策として残念ながら現地調査には行けなかったため、提案の実現に向けては現地調査を行い提案内容をより深める必要はあるものの、新規アイデアを含めた有意義な提案もなされた。

以下、2. で本授業の目的と概要を、3. で授業構成と内容を説明する。また、最終発表会で学生が提案してくれた中島の活性化案に関する発表資料を4. にて添付する。

2. 本授業の目的と概要

松山市の沖合い約10kmに位置する中島は、本島人口約2,400人(令和3年4月1日時点)で、主要産業はみかんを中心とした柑橘栽培である。しかし、高齢化率が60%を超える超高齢化地域であり、農業の担い手不足をはじめ、将来の移動手段の確保、災害への備え等、様々な課題を抱えている。

松山市は、これまで島内の市有施設に太陽光発電システムやBEMS(建物のエネルギー管理を行うシステム)などを導入し、電気自動車を活用するなど、再生可能エネルギーを「創る・貯める・賢く使う」スマートシティの実証を島内で行い、温室効果ガスの削減に向けて取り組んでいる。今後、島が抱える様々な課題の解決と温室効果ガスの削減を実現する取組や施策を進め、島民が将来に渡って生活できる持続可能な島にする必要がある。

本授業では、こうした背景や取組を学び、松山市が目指すまちづくりについての理解を深めた上で、フィールド調査を通して地域の魅力等を生徒自らが再発見し、にぎわいを創出するための取組や島の魅力を伝える効果的な情報発信方法などの提案などを行うことで、自然環境やまちづくりに関する知見の取得や課題解決能力・計画立案力の向上を図る。

また、学んだ内容や提案を、松山市や地域のステークホルダーなどと議論し、地域の課題解決の一助を担うものとする。





3. 授業構成と内容

第1Q	調査テーマに関するレクチャーおよびディスカッション	松山市様によるレクチャーおよびディスカッション ・松山市より中島の現状や松山市の活性化の取り組みについてレクチャー、ディスカッション。検討したいテーマ例の説明(中島の魅力発見、SNS 等を含む魅力の発信法、中島での SDGs 活動案、中島でのスマートアイランド構想の取組み案の検討など) ・調査の進め方に関する説明
第2Q 第1回	調査計画	班ごとのテーマの検討、学生によるテーマ選択
第2Q 第2回	現地調査(コロナのため遠隔授業で代替)	インターネットなどでアイデアを考え、Zoom を使い議論
第2Q 第3回	現地調査(コロナのため遠隔授業で代替)	インターネットなどでアイデアを考え、Zoom を使い議論
第2Q 第4回	レポート作成	現地調査のレポート作成・レポートの報告
第2Q 第5回	中間発表・ディスカッション	松山市と意見交換(中間発表)
第2Q 第6回	今後の調査方針の検討	調査内容の修正・追加での検討
第2Q 第7回	発表準備	成果物(レポート+発表会資料)の作成
第2Q 第8回	成果報告会	成果発表会およびディスカッション

4. 最終 PPT (添付の通り)

* 修正事項:グループ 2「島に高等教育機関がなく」→島に松山北高分校がありますので、修正致します。

以上

中島の海の活用

1

目次

1. 中島の現状
2. 成功事例
3. 提案
4. 今後の課題

2

中島の現状

人口減少、少子高齢化



島での活動の減少



海の活用に着目し、他県の成功事例を基に中島の新たな海の活用方法の提案、改善点の考察をする

3

成功事例①

場所：千葉県館山市

地元のスポーツクラブや農家が食とスポーツをテーマとして、ビーチヨガや野菜の直売所

場所：鴨川市

ビーチセラピーと称して海岸を裸足で歩く事や、リラックス効果の高い取り組みを組み込んだ観光ツアー



海水浴シーズン以外でも海水浴場への集客を促せる！

4

〈成功要因〉

- ・市と地元の施設や協力機関の考えの一致
- ・農家やスポーツクラブのビーチ活用に対する前向きな考え

〈付随する要因〉

- ・もともと知名度の高い海岸であった事
- ・人口密集地域
- ・アクセスの良さ

5

成功事例② 日間賀島

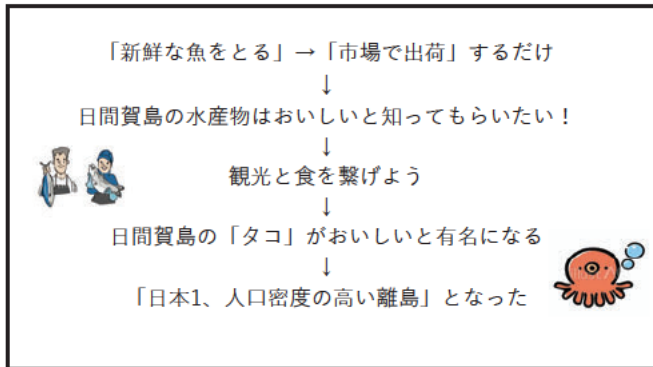
・場所：愛知県 知多郡南知多町 三河湾に浮かぶ離島

・面積：0.77km²

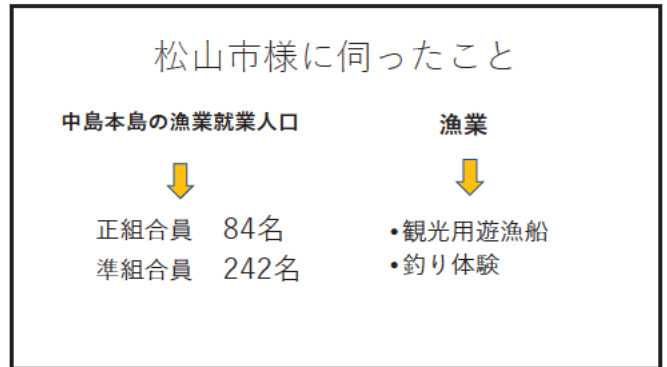
・人口：607世帯 1896人

・「タコとフグの島」という観光PR

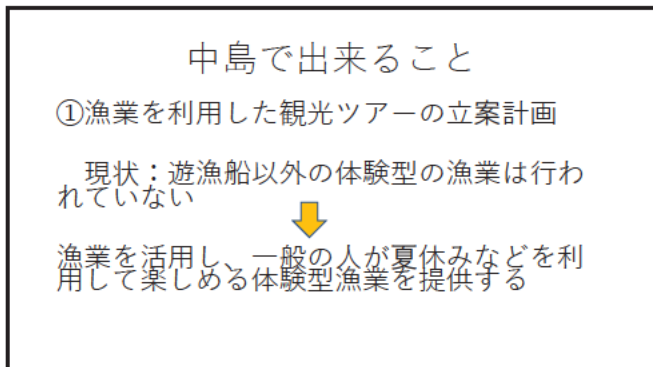
6



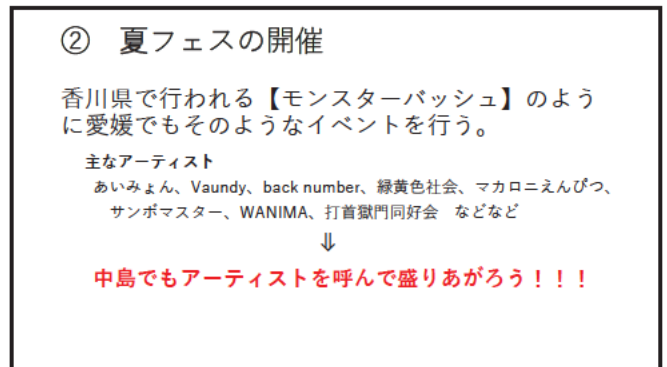
7



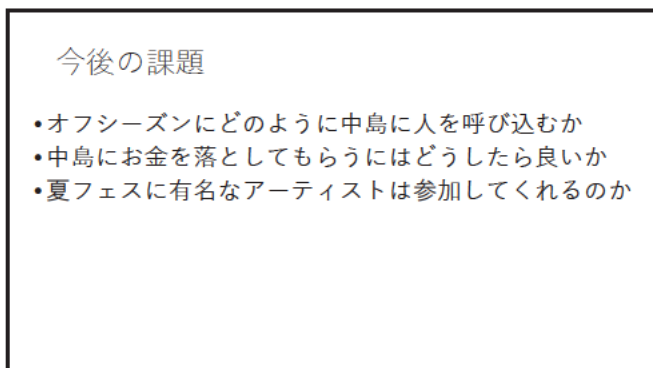
8



9



10



11

インフルエンサー起用による中島の魅力発信

フィールド基礎実習 2班



1

中島の概要

中島（なかじま）は、愛媛県松山市に属する離島。同県の北西沖合にある 忽那諸島（くつなしよとう）にある一島で、その中では最も面積の広い有人指定離島である。同島は、釣島海峡を隔てて、松山港の沖合い約10kmに位置する。みかんとトライアスロンの島として知られる。



<http://blog.noon-nakajima.com/?eid=326>



<https://www.pref.ehime.jp/chu99914/navi/shima/nakajima/index.html>

2

中島の抱える課題

空き家
問題

住民の
減少

柑橘の
PR不足

その他… 高齢化問題、イノシシの食害、廃棄柑橘

3

中島の抱える課題の背景

- 島に高等教育機関がなく、若者向けの産業が育ってないので、進学や就職を機に島外へ人口が流出する。
- フェリーのみでしか来島できない。
- 若者へのPR不足。
- 全国的な知名度が低い。
- レジャーのイメージが内外にない。

4

課題の解決策

- ・省力化農業（スマート農業）の導入
- ・柑橘類のブランド化
- ・イベントの企画
- ・ホームページの作成

インフルエンサーに拡散してもらう

若者の移住者が増える

5

提案

インフルエンサーに定住してもらい、広報活動を行ってもらおう

対象

20~30万人ほどのフォロワーをもつローカルインフルエンサー

補助

- ・宿泊所の提供
→ 中島では空き家問題視されているため、空き家を利用
- ・給料の支給（税金から負担するため、難しい）

6

主な活動内容

①商品紹介



SNSを用いて、中島の特産品の商品紹介を行ってもらう
⇒中島の魅力を知ってもらう

↑中島が松山市内の主産地となっているカマンダリン
(<https://nushifarm.com/items/5ba0addc5f78664acf00138a>)

②イベント告知・出演



中島で開催されるイベントについてSNSでの告知や出演をしてもらう

↑SPLASH BEACH THE NAKAJIMA (海上アスレチック)の様子
(<https://www.zitoumaguri.com/event/38443.php>)

③島での日常生活配信



中島での暮らしをSNSで発信
⇒島の雰囲気・日常を知ってもらう

↑愛媛の中島みかん(くつな農園)の様子
(<https://homa.tsukui.jp/storeDetail.php?scd=0000060591>)

7

提案のメリットとデメリット

<メリット>

- コアな情報を発信できる
- 地域の人に愛されている
- グルメ・観光業に特に影響力が強い

<デメリット>

- 情報が伝達できる世代が偏る可能性がある

8

成功事例（1）

和歌山県×本谷沙己さん

本谷沙己さん：
モデルとして活躍しつつ、和歌山県公式Instagramイメージガール、和歌山市観光発信人などとして、和歌山の魅力を伝えるために活動中

(具体的な活動内容)

- イベントへの参加
- テレビ番組の出演
- SNSでの発信

など

9

成功事例（2）

北海道×アンジェラ佐藤(砂糖)さん

アンジェラ佐藤(砂糖)さん：
北海道を中心に大食いタレント兼youtuberとして活動しつつ、北海道産牛肉応援PR大使として、北海道の魅力を発信するべく活動中

(具体的な活動内容)

- SNSでの情報発信
- テレビ番組への出演
- 各種イベントへの参加・出演

など

10

インフルエンサーの具体例

- ゆりママん プロガー兼Instagramer
- みそ Youtuber
- 黒澤みお Tik Toker

既に地域PRで活用しているインフルエンサー

- 和牛 芸人
- 友近 芸人



11

解決策の考察

- 解決方法が実現可能であるのか疑問であること。
(有名インフルエンサーは都会に住んでいることが多いため)
- 予算の都合上新規事業に予算が割けるのか疑問。
- 実現できた際に中島の広報活動が非常にやりやすい。
- 中島の移住者が増える可能性有

12

まとめ

移住・観光促進のため、中島での生活の魅力や中島の魅力を発信



観光客・移住者の増加が見込まれる



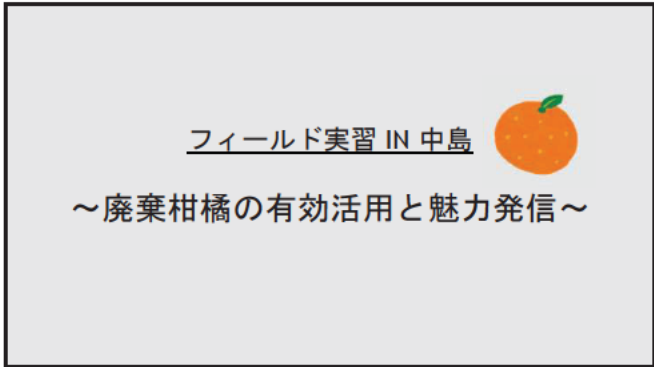
中島のさらなる活性化につながる！！

13

参考文献

- 和歌山市観光発信人のご紹介～和歌山市観光協会～
(https://www.wakayamakanko.com/hasshin_nin/%e6%9c%ac%e8%b0%b7%e3%80%80%e7%b4%97%e8%b7%b1/)
- 地方に特化したローカルインフルエンサーとは？メリットと活用事例7選 (https://collatech.co.jp/itm-lab/influencer_case/5581)
- Be brade grope タレント紹介ページ アンジェラ砂糖 (佐藤) アンジェラ佐藤 / アンジェラさとう | Be.Brave Group / ビー・ブレイブグループ (bebrave.co.jp)
- しまの魅力 中島 愛媛・中予の観光情報サイト「ちゅうよ観光ナビ」 愛媛県庁 / しまの魅力 中島 愛媛・中予の観光情報サイト「ちゅうよ観光ナビ」 (pref.ehime.jp)

14



1



2

愛媛県松山市中島

概要

- 人口は2,938人、世帯数は1,520戸 (2015年7月1日現在)
- 高浜港よりフェリーでおよそ1時間
- キャンプや宿泊が可能な「ほしふるテラス岬ヶ浜」が存在
- 主要産業は「柑橘農業」

決めた!

比較的松山市の中心部からアクセスのよい離島で柑橘栽培が盛んな忽那諸島の中心地

3



4

中島の柑橘農業について

- **主な品種**
・温州みかん、ポンかん、どんな・せと、レモン
- **特徴**
・温暖と潮風、の斜面地を活かした栽培は、甘く、皮が厚い高品質な柑橘栽培
・瀬戸内、有の気候気候
⇒ 質の高い柑橘の栽培が可能
- **課題**
・後継者不足による耕作放棄地の増加
・高齢化
・柑橘産量の減少

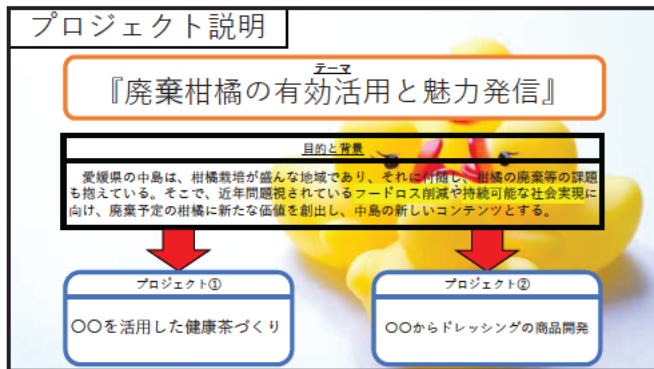
大学生の強みを活かした解決策を!

発信力 話題性 活力

5



6



7



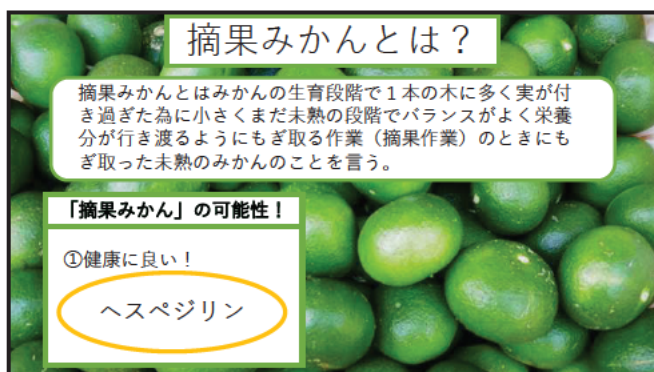
8

それは・・・

9



10



11



12

摘果みかんとは？

摘果みかんとはみかんの生育段階で1本の木に多く実が付き過ぎた為に小さくまだ未熟の段階でバランスがよく栄養分が行き渡るようにもぎ取る作業（摘果作業）のときにもぎ取った未熟のみかんのことを言う。

「摘果みかん」の可能性！

- ①健康に良い！
- ②通常は捨ててしまう！
- ③大量に収穫可能！

低コストで健康志向の商品開発が可能

13

プロジェクト概要

『廃棄柑橘の有効活用と魅力発信』

目的と意義

愛媛県の中島は、柑橘栽培が盛んな地域であり、それに行随し、柑橘の廃棄等の課題も抱えている。そこで、近年問題視されているフードロス削減や持続可能な社会実現に向け、廃棄予定の柑橘に新たな価値を創出し、中島の新しいコンテンツとする。

プロジェクト①
「摘果みかん」を活用した健康茶づくり

プロジェクト②
「摘果みかん」からドレッシングの商品開発

14

プロジェクト① 「摘果みかん」を活用した健康茶づくり

摘果みかん 75% × 三番茶 25% = 健康茶

●中島での今後の展望

- ①お茶農家と柑橘農家のコラボレーション⇒設備や生産量を知り実現可能が検討する必要あり
- ②設備投資方法の検討⇒補助金？クラウドファンディング？
- ③健康面のPR⇒機能性食品需要上昇

15

プロジェクト② 「摘果みかん」からドレッシングの商品開発

摘果みかん × ? = 摘果みかんドレッシング

レシピがわからない・・・

●中島での今後の展望

- ①レシピ研究の際コラボレーション⇒松山東豊短期大学のののベジガール・済美高校 等との協働

16

プロジェクト② 「摘果みかん」からドレッシングの商品開発

摘果みかん × ? = 摘果みかんドレッシング

レシピがわからない・・・

●中島での今後の展望

- ①レシピ研究の際コラボレーション⇒松山東豊短期大学のののベジガール・済美高校 等との協働
- ②設備投資方法の検討⇒補助金？クラウドファンディング？
- ③健康面のPR⇒機能性食品需要上昇

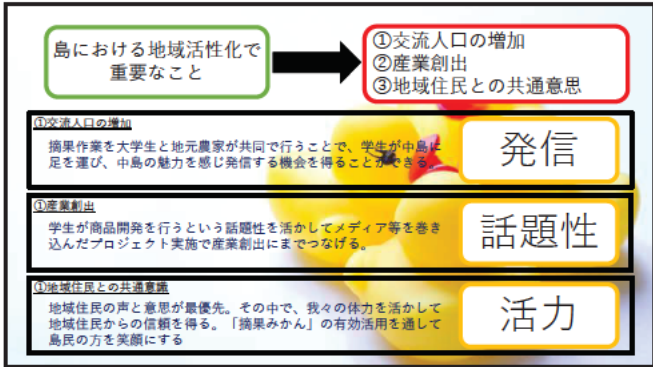
17



18



19



20



21



22

耕作放棄地の利用


フィールド実習 4班


1

特に夏に観光客が多く来島

しかし

働く場所も少なく、人口減少
→ 若者が島を出る → 少子高齢化が進行





耕作放棄地も増加

2

課題 1

- かつては人口 15,000 人以上の島だった。
- しかし、現在はおよそ **3,000 人** (5分の1)
- 耕作放棄地が増え続けているのが現状。

[愛媛県庁/しまの魅力 中島 愛媛・中予の観光情報サイト「ちゅうよ観光ナビ」\(pref.ehime.jp\)より](http://pref.ehime.jp)

3


解決策① ～お花畑化～

継続して耕作放棄地に花を咲かせる

植える花に合わせて
①除草、②耕起・整地、
③季節の花の種まき

↓ 開花

次の種まきの準備...
を繰り返す



4


利点

- **少ない費用でも管理しやすい**
→ 耕作放棄地をいつでも**耕作可能な状態**で維持し続けることができる。
- **景観の美化**
→ **観光客の集客も可能**
- **生態系の保全・促進の効果がある**
→ 送粉の役割を担う生物の動きが活発化
みかん農園に貢献できる


5

解決策② ～粗放栽培～

みかんの栽培は体力的に...



ダイダイ等の粗放栽培を行えば耕作放棄地を作ることがない！



6

利点

- 粗放栽培のため、あまり手入れをしなくてよい
→高齢の方でも**体力的に可能**
農業を始めたばかりの方でも始めやすい
- 体験型もできるかも…！？
→**農業の楽しさ**を知ってもらえる



7

解決策③ ～BBQ場として活用～



8

利点

- 実際に農業を体験
→**農業の重要性を発信**できる
- 自分たちで育てた農作物をそのまま活用
→話題性で**集客の効果**が高まる
- 各利用者それぞれの空間でリラックス
→**コロナ禍でも安心して来訪**できる

9

まとめ

【耕作放棄地の削減・活用】

- ☑一年を通じた花畑化
- ☑ダイダイ等を用いた粗放栽培
- ☑体験農業を延長したBBQ場としての活用

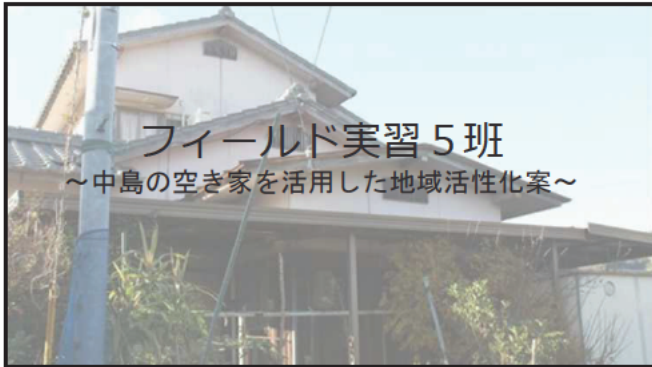
- 費用面・労力面を抑えた**持続可能な取り組み**
- 話題性の高さ**

島外、島内双方に利

10

ご清聴ありがとうございました

11



1

● 概要

1. なぜ「空き家」を活用するのか？
→中島で空き家を活用することのメリット
2. 使用する空き家の例
→空き家バンクに公開されている物件情報を利用
3. 案の概要：計画の実現性について考察
4. 空き家を使ったイベント案の提案
①-「自由研究合宿」
②-「プロジェクト演習in中島」
5. 実施にあたって想定される課題は何か？

2

1. 計画案の概要

3

5班が取り組むテーマ
…「空き家」を使った活性化案

《背景》
県内空き家数の増加…現在およそ129,000戸の空き家
“空き家”という資源が無駄になっているのではないか

利用されなくなった資源（空き家） × 学生 → 地域活性化

4

《地域活性化の要因》

地域の活性化には様々な要因がある

①地域の移住者が増加する
②観光客数が増加することで商業施設にお金が落ちる、等

→地域活性化の手法は多種多様

しかし…
①、②は「地域に足を運んでもらう」必要がある
→「中島へ足を運んでもらうきっかけづくり」を意識

5

2. 使用する空き家の例

6

2. 使用する空き家の物件例

外観



松山市中島大浦2062-1

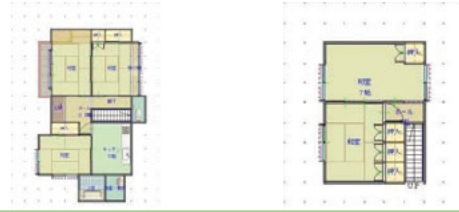
内装



福島の空き家バンク <https://fhou-akiba.com/> より引用

7

2. 使用する空き家の物件（2）



- 大浦にある物件
- 家賃20000円
 - シェア可
 - 大浦港まで徒歩6分
 - 落下式トイレ
 - 間取り5LDK
 - 2階建て
 - ペット可
 - 倉庫つき

8

3. 計画案の概要

9

3-1. 計画案の概要 「空き家を使った地域活性化案」

- ・取り組み主体 学生
- ・活動内容

「学生がプロデューサー!? 空き家をイベント会場に!？」

愛媛大学、松山大学、川原学園、愛媛県の高校などに企画を持ち込んでもらう→イベント会場として活用

- ・学生側に収益性のあるイベントも○

10

この空き家を使えばこのような計画の実現も可能に…!

参加費：3000円

移動費参加者負担

30人規模

流動費は1人当たり1000円と仮定

→参加者一人につき2000円の粗利が獲得できる

2000円の粗利と人数の積は60000円→およそ60000円の収入に!

11

3-2. 計画の実現性

《月々の固定費（空き家の維持費）》

家賃 20000円

水道費 井戸水のため不要

電気代 約5000円（月15日の稼働）

25000円 ÷ 活動参加者 5人

（実質）一人当たりの負担額 5000円

12

4. 空き家を使ったイベント案

13

4-1. イベント案①「自由研究合宿」

- 宿泊を想定
- ボランティアサークル協力のもと、昆虫採集、海、釣り等、ある程度研究を準備しておく
- 保護者同伴（料金5000円）
- 子どもの対象は小学生（1年生から6年生）
- ボランティアサークル協力のもと、昆虫採集、海、釣り等、ある程度研究を準備しておく
- ご飯 1日目の晩→飯盒炊爨、2日目の昼→流しそうめん

14

4-2. イベント案② 「プロジェクト演習を空き家でやってください！」

産業マネジメント学科が受講する講義
地元の企業や自治体が学生に課題を出す
↓
学生が解決の手法を企画、提案する

- プロジェクト演習
- 大学生側から企業に課題を聞く
- 愛大・松大で協力して交流会
- 1泊2日の合宿として来年度以降の授業計画に入れてもらう

15

5. 実施に当たっての課題

16

5. 実施にあたっての課題

- 主体となる学生の確保
- 空き家の修繕—現状のままでは使用できない
→DIYする？材料費は追加でかかるかも

宣伝は必須

SNSによる発信、もしくは「里島パンフレット」に載せて頂くなどの協働も視野に入れるべき



17

フィールド実習 最終発表

1

中島のニーズ

- ・観光客、移住民の増加
- ・雇用の創出

2

提案

カラマンダリンを用いた加工品の開発・販売

<ポイント>

- ・特産品
- ・希少性
- ・限定性

3

提案の理由

- ・加工品を販売すると同時に中島の良さも広める⇒観光客の増加
- ・加工品を製造する作業が生まれるので雇用が増える
(特に手作り品の際は、高齢者の雇用に繋がる)
- ・カラマンダリンに品種を限定することで付加価値を上げる
(愛媛県で全国の約6割を作っている品種)
- ・(補足:規格外品を加工品に用いることで廃棄を少なくする)

4

加工品の例

ジュース、ゼリー、アイス、ジャム、パウンドケーキ、ドレッシング

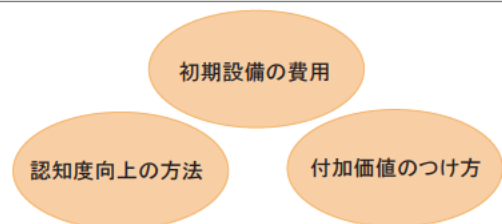
↓
手作りが可能であると考えられる

ハンドクリーム、入浴剤、化粧品→香りを武器にする

健康補助食品→トライアスロン大会での発信

5

提案の課題



6

対策

加工品を作るには**初期投資**が必要
↓
手作りジャムなどを作ればいいのか？
↓
多くの地域で手作りジャムを販売しているため**横並び**になるため*

7

対策

中島ではトライアスロンが行われている
↓
選手向けの補助食品、応援の方にアイス・カップケーキを作る
↓
儲けが出たら機械購入を検討し、そのほかの加工品を作っていく

8

補助食品の例

簡単にエネルギー補給
できる菓子



豆乳を使った高タンパク
低カロリーなドリンク



費用を抑えて手作りしやすく、選手にも喜ばれる

9

対策

○認知度向上の方法

東京・大阪の大都市 & ネット販売
例)高知県馬路村のゆず

10

まとめ

提案 → みかんを用いた加工品の生産、販売

課題 → 費用・認知度

対策 → 手作り・販促路の工夫

11

参考文献

○<https://lumina-magazine.com/archives/news/8004>

○https://www.yuzu.or.jp/products/list.php?category_id=7

12

中島の空き家、使えます。
 空き家管理サポートによる利用促進と地域活性化
 グループ

0

テーマ
 空き家の管理のサポート体制を作り
 空き家の利用を促進する

1

現状と課題
 人口減少、高齢化
 ↓
 空き家増加
 ↓
 建物の倒壊などの危険性の高まり
 所有者の負担の増加

2

原因
 ・年齢や金銭的理由によって管理が難しいこと
 ・活用の仕方がわからないこと
 ・制度や補助金があっても利用しにくいこと
 →空き家管理のサポート体制の構築が必要

3

提案
 中島における空き家管理サポート
 ・空き家をリノベーションしたスペースを使用
 ・既存の制度や補助金の利用をサポート
 ・カフェを隣接
 ・島内外の人の居心地の良い空間、交流の場を目指す

4

空き家管理のサポートプロセス
 ①スタッフの学習会
 参加者：スタッフとなる学生
 指導者：松山市職員の方
 内容：空き家バンクや相談窓口への登録方法や必要書類について

5

空き家管理のサポートプロセス

②中島で空き家管理サポートを実施

- ・事例紹介
活用方法の提案（売却、賃貸、リノベ、施設など）
- ・空き家バンク
空き家バンクの紹介
登録の仕方
書類の書き方
手続きの補助
登録までの手順をサポート

6

空き家管理のサポートプロセス

②中島で空き家管理サポートを実施

- ・松山市の空き家相談窓口
窓口自体の紹介
書類に必要な情報を集められるサイトや業者の紹介
必要事項の確認
- ・売る人と買う人とのマッチング
情報交換
売り手と買い手の意思や情報をリスト化
スタッフを交えて会話できる機会を作る

7

実施における課題

- ・資金
- ・人材
- ・持続性

8

解決策

- 資金
 - ・立ち上げ時
→クラウドファンディング
 - ・立ち上げ後
→カフェで出る利益
- +市や企業からの補助金

9

解決策

- 人材
 - ・空き家管理サポート
→学生（大学生、小中高生のボランティア）
小中高への宣伝依頼
休日のみ
 - ・カフェ店員
→カフェの経営を希望する人
理念への共感
中島で経営することへの同意

◎松山市の方の協力が必要

10

解決策

- 持続性
 - ・空間づくり
明るく親しみやすい雰囲気
 - ・コミュニケーション
島民に寄り添ったコミュニケーションの心がけ
例) 掲示板、島内外の情報、日常生活での相談など
 - ・回覧板での宣伝



<https://www.wa-kerplus.com/trend/matome/article/50527/>

11

現状と課題

人口減少、高齢化
↓
空き家増加
↓
建物の倒壊などの危険性の高まり
所有者の負担の増加

12

課題+空き家管理サポート

↓

空き家の利用促進

- ・安全性の向上
- ・所有者の負担軽減
- ・移住者の選択肢の増加
- ・島の活性化

13

参考文献

- ・松山市公式ホームページ『空き家バンク』
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/utaku/akiya/akiya-bank.html>
- ・松山市公式ホームページ『松山市の空き家対策推進に向けた協定と連携に関する協定』
https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/utaku/akiya/akiya_kyoutei.html
- ・Walker plus『鎌倉のノスタルジックな古民家カフェへ行こう～長谷編～』
<https://www.walkerplus.com/trend/matome/article/105221/>
- ・ritokei『志々島空き家活用プロジェクト』
https://ritokei.com/oiokup/kikanzz_shishiima

14

グリスロの観光活用

グループ 8

1

はじめに

現在の日本の高齢化率は28%であり、高齢化が進行している。中でも、中島の高齢化率は50%を超え、地域内移動に課題を抱えている。

しかし、島内を走る交通機関は1日8便運航しているバスのみであり、島内の外周を中心に回るため利便性に課題が残る。マイカーにおいては高齢ドライバーが増加し、今後自動車運転が困難になる人口が増える見込みである。移動手段に困る人が急増する恐れあり。

そこで、中島の狭い道を通行でき、地域内移動や観光周遊の利便性を高める交通機関としてグリーンスローモビリティが有効であると考えた。

グリスロを活用し、中島の夏以外の観光客増加を目指す

2

グリーンスローモビリティとは

電動で、時速20km未満で走る4人乗り以上のモビリティ

グリーンスローモビリティの5つの特徴

- ①CO2の排気量が少ない
- ②走行速度が低速
- ③速度制限搭載で高齢者でも運転可能
- ④狭い道でも走行可能
- ⑤窓がなく開放感がある



出典：グリスロの製造販売元である株式会社グリスロのホームページより。株式会社グリスロのホームページより。株式会社グリスロのホームページより。株式会社グリスロのホームページより。

3

謎解き 島全体を活用したゲーム

ねらい

- ・中島の名所（姫ヶ浜海水浴場、懐古館など）に誘導

形式

- ・自由に回れるスタンプラリー方式
- ・順番に解いていく脱出ゲーム方式

特典

- ・クリア景品に島の特産品
- ・帰りのフェリーチケット無料 など

引用 しまの魅力 中島 夏様 - 中島の観光情報サイト-愛媛県

<https://www.pref.ehime.jp/chu99914/navi/shima/Nakajima/index.html>

4

どの季節でも可能

謎解きに季節は関係ない



夏以外でも観光客を呼べるのでは？

5

観光周遊

商店街を発着点とするツアー

みかんツアー

- ・多種類のみかんを栽培しているのでツアーを実施できる時期が長い
- ・みかん狩りやしぼりたてジュースの提供
- ・みかんを使った料理を屋台の販売
- 食事も○
- ・みかんソフトクリームやみかんジャムの販売
- 休憩やお土産選びも○

◎ 果実出荷カレンダー



特産物の紹介～中島観光案内～中島汽船株式会社
<http://www.nakajima-ship.com>

6

観光周遊

- ・景色ツアー
 - ・長距離の徒歩移動が難しい人や、バスの時間に縛られずに観光を楽しみたい人向け
 - ・グリスロ内のQRコードを読み取るとボイスガイドでそれぞれの観光スポットの説明が聞ける
- ・歴史ツアー
 - ・中島内の歴史スポット
 - ・泰ノ山城跡：忽那水軍の拠点
 - ・懐古館：江戸時代の農具や日用品の展示




高井地区の茶畑
熊田地区の海
泰ノ城跡
懐古館

出典：愛媛県庁/しまの動力中島愛媛・中予の観光情報サイト「ちゅうよ観光ナビ」
<http://www.pref.ehime.jp>

7

フィッシングバスとしての利用

- ・釣りスポットへの運搬
- ・釣り具などを乗せられる荷台
- ・ボイスガイド（釣り関連の情報）
- ・車がない人が利用しやすい
- ・公共交通機関が運航していない時間からも利用可能



- ・釣具店などの運営で、穴場スポットなどの紹介（地域の人とのコミュニケーションがうまれる）

8


まとめ

グリスロを活用することでグリスロが島民と観光客のコミュニケーションの場として機能することは勿論観光客同士のコミュニケーションの場としても機能することが期待できる

グリスロの解放感、速度、狭い道幅を走行可能という特徴は中島の地形、景観を考えると最大限に活用することが可能であり、グリスロを活用することが観光促進に効果的であると考え

9

フィールドワークin.中島
『中島の特産品を使ったブランド化』



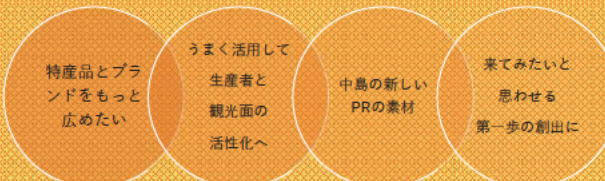
1

中島の特産品、ブランド例

- みかん
温州みかん、カラマンダリン、清見、伊予柑など
- お茶
べにふうきの栽培茶摘み体験も実施
- あわび
坊ちゃん島あわび

2


今あるブランドを見て…



3

中島の特産品のブランド力向上 ↑ ↑

↓

地域活性化 

4

地域ブランド化による中島の問題点

①中島までのアクセスの不便さ



…三津浜・高浜港から片道でも1時間はかかってしまう
…片道1000円くらいするので少しお高め
…多い路線で1日5本の運航
…少ない路線は1日3本の運航

出典 <http://www.nakajimakisen.co.jp/index.shtml>

5

②ブランドの差別化

柑橘でのブランド化
広島瀬戸田レモンや和歌山県の有田みかんなど・・・

ジュースやゼリーなどの加工品が主流→別の方法でブランド化できないのか？

そこで私たちのグループが考えたのは・・・

6

手作りジャムキットの開発



- ・中島特産品のミカンを使用
- ・愛媛県内の職人（シェフや料理研究家）とのコラボ
- ・現地だけではなく、オンラインショップでも販売
- ・ジャム瓶のなかに材料を入れるだけの簡単な商品

7

手作りジャムキットの開発



狙い

- ・現在、お家でも楽しめる商品が注目されているため、中島を知らない人たちも手に取る可能性がある⇒中島を知ってもらうきっかけになり、知名度が上がる
- ・お家においても現地の味を体験できる⇒『手作りできる特産品』という斬新なものの開発で周りのジャムと差別化を図る
- ・簡単だけど楽しい時間を作ることができる⇒小さな子供からお年寄りまで、幅広い年代に手に取ってもらえる商品になる

8

手作りジャムキットによって中島に関心が集まれば、

現地イベントを開催！



9

現地イベント

- ・手作りジャムキットの販売はもちろん、みかんを使った他の加工品やあわび、べにふうきなどの特産品も販売
- ・特産品の飲食スペースを設置
- ・手作りジャムを作ったり、あわびの殻を利用したアクセサリを作り体験ができたりするブースも設置する
- ・現地のオススメスポットも紹介、案内



10

現地イベント

手作りジャムキットをきっかけに中島を訪れてもらう
そして、大人も子どもも楽しめる中島の魅力を存分に味わう機会
を作ることで、



多くの人を中島の虜に！



11

まとめ

特産品のブランド力向上は、
中島の地域の魅力の向上につながり、

中島へ人を呼び込む



12



1

本日の流れ

- きっかけ
- 課題解決
- 参考事例

サイクリングコースについて

空き家の活用について

空き家のリフォームの資金調達について

2

きっかけ

3

きっかけ

イベントが多い
→人がくる

→ 宿泊施設の需要あり

4

きっかけ

イベントが少ない
→夏と比べて人が来ない

→ 需要が少ない

5

きっかけ 宿泊施設として利用

夏 需要と供給が成り立つ

春夏秋冬 需要と供給が不釣り合い

→ 赤字の可能性あり

6

きっかけ

季節ごとに分けた運用！

7

きっかけ

空き家の活用方法を考案



中島にお金を落としてもらう仕組み作成



中島の活性化

8

課題解決

9

課題解決



トライアスロンの時期以外も人を呼びたいというニーズ



空き家を活用した宿泊施設をつくる



観光に生かせる！

10

課題解決

夏のトライアスロンの時期以外の観光客を呼び込む！

受注型体験ツアーの確立



11

課題解決



資金を調達



空き家の数を減らす



長期的に観光客としてかわる人間を増やす

空き家問題を解決する！

12

課題解決

宿泊施設としての利用を可能に！

リノベーション

空き家問題も解決する！

13

サイクリングコースについて

14

真福寺

中島市

宿泊場所到着

B

サイクリングロード

トリアスロンメイン会場

折り返し地点

小島

ミカンの収穫体験 (THE BONDS)

長師

I&G海洋センター

体育館

プール

テニスコート

真福寺

15

サイクリングコースについて

真福寺

情報を取り込む

ミカンの収穫体験 (THE BONDS)

16

サイクリングコースについて

真福寺

バーチャルスタンプラリー

ミカンの収穫体験 (THE BONDS)

家族でも楽しめる

17

真福寺

中島市

宿泊場所到着

B

サイクリングロード

トリアスロンメイン会場

折り返し地点

小島

ミカンの収穫体験 (THE BONDS)

長師

I&G海洋センター

体育館

プール

テニスコート

真福寺

18

参考事例

①小豆島の「迷路民泊」の事例

- ・迷路民泊を起点とした滞在型観光
- ・チャレンジを与え、達成数に応じて特典を付与

19

参考事例

②大阪府京橋の「体験型民泊/ CYCLESTAY」の事例

- ・泊まる（民泊）+体験する（サイクリング）
- ・クロスバイクを5台用意
- ・オリジナルのロードマップを設置
- ・ロードマップのQRコードからスマホでサイクリングコースの登録

20

参考事例

①チャレンジ（挑戦状）



②スマホを用いたサイクリング



QRコードで
スポットの説明



デジタル
スタンプラリー



21

空き家の活用について

22

空き家の活用
について



空き家問題

中島でも空き家が多い



リノベーション

宿泊所として使ってもら

23

空き家のリフォームの資金調達について

24

空き家のリフォームの資金調達について
(1/9)

- ・ 空き家のリフォームの資金はどうやって調達するのか？

↓

クラウドファンディング

25

空き家のリフォームの資金調達について
(2/9)

- ・ クラウドファンディング
→中島の学生が空き家をリフォームして宿泊場所にする。

26

空き家のリフォームの資金調達について
(3/9)

- ・ クラウドファンディング
→中島の学生が空き家をリフォームして宿泊場所にする→その計画や様子をSNSで宣伝する

↑

YouTube
インスタグラム

27

空き家のリフォームの資金調達について
(4/9)

- ・ クラウドファンディング
→中島の学生が空き家をリフォームして宿泊場所にする
 - ・ →その計画や様子をSNSで宣伝する
 - ・ →お金が集まりやすくなる

28

空き家のリフォームの資金調達について
(5/9)

- ・ クラウドファンディング
→中島の学生が空き家をリフォームして宿泊場所にする。

↑

何故学生なのか？

29

空き家のリフォームの資金調達について
(6/9)

- ・ クラウドファンディング
→中島の学生が空き家をリフォームして宿泊場所にする。

何故学生なのか？ → 前例の存在

30

空き家のリフォームの資金調達について (7/9)

- 前例 『「学生が古民家回収！まちなか水族館から
福良を盛り上げたい!!!」』
https://camp-fire.jp/projects/view/432103?list=search_result_projects_popular

31

空き家のリフォームの資金調達について (8/9)

- 愛媛大学と地元の学生がコラボして中島についての魅力をまとめてもらい、クラウド
ファンディングの一部の資料にする

32

空き家のリフォームの資金調達について (9/9)

- 愛媛大学と地元の学生がコラボして中島についての魅力をまとめてもらい、クラウド
ファンディングの一部の資料にする



33

実施の概要

寺谷亮司・笠松浩樹（地域資源マネジメント学科）

1. 当初の対象地と変更の経緯

(1) 西予市宇和町宇和地区

本授業の当初計画は、踏査や聞き取りによって地域の有り様を掘り下げることを目的に、西予市宇和町宇和地区を対象にフィールドワークを行うこととした。

宇和地区は、48 自治会、3,791 世帯、8,319 人、高齢化率 31.3% である（「愛媛県集落实態調査」より；2018 年 6 月 1 日現在）。旧宇和町の中心部で、2004 年の西予市誕生後も市役所が所在する場所となった。宇和地区の中心街は「卯之町」と呼ばれ、室町時代から戦国時代の城下町を起源とし、江戸時代には宇和盆地の米、ヒノキの集散地として栄えた。明治以降も商家が建ち並び、白壁の町並みが今も残っている。



卯之町にある「重要伝統的建造物群保存地区」

(2) 宇和地区から大学周辺へのフィールド変更

このような町並みを拠点に、2021 年 7 月 21～23 日にフィールドワークを行うこととしていた。4 月からは再び新型コロナウイルスの感染が増加しており、7 月の状況を心配していたが、幸いにも収束に向かい、6 月からは対面での授業が開始された。

しかし、松山市から約 50 名の学生が現地を訪れることは、高齢者の多い地区にとって一層の注意を払わなければならない。6～7 月には感染が下火になってきたとはいえ、現地の方々にとって不安を与える行動は回避すべく、やむを得ず現地を訪れての実習を断念した。

この段階で、①対象地を変更せずにオンラインでのやり取りを行って何らかの成果をまとめるか、②現場から得られる学びを重視するために対象地を変えるかの判断に迫られた。前年の 2020 年は①の方法を採り、学生が現場を訪れないフィールド実習を行ったところ、教員も学生も大いに消化不良気味であった。そこで、2021 年度は迷わず②を選択した。

その結果、学外者との接触を最小限に抑え、大学付近でのフィールドワークを行うこととした。スケジュールも大幅に変更し、次のとおりとした。

2. スケジュール

実施日	内 容
7月7日(水) Zoom	<p>ガイダンス 授業のねらいと進め方、参考資料(地図、映像など)の閲覧、フィールドワークの要点の解説。</p> <p>ディスカッション 徒歩や自転車等で移動できる範囲に何があるのかを話し合う。物、場所、人、出来事など何でもよい。</p> <p>テーマの提示 学生個々がMoodleでテーマを出す。テーマに基づいて教員がグループ分けを行う(10グループ)。</p>
7月14日(水) 対面	<p>グループ単位での検討 テーマ、調査地、調査方法を話し合い、調査計画書にまとめる。テーマは可能な限り具体的なものとし、掘り下げる意味のあるものとする。調査計画書をオンラインで提出し、教員がコメントする。教員とのやり取りによって、調査計画を充実させる。</p>
7月19日(月) ~27日(火) 現地調査	<p>フィールドワーク グループごとに日程を調整して調査を実施。日時はグループに任せる。公共交通機関での移動は極力控え、学外者との接触を最小限に抑える。踏査、文献調査、多少のインタビュー等を繰り返し、結果を導き出す。</p>
7月28日(水) Zoom	<p>中間報告 グループごとに活動概要を報告。1グループあたり質疑を含めて7~10分程度。完成度の高いプレゼンテーションになってなくてもよいが、テーマ、目的、調査方法、仮説、結果を可能な限り示す。質疑や指摘を受け、報告会の準備に活かす。</p>
8月4日(水) Zoom	<p>成果発表 グループごとに調査結果を発表し、質疑・討論を行う。学生は最も良い調査と発表を行ったグループに投票し、グランプリを決めた。</p>

3. 成果と評価

10グループがテーマを設定し、計画を立て、フィールドワークの実施、報告を行った。これらの過程は、おおむね学生の自主性に任せており、担当教員は適宜指導している。従って、設定されたテーマやその実施は多岐にわたり、幅広い分野の調査活動が行われた。

次のページ以降は、8月4日に行った成果発表のため、10グループそれぞれが作成した資料である。対象地や方法が急遽変更となり、住民との対話も最小限となるなど制約が多い中であつたが、踏査、体験、試作、試食などの凝った内容となった。

フィールド実習 ～道後温泉周辺～

1

目次

- ・テーマ
- ・問題意識
- ・調査方法
- ・調査背景
- ・調査内容
(他の温泉地との比較、踏査結果)
- ・調査結果→大学生からのアイデア

2

テーマ

道後の景観美化の取り組み ～大学生の視点より～



3

問題意識

道後温泉は他の温泉地と比べて規模が小さいにもかかわらず、観光地として知名度が高い。
→**景観美化**が要因ではないだろうか。
⇒他の温泉地との比較、松山市が取り組む景観美化の取り組み、踏査から明らかにする

4

調査方法

- ・文献による事前調査
(他の温泉地について、景観美化の取り組みについて)
- ・踏査
- ・文献による事後調査
(昔の道後の景観)

5

調査の背景

道後温泉4位に上昇

人気温泉地ランキング2019

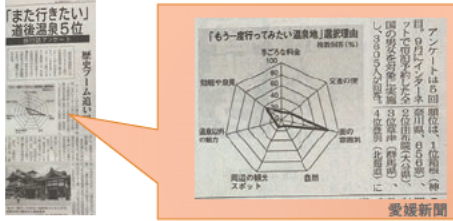
1位	湯河原温泉 (神奈川)
2位	草津温泉 (群馬)
3位	霧ヶ峰温泉 (北海道)
4位	道後温泉 (愛媛)
5位	野沢温泉 (大分)
6位	湯取温泉 (佐賀)
7位	有馬温泉 (静岡)
8位	湯島温泉 (静岡)
9位	下呂温泉 (岐阜)

景観好き/歴史感じる

愛媛新聞

6

調査の背景



7

他の温泉地における共通点

- ・山奥にあり、自然を感じる
- ・範囲が広い
- ・エリア全体が「非日常」の空間を演出している



草津温泉（草津町HPより）



湯布院温泉 湯の坪街道（湯布院温泉観光協会HPより）

8

有名温泉地と道後の比較

- ・範囲が狭い
- ・市内に近い
- ・ビルやホテル、ピンク街が立ち並び、雑多としている



9

道後温泉地域への来訪理由

- ・道後温泉本館の建物が魅力的だったから(65.2)
 - ・商店街や街の雰囲気が好きだから(47.8)
 - ・行ってみたい観光名所があったから(21.5)
- 道後温泉は象徴的な観光名所(本館)の雰囲気や、商店街の景観を目的に訪れる観光客が多い。

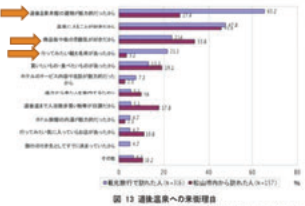


図 13 道後温泉への来訪理由
資料：「平成25年道後アンケート調査結果」(道後温泉)

10

道後の景観美化の歩み

年度	出来事
平成4年	道後温泉跨れるまちづくり推進協議会発足
平成6年度	・道後温泉本館建設100周年 ・カラクリ時計完成 ・国重要文化財指定
平成10年度	道後駅前・放生園周辺花壇完成
平成18年度	景観まちづくり宣言『100年の景』採択
平成18年度	道後温泉本館整備完成
平成19年度	「板の上の藝ミュージアム」開館



11

踏査内容

【方法】

- ①実際に道後地区を歩き、「道後温泉活性化計画」「道後温泉歴史漂う景観まちづくり」(資料)を参考に景観が整備された箇所を重点的に調査する。
- ②景観に注目し、気づいた部分は写真を撮る。

12

踏査内容

【結果】整備前との比較

・道後駅向かい側看板自主撤去



13

踏査内容

【結果】整備前との比較

・道後商店街入口横のファザード整備



14

踏査内容

【結果】整備前との比較

・本館前道路の歩道化



15

踏査内容

【結果】整備前との比較

・道後温泉本館前の道路の歩道化



16

踏査内容

【結果】景観における良い点

・案内看板の統一



17

踏査内容

【結果】景観における改善点

・商店街にあるマンションが景観を邪魔している



ゴミやボールといった
マンションの生活面
が景観から見え
→「非日常」という空
間(観光地)の形成に
悪影響

18

踏査内容

【結果】景観における大学生的気になる点

・「道後」という地域性に一見関係性が見られない某店舗



19

調査結果

・新聞記事より、道後温泉周辺は松山市における一大観光名所であり知名度も高いため、愛媛県への観光客誘客の原因となっていることがわかった。その要因として、アンケート結果からも景観の良さ・商店街の雰囲気の高さが大きな割合を占めていることが分かった。

・景観整備計画が制定されるなど、道後では景観整備に力を入れており、実際に整備前と比較すると改善されていた。

・本館周辺など一部地域では集中的に景観整備がされていたが、対象となっていない地域の景観には観光地として相応しくない場所も見られた。

・商店街の中においても「非日常」という観光地の空間を邪魔する景観が見られた。

20

大学生からのアイデア

・道後温泉周辺は景観整備計画によって主に観光地のみを集中的に環境整備を行っており、周辺環境との分離が目立つ。

→観光地に加え周辺地域との景観の統一を今後の整備で積極的に行う

・商店街は現在のような多様な店舗、建物がある事で娯楽空間として成立している。

→景観を乱すような居住空間との混同、ゴミ問題を避ける

21

大学生からのアイデア(具体例)

マンションをアートに

コンパクト＝個性 季節感

古民家カフェ



22

参考文献

・写真引用HP

(草津)草津町ホームページ <https://www.town.kusatsu.gunma.jp/>

(湯布院)湯布院温泉 観光協会 <http://www.yufuin.gr.jp/>

(整備前) pdf資料 https://www.soumu.go.jp/main_content/000162112.pdf

・参考文献

「道後温泉活性化計画」[kassseikakeikaku-honpen.pdf \(city.matsuyama.ehime.in\)](#)

「道後温泉歴史藩う景観まちづくり」[J03.pdf \(mlit.go.jp\)](#)

Special Thanks: 寺谷先生

23

道後地区の寺社仏閣における地域文化財
の防災取り組みについて

1

背景と問題意識

近年、日本では首里城、世界ではノートルダム大聖堂といった文化財の火災が問題になっている



松山市内の文化財は防災対策がされているのか

2

明らかにする事柄や課題

火災報知器や消火設備などの基本的な防災取り組みは最低限されているの
ではないか



寺社仏閣が災害から文化財を守るために
している工夫を明らかにする

3

調査方法

調査場所

伊佐爾波神社・宝蔵寺・護国神社・石手寺

調査方法

- ・インタビュー調査（宝蔵寺・護国神社のみ）
- ・観察調査
- ・インターネット調査
- ・文献調査

4

調査行程

- ・日程 7月21日（水）
- ・天候 晴れ
- ・行程

10：00 愛媛大学正門 出発
10：30 伊佐爾波神社 到着
10：55 宝蔵寺 到着
12：55 護国神社 到着
17：00 石手寺 到着
18：00 愛媛大学正門 解散

5

調査結果

・伊佐爾波神社

- ・看板
- ・えひめ文化財災害対応訓練

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/smph/hodo/201601/0126higasi.html>



伊佐爾波神社本殿



火気厳禁の看板

6

調査結果

- ・伊佐爾波神社
- ・消火設備



屋外消火栓



採水口と放水銃

7

7

調査結果

- ・宝厳寺（2013年に漏電により一度全焼）
- ・漏電対策
- ・煙センサー



宝厳寺本堂



ALSOK

8

8

調査結果

- ・宝厳寺
- ・二次災害の防止対策
- ・白アリ対策



上だけ取り外せるろうそく



山門修理の現場

9

9

調査結果

- ・護国神社（昭和20年戦災によって一度消失）
- ・屋根の日



折念史料室みゆき

10

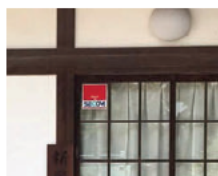
10

調査結果

- ・護国神社
- ・24時間体制
- ・台風・洪水対策



護国神社前の川



SECOM



警戒中と書かれたスピーカー

11

11

調査結果

- ・石手寺
- ・消火設備



ポンプ室



放水銃

12

12

調査結果

・石手寺



埋設標



ぼろぼろになっている壁

13

13

まとめ

- ・宝蔵寺
全体的に防災意識が高く、特に火災被害にあった過去があるため火災に対する防災意識が強い。
- ・護国神社
台風や洪水の事前対策を行っている。
- ・伊佐爾波神社・石手寺
基本的な消火設備はある。

14

14

まとめ

- ・資金面の調達が難しい。
- ・災害を経験している寺社仏閣は防災対策に長けている。
- ・文化財の風情を保ったまま防災に取り組むことは難しい。

15

15

提案

- ・災害経験のある寺社仏閣はどのような対策を講じているか情報提供をする。
- ・近所の寺社仏閣がお互い協力しあえる環境を作る。



そのためには

自治体主催の企画などに寺社仏閣関係者が積極的に参加し、地元の人たちと交流を深める。

16

16

県内外の人からみた 道後温泉の魅力

0

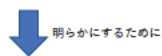
目次

- 調査の背景
- インタビュー調査の概要・結果・考察
- アンケート調査の概要・結果・考察
- 道後温泉本館「雲の湯」を訪れて
- 道後温泉を利用してもらう・魅力を知ってもらうための提案
- まとめ

1

調査の背景

- 「地元の方は県外からきた旅行者などの方と比べて道後温泉を利用していないのでは？」と疑問を持った。



県内・県外の人に対する道後温泉（商店街）の魅力について調査を行った

2

インタビュー調査の概要 （道後温泉・道後商店街）

質問項目

- 年代
- 住まい
- どのような目的で
- どのような情報を持って来たのか、情報の入手方法
- イメージ通り・イメージと違った点（良い点、悪い点）
- また来たいと思った

3

インタビュー調査の結果（計7組）

1組目 年代 40代夫婦 住まい 松山 目的 猫カフェ、ソフトクリーム	2組目 年代 40代夫婦 住まい 東京 目的 旅行	3組目 年代 30代夫婦 住まい 徳島・神奈川 目的 新婚旅行
4組目 年代 家族（母、子2人） 住まい 松山（道後） 目的 湯楽小のスローガンを見るため	5組目 年代 年配の女性 住まい 京都 目的 旅行	6組目 年代 外国人家族（父母、子2人） 住まい 横浜 目的 旅行
	7組目 年代 女性記者 住まい 東京 目的 取材	

4

- どのような情報を持って訪れたか・その情報の入手方法
- インターネット
- 友人からの紹介

イメージ通り、またはそれ以上に良かった点

- 古風な感じ
 - 若い人が多い
 - キレイ
 - 近代化が進んでる感じ
 - 新しい建物が多い
 - 商店街はこじんまりとしているが素敵
- イメージと違った点、悪い点
- 治安（風俗地域が近い点）
 - イメージしていたよりも古風な感じではなかった

5

インタビュー調査の考察

- ほぼすべての人が道後温泉のことは知っていたので知名度は高いことが考えられる。
 - 道後温泉・商店街に対するイメージは賛否両論。
 - 新しい景観にイメージとの相違がある。
- 道後温泉と周りの環境（風俗店、周りに古風な感じが無い）

6

アンケート調査の概要

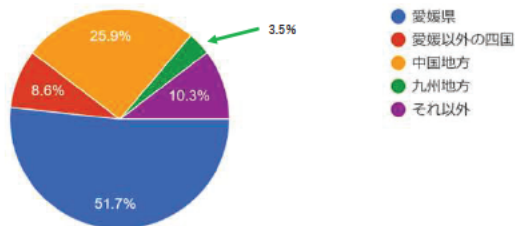
アンケート項目（ライングループ、インスタグラム）

- 出身地
- 道後温泉についてのイメージ
- 道後温泉に入ったことがあるか？
 - ・ 入ったことがある人は入浴回数
 - ・ 入ったことがない人はその理由

7

アンケートの結果（58件の回答）

あなたの出身地は？



8

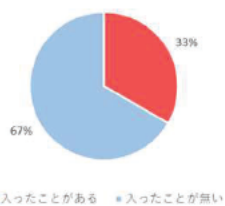
あなたは道後温泉に入浴したことがありますか？



9

愛媛県内出身者について（30人）

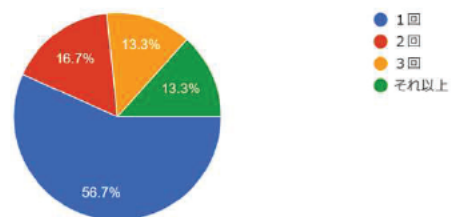
愛媛県内出身者の道後温泉利用割合



10

入浴したことがある人（58人中30人）

何回入りましたか？



11

入ったことがない理由 (28人)

- 興味がない 50% (14人)
- 住んでいる場所から遠い 14% (4人)
- 交通が不便 0% (0人)
- 治安が悪い 0% (0人)
- その他 36% (10人)

12

12

入ったことがない理由 (その他の回答)

- いつでも入りに行けるような気がして行けていない
(愛媛に住んでいたらいつかは入るだろう)
- コロナ禍で温泉を利用するのが怖い
- 温泉に行く機会がない
- 1人で行く勇気がない
- 入浴料が高い
- なんとなく

13

13

アンケート調査からの考察

- 道後温泉へ実際に入ったことがある愛媛県民は予想通り少なかった。(30人のうち約3割)
- 県外出身者28人のうち約7割が道後温泉に入っていた。



愛媛県民より県外出身の方が道後温泉を利用している。
道後温泉に対する関心
県内<県外

14

14

道後温泉「霊の湯」を訪れてみて

訪れている人のほぼすべてがホテルのお客さん
[理由: 浴衣を着ていた→8月1日(日曜AM6:30)]



地元(松山)の人はあまり来ない=道後温泉への関心が低い?



考えられる理由・道後温泉に対する関心が低い
・本館では「霊の湯」のみの営業である。(改装工事)
・新型コロナウイルスの影響

15

15

道後温泉を利用してもらい・魅力を知ってもらうために私たちからの提案

- 観光客と地元の人々の温泉利用料金に差をつくる。(学割)
- 温泉を利用しての特典(商店街で使用できる割引券など)
- SNSへの投稿で何かしらのサービス
(投稿により魅力発信にもつながる)
- 道後温泉の歴史や魅力を小学校や中学校で教育の一環として行う。

16

16

まとめ

- アンケート調査からは県内出身者に比べ県外出身の方が道後温泉を利用していることが分かった。
- 実際に訪れてみても道後温泉を利用しているのは旅行者(ホテル客)の人が多く分かった。
- 道後温泉・商店街に対するイメージは賛否両論。
(道後温泉とその周りの景観の差異)

17

17



1

発表の流れ

1. 調査概要
2. 調査テーマ
3. 調査前の予想
4. 愛媛県で行う活動
5. 調査結果
6. 考察
7. 参考文献

2

調査概要

- ・場 所：しまなみ海道(サンライズ糸山、大三島)
- ・手 法：踏査
聞き取り
→サイクリスト、観光客/お土産店、レンタサイクル店員
- ・実施日：7月21日水曜日
9:30~14:30

3

調査テーマ

- ① 新型コロナウイルスの影響により、しまなみ海道の観光にどのような影響があったのか
- ② 新型コロナウイルスの影響による観光客の推移と影響

4

調査前の予想

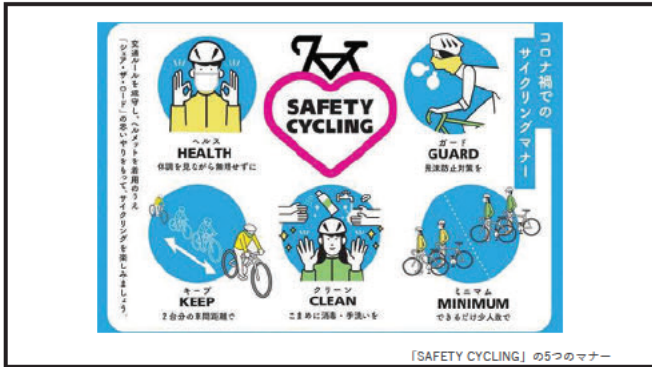
- ① 新型コロナウイルスの影響により、しまなみ海道の観光にどのような影響があったのか
→観光客やサイクリストがいなければ、住民しかいないため、様々な店が営業停止に追い込まれた
- ② 新型コロナウイルスの影響による観光客の推移と影響
→外国人観光客はほぼいない
国内から観光客を呼び込まなければ産業が成り立たない

5

愛媛県で行う活動

- ・「SAFETY CYCLING」の普及・啓発を
2020年6月より実施
- ※「HEALTH」「GUARD」「KEEP」「CLEAN」「MINIMUM」という5つのキーワードから、サイクリング時のマナーを掲げている

6



7



8

調査結果(サイクリストへの聞き取り調査)

道の駅今治市多々羅しまなみ公園

	①年齢性別	②居住地	③交通手段	④しまなみでのサイクリング経験	⑤日常でのサイクリング	⑥コロナ禍におけるサイクリングについて	⑦コロナ前と比較して
1.	30代男性	東京	フェリー、電車	初めて	通勤	距離が開いている	増加した感じはしない
2.	30代男性	東京	フェリー、電車	初めて	やらない	距離が開いている	x
3.	60代男性	東京	車	初めて	日常で	マラソンは密だが、サイクリングは距離があつて楽しめる	x
4.	10代男性	愛媛	車	初めて	やらない	感染予防の意識がなかったまわりはタオルまいたり、マスクしたり	外国の方はみていない

9

調査結果

- ・ 平日の屋間にもかかわらず県外からのサイクリストが意外と多かった。
- ・ コロナ禍でのレジャーとしてサイクリングは適切であるといった考えの方々が多かった。
- ・ コロナ禍になり、外国人のサイクリストも日本人のサイクリストは減少した。
- ・ コロナ禍になってサイクリングを始めた方もいた。

10

調査結果(施設の方への聞き取り調査)

	①年齢性別	②施設名	③閉館期間	④利用者の様子	⑤コロナ対策
1.	50代女性	道の駅今治市多々羅しまなみ公園 レンタサイクル受付	6月20日まで閉めていた	日本人のレンタサイクルが最近増加 外国の方はいっしょって少ない	お客様に注意・自転車の消毒
2.	50代女性	サンライズ赤山 受付	広島が緊急事態宣言出ていたころ閉館	コロナ前に比べて7割、明日から連休で予約多い 外国の方で日本在住の方はいっしょって少ない	感染対策として、消毒、検温、あしあとで距離をおく
3.	50代男性	サンライズ赤山 レンタサイクル受付	6月の後半は開けていたがそれまで閉めていた	コロナ以前に比べて全然違う 減少した、半分、1割にしかし、日による 夏休みで増加してきている	検温、消毒、ビニール 一列通行 車間距離

11

調査結果

- ・ 緊急事態宣言が出ていた期間、またはそれよりも長い期間レンタサイクル施設は休館していた。
- ・ コロナ禍以降、外国人のレンタサイクル利用者は全くないわけではないが、かなり減少している。
- ・ ここ最近になって日本人のレンタサイクル利用者が増加してきている。
- ・ 世間は夏休みシーズンに入るため利用者が増えると予測されている。
- ・ レンタサイクル施設でも様々なコロナ対策が実施されている。

12

考察

- ・ 外国人観光客は極端に減少し、今ではほとんど見られないことがわかり、コロナの影響で在日外国人の方も来なくなっている。
- ・ 日本人観光客もコロナの影響で減少しているが、県外からの観光客がほとんどで県内の観光客がほとんど見られなかった。
- ・ マスクなどの感染対策をしなければならないという意識は観光客自身が持っているため、店の感染防止対策はもちろんだが、観光客もサイクリングというマスクを外したくなるようなスポーツであっても感染対策を十分行っていることが分かった。

13

参考文献

- ・ CYCLING EHIME
<https://cycling-ehime.com/article/4368/> (参照2021/8/4)
<https://cycling-ehime.com/routes/the-shimanami-kaido/> (参照2021/8/4)
- ・ HOTELIER
<https://www.hotelier.jp/inboundnews/ma/20200214.html> (参照2021/8/4)
- ・ 一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会
<https://www.jcspa.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/04/d5d84a3e87252ad01155446bfcc7e632-1.pdf> (参照2021/8/4)
- ・ サイクリングしまなみ
<https://cycling-shimanami.jp/> (参照2021/8/4)

14

ご清聴ありがとうございました！



15

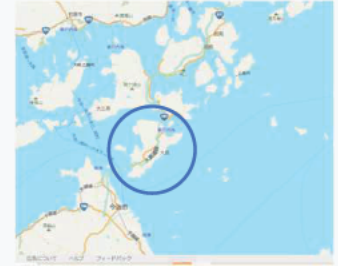
「大島」の観光実態と動線

1

1. 背景・目的

今、世界から注目されている「しまなみ海道」の中の一つである大島に行き、大島の観光地の観光状況、動線について調査する。

「観光地の実態」と「どのような観光動線であるのか」について、観光客や観光地で勤務している人への聞き取り調査を基に分析した。



2

観光動線

観光動線とは？
観光客が複数の観光地を巡るときの一定の規則性を線で表したものを。

○高低差が激しいため自転車で回るのは難しいところもある。

○一つ一つの観光地に滞在する時間によるが、半日程度で回ることができる。

○一周は約20キロ

○車はほとんどおらず、自転車走行がしやすかった

○自販機が少なく、コンビニ2つだけなので、水分は多めに持っておくべき



3

まとめ

・しまなみ海道にある「大島」では、4つの大きな観光地があり、これらの観光地は年々知名度を高めている。

・県外からきている観光客のほうが多く、中国地方、関西地方からきている人が多かった。

・観光の動線を図画することによって、動線にある道の補正や、交通の調整ができ、さらなる大島観光の発展に貢献できると考える。

今回の調査で得た新たな発見を、これからの自分たちの研究に活かしていきたい。



4

食べたい!持っていきたい! 愛媛県のお土産（お菓子編）

フィールド実習 ⑥飲食/土産班

1

目次

- ・背景
- ・問題意識
- ・調査手法 1-2
- ・調査結果 1-5
- ・考察とまとめ 1-2

2

背景

愛媛県のお土産として、おまんこ、タルト、おまんこなどが代表的だが1つに絞るとなると、これといったものがない
→実際にどれが売れているの分気になる
・「お土産」というと様々あるが、私たち世代（周知）では雑貨や調味料などよりもお菓子のイメージが強かったためお菓子に限定した調査を行った

3

問題意識

愛媛県のお土産 認識のばらつき
→たくさんあるのにキウイを使ったお土産を売っていないのか？（愛媛県はキウイの国内生産量1位。みんなは何か？愛媛県のお土産のイメージが強いのか？）

4

調査手法 1

・フィールド調査
7月21日（木）
松山空港、ロープウェー街、道後温泉商店街
→松山空港、ロープウェー街、道後温泉商店街の3店舗での聞き取り調査（計10店舗）
→お土産として売れ残ったお菓子や商品をいくつか購入し、アンケートでお客様のお土産のイメージに関するアンケートを実施

5

調査手法 2

・松山空港、ロープウェー街、道後温泉商店街の店舗に行った簡単なインタビュー調査の内容
①どの商品が一番売れるか？
②どんな人が買っているか？
③もし、お客様からどの商品がお土産として買われたらどの商品をこたえるか？

6



調査結果 1

販売されているお土産
 ビー母恵夢、すずかり、ゼリー、タルト、母恵夢
 山田屋饅頭、おしるこ、霧の森大福、坊ちゃん団子
 「道後」の表記があるお菓子、一六タルトの季節限定商品、伊予柑を使ったお菓子
 ⇒予想通り、母恵夢、タルト、坊ちゃん団子を挙げる店舗が多かった。また、特に道後商店街でこの3つが挙げられることが多かった。

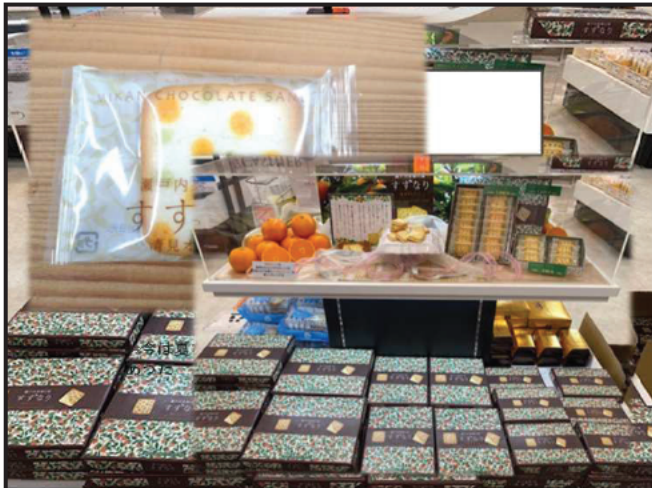
7



調査結果 2

②の質問（どんな人が買っているか？）の結果
 来店客の中にはいるがサラリーマン、観光客、親戚などには土産を配る地元の人、結婚式の行事などに使うという方が多いグループ、会社の旅行
 ⇒お土産を挙げる店舗が多かった。また、特に道後商店街でこの3つが挙げられることが多かった。

8



調査結果 3

販売されているお土産
 ビー母恵夢、すずかり、ゼリー、タルト、母恵夢
 山田屋饅頭、おしるこ、霧の森大福、坊ちゃん団子
 「道後」の表記があるお菓子、一六タルトの季節限定商品、伊予柑を使ったお菓子
 ⇒予想通り、母恵夢、タルト、坊ちゃん団子を挙げる店舗が多かった。また、特に道後商店街でこの3つが挙げられることが多かった。

9



10



調査結果 4

Instagramの機能を用いたアンケート調査
 「愛媛のお土産をいえば？」という質問内容で、店舗からの回答が多かったタルト、坊ちゃん団子、母恵夢の3つをそれぞれに投票するという形式でアンケートを行った
 タルトが139票、坊ちゃん団子が177票、母恵夢が155票となった。（総票数371票）

11



調査結果 5

キウイに関してお店の店員話を聞いたところ、「キウイの商品を作っても売れない」という声が多い。一色やぶつぶで見た目が悪い。愛媛＝キウイのイメージが薄い。Instagramで愛媛のイメージみかんのキウイでアンケートを行ったところ、みかん518票・キウイ13票という結果となった。そもそもキウイの産地が難しいことも

12



13



14



15

フィールド実習発表 (郷土料理)

1

テーマ:松山の郷土料理(御膳)の提案

- 松山の郷土料理について意外に知らないことが多い
↓
- 愛媛県の郷土料理を調査
↓
- 自分たちで新しい郷土料理(御膳)を提案
↓
- 松山市における郷土料理の可能性を導き出したい

2

実践したこと

- 郷土料理をふるまっているお店でのインタビュー
- 郷土料理の実食
- 自分たちで郷土料理の御膳を提案

3

調査場所:郷土料理 五志喜



4

郷土料理のメニュー



5


注文した郷土料理

- 松山(北条)鯛めし
- 宇和島鯛めし
- 鯛そうめん
- 五色そうめん
- 鯛茶漬
- みかん寿司
- ジャコ天
- せんざんき



6

インタビュー内容



- 人気メニュー
- 利用者の年齢層・人数
- 地元客と観光客の割合
- 郷土料理のお店を経営することになったきっかけ
- 郷土料理をふるまう上でこだわっていること・気を付けていること
- 郷土料理の御膳を作るにあたって何かアドバイス

7

人気メニュー: 鯛めし



地元客と観光客の割合

地元客: 5%
観光客: 95%

利用者の年齢層・人数

小さい子供からお年寄りまで幅広い年代
・普段は250~300人ほど
(GWなどは700人ほど)

郷土料理のお店を経営することになったきっかけ

郷土料理が一番観光客を主とする集客率が良いから

8

郷土料理をふるまう上でこだわっていること・気を付けていること

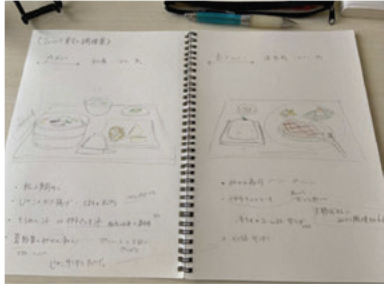
1階に足の悪い方や年配の方が座れるように1室は必ずあけておくようにしている
郷土料理自体を変更することはできないため、基本的なスタイルはそのまま残しつつお店のオリジナルを加えている

郷土料理の御膳を作るにあたってアドバイス

食材(タコ)でも種類によって歯ごたえが異なる
水菜の胡麻和え(小鉢)をつくるといい
鯛めしをつくるのなら油の量調整しないとすべる
みかンドレッシングを作ってみるといい

9

考案した郷土料理のレシピ



←ベースにレシピを考案


10

実際に作った郷土料理(御膳)




- 五色そうめん汁(左上)
- ジャコと野菜のかき揚げ(右上)
- キウイのコールスローサラダ(右上)
- みかん寿司(左下)
- みかん風味の水菜サラダ(左下)
- 鯛の刺身(左下)
- 嫌ポーク
- みかん大根おろしとキウイソース(右下)

11



五色そうめん汁
五色そうめん
ネギ
乾燥わかめ
みそ
水



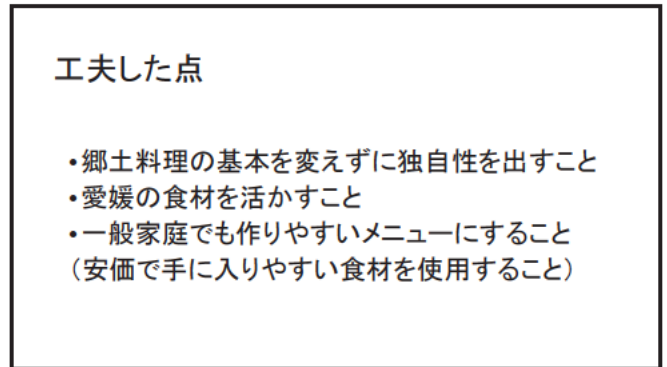
ジャコと野菜のかき揚げ
ちりめんじゃこ
コーン
人参
玉ねぎ
水菜
てんぷら粉
水

キウイのコールスローサラダ
キウイ
コーン
ハム
キャベツ
マヨネーズ

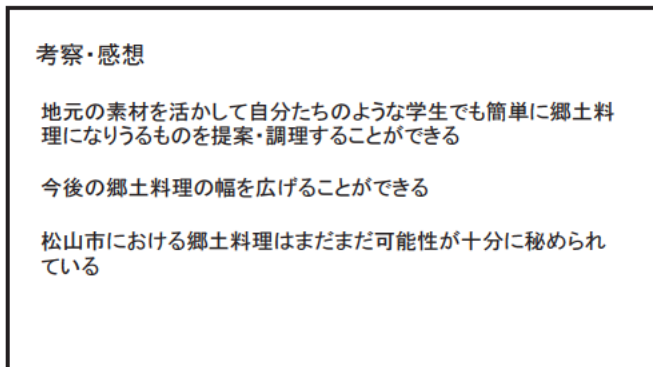
12



13



14



15



16

フィールド実習

「松山のオアシスとは？」

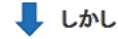
最終版

1

テーマ「堀の環境と今後の活用」

<背景>

松山・・・松山城 →堀がある！



水のルーツや行き先、環境、今後の活用

「知らない！！」

2

調査方法

<方法>

- ・フィールドワーク
- ・文献&インターネット調査
- ・航空地図を用いた調査
- ・インタビュー調査



3

事前調査

○ 堀の規模

全長1345m

(東堀 405m、西堀 410m、北堀 400m)

幅 : 25m~35m

平均水深: 1.9m

面積: 37000㎡

貯水量: 70000㎡



4

○ 松山城の歴史

1600年 (加藤嘉明) 江戸幕府より築城許可が下りる

1602年 (〃) 着工

1627年 (蒲生忠知) 二の丸完成(堀も?)

1642年 (松平定行) 本丸改修

1687年 (〃) 三の丸藩邸完成

・堀の形について

・・・薬研堀・毛抜堀など様々

松山城・・・箱堀(直線的)

城山公園内の看板より→



5

○ 堀に関する歴史

<江戸時代>

・松山城の堀・・・旧石手川の流路を転用

・堀の清掃・・・町人(主に現在の古町付近の)が負担

・松山城の堀を流れた水

→下流域の農業・生活用水として利用

<昭和時代>

・内堀(二の丸と三の丸の間)

・・・水質が悪化し、戦後GHQの命令で埋め立て

(空襲によるゴミの廃棄のため)



6

フィールドワーク

(石手川上流～堀～宮前川河口)





上:石手川ダム 下:宮前川河口

7



○流路

流入口×1 流出口×3 で循環
(等流上) (等流下)

流路の大半…**地下(暗渠化)**
→発見 難しい！！

・松山市公園緑地課
…具体的な回答△

堀の流路…詳細は不明
(石手川の旧流路を流れている?)

8

○堀の水質

堀…閉鎖的な水域

↓ 発生しやすい！

植物プランクトン
(淡水赤潮、アオコなど)

水質の悪化



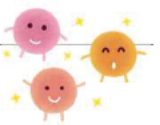

9

事後調査

○ 水質改善の取り組み

昭和63～平成元年度	曝気装置設置工事
平成6年度	木炭浄化
平成15～18年度	EM菌を使用した環境美化活動
平成16年度	オゾン浄化装置や急速濾過機により 浄化実験
平成16・18年度	バイオ製剤による浄化実験

改善できていない！！



10


○堀の生態系

→ 把握していない

○今後の活用について

現在…史跡「松山城」の堀としての周知活動
白鳥の飼育場所

今後… **未定**




11

都市化の進展 →

自然・生き物との触れ合い 減少

- ・昆虫を捕まえた事がない子供 … 20%
- ・海や川で釣りをした事がない子供 … 25%
- ・野鳥を見たり、鳴き声を聞いた事がない子供 … 21%

平成24(2012)年 内閣府調査



12

考察

水質改善 & 自然・生き物と触れ合う機会 △



「堀を上手く活用
できないだろうか？」

13

活用法① 「堀まわりをランニング」

松山市が公開しているランニングコース

→ 分かりやすい！

	距離	歩数	消費カロリー	所要時間
ショートコース	1.2km	1,900歩	11kcal	約15分
1周コース	1.9km	2,700歩	81kcal	約25~35分

実際にランニング
してみた！！



14

朝、昼、夕方3回に分けて実施

ランニング	男性(人)	女性(人)
午前7時 (27℃)	22	1
正午 (31℃)	1	0
午後17時 (28℃)	26	3

ウォーキング	男性(人)	女性(人)
午前7時	3	4
正午	6	1
午後17時	17	7



夏は朝がオススメ！



15

活用法② 「堀で釣り」

昭和25(1950)年ごろ

堀で釣り = ○



→ フナ、スッポン、ナマズなど多くの魚が！！

生態系に配慮 & 生き物との関わり
(リリース) (イベント等)

16

活用法③ 「堀の市民大清掃」

松山市・・・毎年(夏) 市民大清掃

→ 堀の清掃もできないか？

小田原城



某テレビ番組
「堀の水全部
抜いてみた!」?



17

まとめ

水・自然と触れ合う機会が減っている現代



堀 = 「オアシス」 なのではないか？

18

参考文献

- ・城山公園堀之内地区利用案内 <https://www.matsuyamajo.jp/horinouchi/>
- ・松山城・お堀 | 伊予歴史文化探訪
<http://yomodado.blog46.fc2.com/blog-entry-1366.html>
- ・小田原箱根経済新聞 小田原城のお堀をプロダイバーが清掃 市民ボランティア募集 - 小田原箱根経済新聞 (keizai.biz)
- ・内閣府「平成27年度 子供・若者白書」第2節 体験活動 | 平成27年版子供・若者白書(全体版) - 内閣府 (cao.go.jp)
- ・愛媛大学一大学院「松山城濠における淡水赤潮発現特性と要因に関する一考察」 土木学会第57回年次学術講演会 (isce.or.jp)

19

- ・松山市一都市整備部・公園緑地課 堀之内の水の浄化について教えてください。 | 松山市 よくある質問と回答集 (city.matsuyama.ehime.jp)

<書籍>

- ・『創造都市まつやま 県都の検証100年』
(松山市、愛媛新聞社)
- ・『プラタモリ 6 (松山 道後温泉 沖縄 熊本)』
(角川書店、NHK)
- ・『愛媛の歴史地理研究』
(武智利博、窪田重治)
- ・『古地図で楽しむ伊予』
(風媒社、愛媛県歴史文化博物館)

20

<インタビュー> 松山市一都市整備部・公園緑地課

<論文>

- ・『江戸城濠の水質改善を目的とした環境用水導入の効果とコスト評価』(吉岡佐、来栖聖、花木啓祐)

<写真>

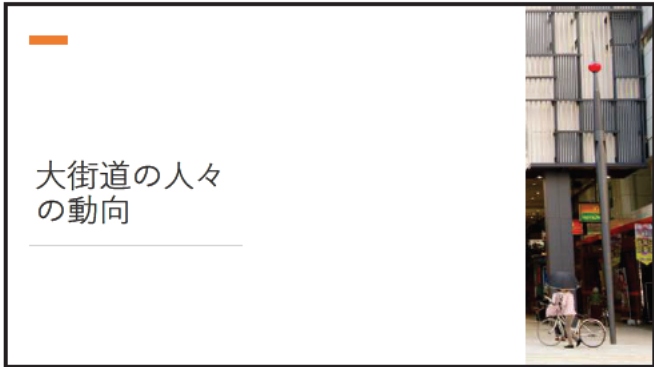
・Google Earth

・フナ類(ナガブナ?) 淡水魚写真図鑑 [日淡会]
(tansuigyo.net)

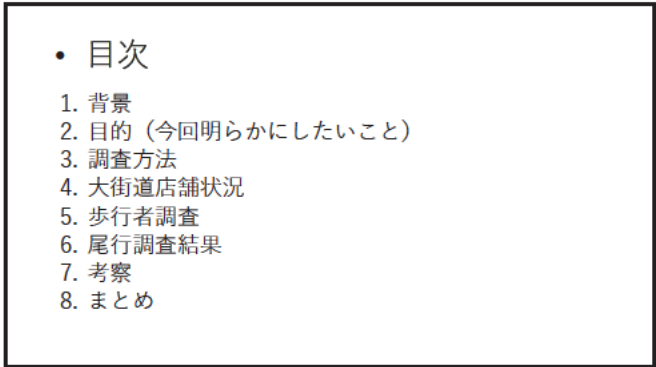
・小田原城のお堀に咲く桜 | Free Will - 楽天ブログ
(rakuten.co.jp)

<イラスト> いらすとや

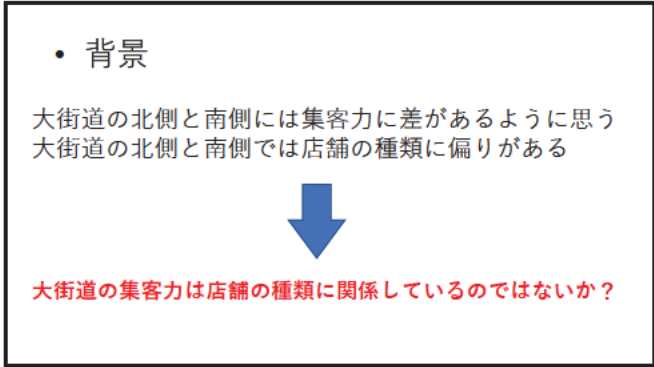
21



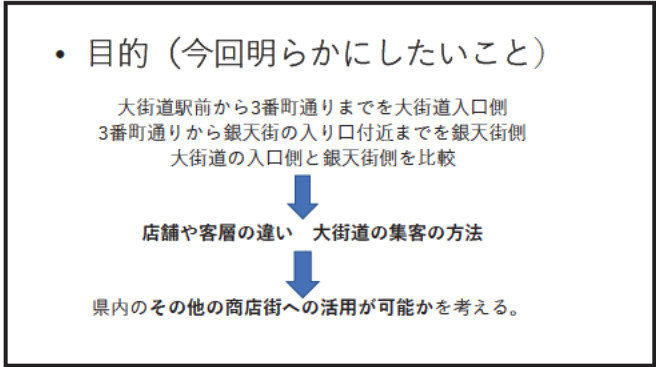
1



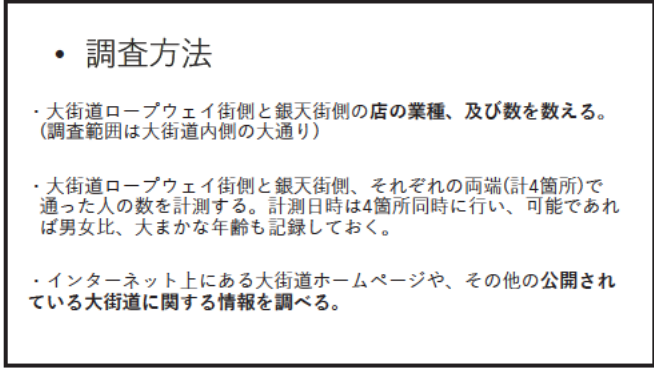
2



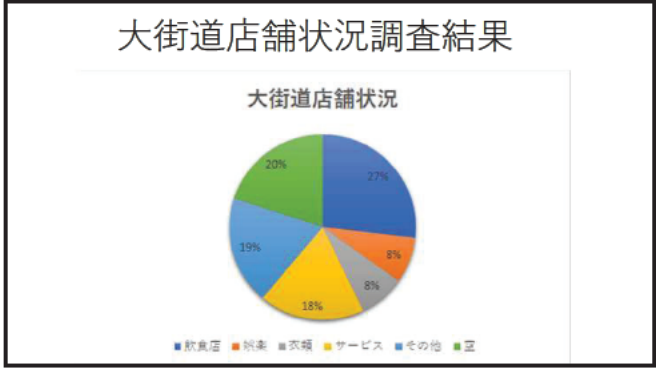
3



4



5



6

調査地点

地点1：ロープウェイ街側
 地点2：3番町通り
 (ロープウェイ街側)
 地点3：3番町通り
 (銀天街側)
 地点4：銀天街側

[まおコミュニティでくみん - 松山・大街道まちなかコミュニティスペース \(tekyun-matuyama.com\)](http://tekyun-matuyama.com)

7

7月21日水曜日歩行者調査結果

(地点) (性別)	1	2	3	4
男	366人	345人	170人	274人
女	362人	314人	134人	151人

8

・考察

平日に大街道を歩く男性
 →1人で歩くサラリーマンが割合のほとんどを占める
 →3人以上で歩く人はほとんどいない
 →サラリーマンは銀天街方面から、その他は大街道方面から

平日に大街道を歩く女性
 →友人と2人以上で歩く人多数
 →銀天街方面へと流れる(買い物をした形跡無し)

9

・考察

平日に大街道を歩く学生
 →2人以上で歩く
 →自転車を利用する学生
 →女子学生・・・プリクラやゲームセンターに立ち寄る

平日に子供連れを見かけることはそんなになかった
 →調査時間帯(18:00~19:00)が影響している

10

7月24日土曜日歩行者調査結果

(地点) (性別)	1	2	3	4
男	450人	446人	186人	357人
女	432人	404人	210人	434人

11

7月25日日曜日歩行者調査結果

(地点) (性別)	1	2	3	4
男	510人	432人	209人	289人
女	531人	413人	214人	428人

12

3日間の比較	水曜	1	2	3	4
	男	366人	345人	170人	274人
	女	362人	314人	134人	151人
	土曜	1	2	3	4
	男	450人	446人	186人	357人
	女	432人	404人	210人	434人
	日曜	1	2	3	4
	男	510人	432人	209人	289人
	女	531人	413人	214人	428人

13

・考察

休日に大街道を歩く男性
 →10~20代 2人 30代~ 1人から
 →若い世代が多い
 →大街道のカラオケ店へ

休日に大街道を歩く女性
 →10~20代 2人以上 30代~ 1人から
 →大街道から銀天街方面へ流れる
 →「無印良品」などの紙袋、スターバックスのカップを所持

14

・考察

休日に大街道を歩く学生
 →女子学生の比率が高い
 →1人ではなく2人以上
 →銀天街から大街道方面へ

休日に大街道を歩く子供連れ
 →特に買い物をした形跡無し

15

尾行調査結果

・計測地点に通りがかった、5人目の個人又はグループを尾行する。

水曜日	30組	土曜日	30組	日曜日	30組
飲食	3	8	4		
サービス	1	0	0		
娯楽	3	4	2		
その他	3	4	10		
通り抜け	22	11	14		

16

・考察

平日と休日とで大街道を利用する人の年齢層に大きな差

平日→サラリーマン
 休日→女性、学生、子供連れ

目的地に着くまでに大街道を通る人（通り抜ける人）が多数

17

まとめ

・大街道周辺の環境が大街道内の歩行人数に大きく影響を与えていると考えられる。

↑

大街道は人通りが多く安全、一直線に通り抜けやすい

・他の商店街の活性化を考える際には、周辺の環境を考えることが重要であると考えられる。(例：通勤通学の通り道となる、幅広い層がいる)

・反省としては、調査時刻が大街道が賑わう時間帯ではなかったため、今回の調査結果に影響を与えていると考えられる。

18

道の駅 風早の郷 風和里 北条スポーツセンター球技場の 防災

1

背景

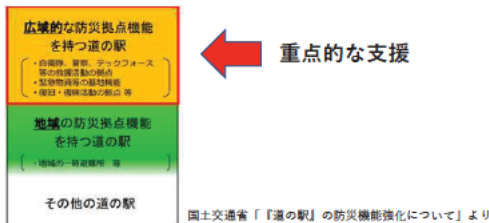
- 5人中3人が環境デザイン学科で防災を専門に学んでいる生徒であり、実際にふわりを調査したことのある生徒もいたため。
- 全国で道の駅が防災の拠点として活用されていることを知り、松山市の道の駅である風和里に注目した。道の駅の隣にある北条スポーツセンターも活用できると考えた。
- 近年の異常気象や地震による災害が多い

- 一〇今後の防災拠点としての活用
- 〇今後の防災対策 の案を提案する。

2

防災道の駅とは ①

都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置付けられている道の駅について「防災道の駅」として選定し、防災拠点としての役割を果たす



3

防災道の駅とは ②

全国に39か所
四国には4か所



4

久万高原町 天空の郷さんさん

松山～高知間、近隣市町村の防災拠点

道路通行者
道の駅周辺住民



一時避難場所
食料
テント
生活用品

広い駐車場スペース



災害救助隊
支援物資等輸送車両
ボランティアの拠点

自家発電設備、防火水槽、給水タンクなど

5

全国の道の駅の活用 ①

〇2011年 東日本大震災

道の駅「遠野風の丘」(岩手県遠野市)

- ・ 沿岸各市町への後方支援拠点として活用。全国の自治体等から集められた支援物資の沿岸被災地への搬送等を実施。
- ・ 駐車場は避難場所、自衛隊、警察、消防、医療関係団体、ボランティア等の集結地として機能。



6

全国の道の駅の活用 ②

○2020年7月豪雨

道の駅「飛騨街道なぎさ」(岐阜県高山市)

下呂市門坂地区の国道41号が約500mにわたって崩壊
→崩壊現場付近でのヤードが確保できるまでの2日間、
資機材の保管場所として活用。



7

全国の道の駅の活用 ③

・災害情報の発信拠点



道の駅「豊後」(熊本県)
被災地の情報提供 (2009年中部地震)



道の駅「鶴島」(石川県)
被災状況の提供提供
(2007年能登半島地震)

・風評被害対策の情報発信



道の駅「奥村加賀源平の郷」(石川県)
(2007年能登半島地震)

国土交通省「『道の駅』の防災機能強化について」より

8

考えられる災害 ①



9

考えられる災害 ②

・土石流

大雨や地震の際、斜面が崩れるなど、土石流が発生する恐れがある。隣のグラウンドからも水が流れ込む可能性が高い。

・冠水・液状化

氾濫平野であり、海に近いので、大雨で冠水するだけでなく、地盤が弱い可能性がある。地盤がしっかりしている切土でもあり、切り取り面によっては崩壊するリスクがある。

また、氾濫平野は地震で揺れやすいという特徴がある。

10

考えられる災害 ③

・津波

ハザードマップには書かれていないが、津波による被害の可能性は十分考えられる。

近くには津波による浸水が予想されている場所があるが、浸水する高さはかなり低いため、施設そのものが津波による被害を受けるリスクは低いと考えられる。海岸部からの避難は素早く行うべきである。



11

ふわりの防災拠点としての現状 ①

・スポーツセンター球技場に
ヘリがとまれる



・スポーツセンター内のレスト
ハウス



他の自販機でも

12

ふわりの防災拠点としての現状 ②

・防災用トイレ、備蓄倉庫、発電機があるか
→今のところ設置されていないし
設置する予定もない。



・建物、設備に地震対策などしてあるか？
→現行法に則って建設されており、耐震、免震構造になっている。

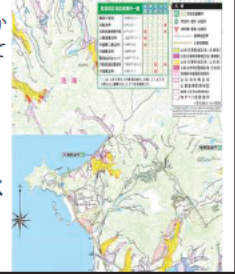


目に見られた斜材
(火打梁)

13

ふわりの防災拠点としての現状 ③

・地域の防災拠点としては活用されているのか
→道の駅自体が土砂災害危険区域に指定されて
おり、避難所等の防災拠点とはなっていない。
※右図参照



・もし災害になったらどう対応するか
→今後ふわりを防災の拠点として活用していく
予定はない。

14

ふわりの防災拠点としての現状 ④

ふわり周辺地域の防災拠点及び避難所

- ・大浦集会所
- ・下難波石風呂集会所
- ・北条公園(法橋運動公園)



15

さらなる施設の活用・対策

- ・駐車場 ふわり：普通車180台 大型車10台
スポーツセンター：普通車270台
→スポーツセンターにある様々な敷地
→団体の拠点、一時避難場所、仮設住宅等
活用できる場面があるかも
- ・情報発信場所としての活用
施設のスペースを活用して
道路情報を日ごろから発信している
→災害時にも活用できる？
- ・防災トイレ、備蓄倉庫、発電機などの備え



16

まとめ

- ・防災面での道の駅の活用例は様々
→取り組みは一部の地域にとどまっている
- ・防災拠点としての活用の計画は今のところない
→災害対策はあまり目に見られない

17

参考文献

- ・国土交通省「道の駅の防災機能強化について」資料3、資料4
file:///C:/Users/mirim/OneDrive/%E3%83%89%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88/05.pdf
https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/michi-no-eki_third-stage/pdf01/09.pdf
- ・国土交通省 道路局 国道・防災課「道の駅の災害時における活用について」
https://www.hdo.or.jp/14gyousei_backnumber/2008_data/0903/0903tokushu-m chinoeki.pdf
- ・道の駅天空の郷さんさん「防災拠点施設（防災センター）」
<https://www.kumakogen-sansan.com/about/base.php>
- ・松山市ハザードマップ
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keihatu/bousaima p.files/42-43.pdf>
- ・改訂版まつやま防災マップ



18